



| | |
|------------------|---|
| Title | 中国古代籍帳集録 |
| Author(s) | 池田, 温 |
| Citation | 北海道大學文學部紀要, 19(4), 23-242 |
| Issue Date | 1971-03-30 |
| Doc URL | http://hdl.handle.net/2115/33364 |
| Type | bulletin (article) |
| File Information | 19(4)_PR23-242.pdf |



[Instructions for use](#)

中国
古代
籍
帳
集
録

池
田
温

中国 古代 籍 帳 集 録

池 田 温

ま え が き

秦漢以来、中国歴代王朝は整備された戸籍制度をもち、版図内の全住民を一人のこらさず登録するたてまえであった。ほぼ一定の形式の戸籍を全国各郡縣で複数作製し、それらを地方の郡縣と首都の民生をつかさどる官庁にそれぞれ保管して、諸般の行政―特に収税・差役・徴兵・地方官の考課など―の基礎データに利用した。二千年來の諸王朝がのこした数千乃至数億という世界に比類まれな膨大な戸口統計も、この戸籍制度の上にはじめて可能だったのである。唐代後半期以降になると、兩税法の成立展開にみられる税法の変質、あるいは役務負担の專業化、兵農合一の崩壊による募兵制の一般化等により、旧來の一律支配から相当な変化を生じ、戸口籍帳のもつ重要性も相対的に減少したことはいぬめない。しかしあの広大な領域と何億という住民を対象とする戸籍乃至それにかわる諸種の帳簿がおおむね

歴代作製され、清朝時代にいたるまで一定の機能をはたしつづけてきたのであった。

特に北朝後期から隋・唐前期にかけては、均田制・租調役制・府兵制が施行され、国家が人民の一戸一人、田土の一頃一畝にまで介入する必要性が前後の時代に比し格段におおきかった。それゆえ当代の戸籍は、戸口のみならず公課の一部や田土の記載を包含しており史料価値がたかい。

さいわい廿世紀初の中東アジア探險により、敦煌およびトルファン盆地の若干地点から八世紀の戸籍をはじめ、少数ながら五・六世紀にさかのぼる籍帳の類が発見された。これらはきわめてかぎられた断巻ではあるが、従来古文書を全然伝存してこなかった中国史料のありかたからいって、中国古代社会の実証的研究にとりまさに画期的貢献をもたらすものであった。

中国古代籍帳の研究 中国古代籍帳の紹介・研究はこの五十年間を通じ、ライオネル・ジャイルズ⁽¹⁾・狩野直喜⁽²⁾・濱田耕作⁽³⁾・王國維⁽⁴⁾・羅振玉⁽⁵⁾・羅福長⁽⁶⁾・劉復⁽⁷⁾・陶希聖⁽⁸⁾・那波利貞⁽⁹⁾・玉井是博⁽¹⁰⁾・鈴木俊⁽¹¹⁾・仁井田陞⁽¹²⁾・曾我部靜雄⁽¹³⁾・山本達郎⁽¹⁴⁾・

西嶋定生⁽¹⁵⁾・西村元佑⁽¹⁶⁾・西川正夫⁽¹⁷⁾・土肥義和⁽¹⁸⁾諸氏によりすすめられてきた。なかんずく一九三〇年代那波利貞氏により、また一九五〇年代以降山本達郎氏ので、パリ・ロンドンにある重要な籍帳類が紹介されたことは特筆にあたらし、他方仁井田陞氏によって中国古代の造籍法をはじめ戸籍に関する文献資料の検討もふかめられ、法制史料としての古代戸籍の研究が一応集大成された。⁽¹²⁾

これにより当代の家族・身分・丁中・給田制等にわたって、一面で文献につたえられた制度の実施が確認されると同時に、反面制度と現実の不一致も留意され、伝来文献に依拠して形成されていた歴史像に訂正のくわえられるきっかけも生じた。また戸籍記載自体の不正確さや意識的作偽の形跡もあばかれ、その資料的価値の限界も認識されるより

になった。

ただ残念なことにこれら籍帳の研究はかならずしも順当に組織的にすすめられてはこなかった。その主要因は、敦煌・トゥルファン文書が英・仏・独・露・日・中等の諸探險隊により別々に各国へ將來され数個所に分藏されたため、その閲覽・利用がはなはだ困難であったことにある。現在学界にいられている籍帳類は全体で数十点、全文を活字にしても二百頁かそこらで大した量ではない。にもかかわらずそれらを通覽した研究者は今日にいたるまで一人もいないであろう。

これら籍帳を史料として重視する本国の学者のてで、今日までにすでに二回籍帳原文の彙録がこころみられた。陶希聖氏らの「唐戸籍簿叢輯」(食貨半月刊四一五、一九三六)および中国科学院歴史研究所資料室の青年史学者達による「敦煌資料第一輯」(中華書局、一九六一、日本大安影印、一九六三)の前半部がそれである。しかし前述の困難な條件のため、この二種の資料集には不備・誤脱が相当おおく、研究者が安心して依拠できない。⁽¹⁹⁾ さいわい一九五四年榎一雄氏の指導下に大英博物館所藏敦煌文献の大規模なマイクロ撮影がおこなわれて以後、諸学者の努力で関係文献のかなりの部分のフィルムが研究者の利用可能になった。特に東京の東洋文庫には籍帳資料の大部分のマイクロフィルムおよび写真陽画が今日蒐藏されている。また筆者は一九六九年、日・英・仏にある籍帳の主要部分を実見する機会にめぐまれた。⁽²¹⁾

そこで東洋文庫所藏写真を活用し、さらに原本閲覽の知見をもくわえて、現在しられるかぎりの籍帳原文をまとめて移録し、今後の総合的研究に資そうというのが本稿の趣旨である。

これら籍帳の内容的研究は別の機会に順次発表するつもりであるが、以下原文移録のまえおきとして籍帳利用者の参

考に資すべく、戸籍の沿革・造籍制度・戸籍の外形等にわたり簡単な準備的解説をほどこしておく。

中国戸籍制度 中国では先秦時代から戸口や土地の帳簿が相当発達していたらしい。周の武王（B.C.11世紀末）が四の起源方を征した時の暦（孫詒讓氏は歴と同音同）に賦（殺した）敵の耳（敵の耳）数「億有十萬七千七百七十有九」、俘人数

「三億萬有二百三十」をのせ（逸周書世俘、解第四十）、また楚の蔣掩が田地山林藪澤などを計量して課税徴兵の基礎とした（春秋左氏伝襄公）等の所伝に、なんらかの事実の核が想定されるとすれば、名簿や地籍の淵源のふるさがしのばれる。季

廿五年十月條）に命じ卿大夫以下庶民にいたる田土の数を統計させる制度（礼記月令）や、かの整然たる土地区画・隣保組織・登録検査制度体系をもつ周官の組織において、地官の諸官や秋官司寇が完備した戸籍制度を管理運営すること

く儒家が構想しているのをもみても、戸籍のはたす重要な機能はすでに先秦時代にひろく意識されていたのである。周の宣王（B.C.8世紀初）が姜戎との戦争にやぶれ、新兵徴集のため太原で人口調査（料民）をおこなおうとしたのに対し、仲山父がいさめたけれどききいれられなかつた説話（國語周語・史記卷四周年紀）をみると、徴兵につながる戸口調査を悪とする規範意識がふるく一部の思想家に存したらしい。しかし戦国時代以降になると、民数を王に献ずるとき王はこれを

拜してうける（周礼秋官司寇・新書礼篇）とされるように、戸籍作製は必要かつ正当な国事行爲として重視されるようになった。孔子が「版をせおうものに対し鄭重な礼をされた」という論語郷党篇の句について、オーソドックスな孔安国や皇侃の注疏が版を戸籍と解し、戸籍を尊重して孔子が礼をされたと説明したのも、論語の原義の正解かいは別として、

右掲周礼等の通念に適合するものである。

後世になると、全国的戸口・田土統計のない世界をかんがえることのできぬ中国人によって、上古の伝説上の禹の時

代以来の墾田や人口の統計がつくられた（皇甫謐帝王世紀、続漢書郡国志劉昭注所引）。

戸籍の語は、史記卷六秦始皇本紀の卷末に付された秦の年代記「秦記」に、秦の獻公十年（B.C. 375）「戸籍をつくり隣保組織をととのえる」と伝えるのが初見であろう。のち統一帝国に発展した秦の国にふるくからかような伝承がのこされている点は注意すべきである。他方、管子にも戸籍と田結（田簿）をならべて、人民の貧富をしるの必要をのべている（禁藏第 五十三）。

漢代の漢の劉邦が秦の都咸陽にはいったとき、蕭何はまず秦の律令図書（法律と地図・文書）を押収しそれにより劉邦が天下の地形と戸口の多少をしっかりと有名な逸話がある。この図書には戸口統計の類もふくまれていた

と解される。漢代には全国各縣で毎年八月、案比もしくは算人とよばれる人口調査が励行されたので、戸籍の信憑性は一般にたかく評価されている。漢代の戸籍は名・名数・名籍・版籍などとよばれ、木簡（あるいは木板）に登載された。文献にみえる「名縣爵里」や「爵里刺」という語は、次掲諸例にうかがわれる一定の書式、

「臨菑元里公乘陽慶」

（史記卷一〇五太倉公淳于意伝）

・「太史令茂陵顯武里大夫司馬遷年廿八」

（史記卷一三〇太史公自序素隱所引張華博物志）

とあいまって漢代名籍の形式をしめしている。

居延発見漢簡中の戍卒名籍⁽²⁵⁾ たとは

「戍卒張掖郡居延當遠里公士張褒年卅」

（原号一九四・一八、図三二四・考釈五二二二・LMD413）

や、あるいは田卒給衣簿の一例

「田卒淮陽郡長平市陽里公士宋建年廿二 襲一領 貫賛爲取

——」

（原号五〇九・一四、図八一・甲二〇四三・考釈一六四八・LTD318）

もこれをうらがきする。

さらけにありがたいことに居延漢簡には永光四年 (B.C. 40) 正月の符 (パスポート)

「永光四年正月己酉

妻大女昭武萬歲里孫第卿年廿一
子小女王女年三歲
弟小女耳年九歲

(原号一九・一、図六〇、考釈一二)
七三・L Pl. 4、P. 一一三・一一五

橐佗延壽際長孫時符

皆黑色

「永光四年正月己酉

妻大女昭武萬歲里□□年卅二
子大男輔年十九歲
子小男廣宗年十二歲
子小女々々足年九歲
輔妻南來年十五歲 皆黑色

(原号一九・二、図六〇、考釈一二)
七四、甲二二八、L同右

橐佗吞胡際長張彭祖符

や建平四年 (B.C. 3) 前後の卒家屬稟名籍 (兵士の家族への穀類支給簿) 諸例——次掲——

「武成際卒孫青肩

妻大女謝年卅四用穀二石一斗六升大
子使女於年十用穀一石六斗六升大
子未使女々々足年六用穀一石一斗六升大・凡用穀五石

(原号二〇三・七、図一三三、考釈)
二七四五、L M D 10 | 8

「驚虜際卒徐□

妻大女南弟年廿八用穀二石一斗六升大
子未使男益有年四用穀一石六斗六升大
子女曾年一用穀八斗・凡用穀四石六斗三升少

(原号三一七・二、図三三三、考釈)
五三四五、L M D 10 | 4

「執胡際卒富鳳

妻大女君以年廿八用穀二石一斗六升大
子使女始年七用穀一石六斗六升大
子未使女寄年三用穀一石一斗六升大・凡用穀五石

(原号一六一・一、図二九四、考釈四九)
六三、甲九五五、L M D 10 | 3

〔制虜際卒周賢 妻大女止百年廿六用穀二石一斗六升大
子使女捐之年八用穀一石六斗六升大
子使男並年七用穀二石一斗六升大·凡用穀六石〕

(原号二七·四、図三三四、考釈五四六)
二、甲二〇三、LMD10|5

〔第五際卒徐誼 妻大女職?年卅五
子使女侍年九 見署用穀五石三斗一升少
子未使男有年三

(原号二〇三·三、図一三三、考釈)
二七五二、LMD9|5

〔 妻大女侍年廿七
子未使男偃年三 省麥用穀五石三斗一升少
子小男霸年二

(原号二〇三·二三、図一六一、考釈)
二八〇、LMD9|9

〔第十際卒寧蓋邑 父大男温年五十二
母大女請卿年卅九 見署用穀七石一斗八升大
妻大女足年廿一

(原号二〇三·一二、図一六一、考釈)
三二八二、LMD9|6

〔俱起際卒丁仁 母大女存年六十七用穀二石一斗六升大
弟大女惡女年十八用穀二石一斗六升大
弟使女肩年十三用穀一石六斗六升大·凡用穀六石

(原号二五四·一一、図二三〇、考釈四)
二〇七、甲一三〇一、LMD10|9

〔第四際卒張霸 弟大男輔年十九
弟使男勲年十 見署用穀七石八升大
妻大女至年十九

(原号一三三·二〇、図二一八、考釈四)
〇六九、甲七六六、LMD9|4

〔第四際卒虞護 妻大女筭年十五
弟使女自如年十二 見署用穀四石八斗一升少
田未使女算者年五

(原号一九四·二〇、図三一五、考釈五)
二四二、甲一一一四、LMD9|2

妻大女君至年廿八用穀二石一斗六升大
弟大女待年廿三用穀二石一斗六升大
子使男相年十用穀二石一斗六升大

〔原号二〇三・三三二、図一六三、考釈
三二九五・六、L M D 10 | 16〕

のように家族の姓名・年令等の明記されたものがある。この卒家屬稟名籍にはなお家族三名1例（父と未詳男二名）
家族二名5例（妻子4例・妻弟1例）家族一名7例（妻6例・未詳1例）がある。

あるいは年次未詳の候長名籍や隊長名籍（家財評価をふくむ）

候長饒得廣昌里公乘禮忠年卅 小奴二人直三萬用馬五匹直二萬 宅一區萬
大婢一人二萬 牛車二兩直四千 田五頃五萬
輜車二乘直萬 服牛二六千・凡嘗直十五萬

〔原号三七・三五、図一三七、考釈二
八二〇、L P. 七二〕

三塏隊長居延西道里公乘徐宗五十〔徐宗年五十〕

〔不入
〇〇〇二七石〕

妻妻 宅一區直三千
子男一人 田五十畝直五千 男子一人妻一人
男同産一人 用牛二直五千 子男二人
女同産一人 男同産二人
子女二人
女同産二人

〔背〕
「三塏隊長居延西道里公乘徐宗年五十」

〔原号二四・一B、図二二〇、考釈四〇
八五、甲一八一B、L P. 七一〕

（三塏隊長・伏地再拜・足下母恙等習字満面）

などのように、家長と一緒に家族や奴婢を登載したものもみいだされる。

これらを通じ漢代の家長は民爵を有するものがおおかつた点や、男女の年令区分（十四才以下を小男・小女、十五才以上を大男・大女とする。なお六才以下を未使男・未使女、七・十四才）など、後代とことなる独自の制度がみとめられると同時に、戸口記載の方式や家族の形態に使用男・使女と区別する

において後代とおおくの類似性がみられる。特に卒家属稟名籍にあらわれた小型家族の一般的存在は、家族のおおきさの後代との連続性を明示するものといえよう。

かように漢代名籍のすがたを間接にうかがいうる資料は種々存するが、郡縣の名籍そのものは未発見のようである。それは木簡発見地が前線のみはりや防禦の設備の遺址であり、郡縣の官庁でないことの自然な結果とみられる。

晉・南朝の 晉令には、官役にあるものをのせる郡・国の黄籍に一尺二寸の札をもちいる規定がたわる(太平御覽卷六〇六文部札所引)。

戸籍 西晉にはなお木札が使用されたのであろう。大体三世紀が木簡から紙への過渡期にあたり、東晉・十六国

以降は一般に紙の時代となる。東晉・南朝の戸籍は未発見であるが、文献によると黄籍・白籍が区別されていた。黄色にそめた紙にかかれるのが黄籍、白紙のままかかれるのが白籍であり、前者は本籍地主着者を登録する正式の戸籍、後者はなお旧本籍を称している移住者(華北からの南遷者等)を登録するための籍であった。土断政策を通じて漸次白籍は黄籍に吸収されていった。(24)

東晉・南朝においても戸籍はすこぶる重視され、南齊の建元二年(480)の詔は黄籍を「民之大紀、国之治端」といい(南齊書卷三四虞玩之伝)、国家秩序のかなめとされる。貴族制の発達した当代社会では、家門の高下が社会的に重視され士・庶の区別がつよく意識されていたので、系譜や先代の官歴について公的よりどころとなる戸籍の尊重は必然であった。

同時に士族には力役や兵役の免除という特権があたえられたので、公課をまぬがれようとして賄賂などにより戸籍記載に偽造・変改をくわえることがひろくおこなわれた。南齊の虞玩之や梁の沈約の上奏によれば、宋の元嘉廿七年

(450)北魏の侵入に際し大規模な徴兵をしたときから戸籍のいつわりが顯著となり、尚書の担当官が左民曹の籍庫に保管される戸籍の検閲につとめたこともあった(南齊書卷三二虞玩之伝・通典卷三二郷党版籍條・南史卷五九王僧孺伝)。(25)

南朝の末で三年ごとに戸籍がつくられた形跡のある点は唐の制度と一致し、また三狀（曾祖・祖・父三代の品や官を注記した資狀）記載も、唐の開元以降の戸籍の官人に付された注記の先蹤とみられる。

十六国時代　五胡十六国時代は中国史上もつとも政権が不安定で政治の混乱期であったが、それにもかかわらず戸籍の**戸籍**　籍登録が励行されていたことは注目にあたいる。後趙は諸官を派遣し戸籍を核定せしめ（晉書卷一〇五、石勒載記下）

前秦の符堅は鄴を平定した際宮殿で名籍を閲し（晉書卷一一三、符堅載記上）、後秦では訳経者仏陀耶舎の記憶力をためすのに四十紙ばかりの民籍一卷を三日間よみならわせたところ、人数・年令まで一字の差誤もなくそらんじたという逸話（出三藏記集卷三、釈教録卷四）等各国の戸籍に関する資料はまれでない。五世紀初イノンドへ求法の旅行をした法顯は、中天竺で人民が繁榮ししかも「戸籍官法」なしと特筆する（法顯傳）。出家した沙門にとってすら戸籍のない国土は異様に映ずるほど、

中国で戸籍は普遍的存在であったのである。

現存最古の籍はこの時代西涼の建初十二年（416）の敦煌郡のもので、スタイン探險隊により敦煌から大英博物館にもたらされた。連貼された四紙は各紙の左右端を切除し、本来の順序をうしなってはりつがれ紙背が仏典書写に利用されている。後述する北朝計帳の例と同様、本来紙のつぎめの裏面に存した郡縣名等の注記を紙背利用の邪魔になるのでその部分を切除し、みだれた順序にはりつがれたものとみられる。後掲録文敦戸1にあきらかなように本籍の記載形式は、毎戸に郡縣郷里や年度を明記し、また兄弟一人一人につき戸主とのつづきがらではなくすぐ前行登載者某との關係を明記するという独特なものである。かように手数のかかる書式が西晉以前の戸籍のやりかたをうけついでものなら、その背後に木簡名籍が予想される。木簡ではとじひもがきかれて簡がばらばらになったり、あるいは順序が前後したとき、原型に復しやすいうように入念な書式が採用されていたと推測すると、右述の西涼籍のかきかたも不自然でな

いと納得されよう。この解釈が見当はずれでなければ、西涼戸籍は漢晉の木簡籍のすがたを間接にうかがうてがかりともなるわけである。

本籍にあらわれる身分は兵三例・散四例・大府吏一例である。濱口重國氏は本籍を兵戸の籍とみとめられ、散を非番の兵と解された⁽²⁶⁾。

本籍の身分記載は漢代名籍の爵の位置に記入され、一方役務とみられる驛子の注は人名・年令の下方に記入される。この点を考慮すると、兵であつて非番とみるより、兵でないものつまり役務をおわぬものを散と解す方が妥当ではあるまいか？ 当代には散吏が存在したが、本籍の散を散吏とみることは散吏の限定された人数よりかんがえて困難であろう。

本籍は戸口記載だけで物納租税や田土には全然ふれない。この基本的性格は漢代名籍にもさかのぼるものとかんがえられる。戸籍に公課や田土が併載されるのは、北魏にはじまる均田制とそれに対応する均賦制施行以後とみられ、そこに唐代戸籍の直接祖型が出現したとみてよい。

北朝の 文明太后・孝文帝に対し三長制設置による戸籍整備を進言した李冲伝の記事は、当時華北で人民の隠籍 帳 冒がはなはだしく五十家・三十家が一户をなす例さえあつたという。かかる大姓豪族の支配下から人民をひきだし、国家の直接把握する籍帳に一户ずつ登録させるのが三長制下の新戸籍の眼目であつた。そしてそれは均田制やそれに対応する公課制とあいまって、隋から唐初に大成される国制の直接祖型となつたことは周知のとおりである。

北朝の籍帳もさいわい一点(後掲敦戸²)現存する。山本達郎氏の一九五四年の論文⁽¹⁴⁾により、それが西魏の大統十三

年の敦煌地方の計帳？であることがあきらかとなり、紙葉の混乱した現状から原型復原がなしとげられ、その内容から文献にのこらぬ西魏の土地税役制の輪廓がえがきだされるという画期的成果をみた。本文書も各紙葉の左右端部を切除され、みだれた順序にはりつがれている。各つぎめの裏面にはもと五個の朱印がたてにならべておされており、下方三印はたて約3糶、残割からみて縣の印らしい。上方二印はたて約4糶餘、二者同印かいな不明瞭。すべて印の中央から右方にかけ $\frac{1}{2}$ ばかり切除されているので肝心の地名がのこっていない。しかしこの官印左端の残存により、唐代戸籍にみられる縫背注記捺印がそのままの形式ですでに北朝からおこなわれていたことがたしかめられた。⁽²⁷⁾唐では最上部に州もしくは府印、下方に縣印を列捺するのが一般だから、本文書の上方二印も州印・郡印と推測することがゆるされよう。紙背利用の邪魔になるためつぎめの注記が除去されてしまった結果、西涼籍とちがい表面本文に地域・年度・文書名を一切記載せぬ本文書の利用者は、内容検討に際し隔靴搔痒の感をまぬがれない。さいわい山本氏の研究により年代は大統十三年丁卯以外ではありえぬと論証された。地域も登載女子の出嫁さきに受(II壽)昌郡・効穀縣がみえる点から、敦煌地方の瓜州効穀郡管下の可能性が想定される。本文書を山本氏は計帳らしいとされ、仁井田氏は計帳とみてよいとされた⁽²⁸⁾に對し、曾我部靜雄氏は戸籍とされ⁽²⁹⁾、また西村元佑氏は戸別記載部分を戸籍・集計記載部分を計帳とされた⁽³⁰⁾。筆者は文書の遺存状態から二種類の文書ではなく、戸別・集計両部分をふくむ一種の文書とみるのがよく、また毎年つくられる文書とみえる点および集計に租・布・麻などの公課もふくまれる点は、唐制を継承した日本の奈良時代の戸籍・計帳と対照して、戸籍より計帳とする方がよいとおもう。

本文書の戸口記載は唐の戸籍とほぼ同型式であり、後部に男女丁中別の集計・公課・田土の記載がつづく。男女丁中別の集計は現存の唐代戸籍にはみえないけれども、八世紀の日本の戸籍・計帳にはこれとよく類似した形式があらわ

れる。戸口・公課・田土の基本順序は唐前期の戸籍まで一貫してかわりない。

本文書には卅三戸の集團の戸口（首部欠）・公課・給田の集計を存する点、唐代の多数の戸籍にも類をみぬ有用性をもつ。さらに個々の記載データが現状に忠実とみとめられ、唐代戸籍の様に作爲の形跡がめだたぬ点もその史料価値をたかめる。

唐代の造籍制度 現存籍帳の過半は唐代それも八世紀前・中期に属す。そこで唐朝前期の造籍規定を一覽して籍帳本文の理解に資することとしよう。造籍の基本法規は戸令にふくまれ、それについては仁井田氏の研究がそ

なわっている。⁽³¹⁾以下その要点を簡単にまとめ、特に令文の内容をみやすいように日本令と対照して掲載しておく。日本令で改訂した文字には傍線を付し、日本で独自にもうけた規定には二重線を付す。

唐戸令相當文

○每一歳、一造計帳。……計帳所須、（六典³）
戸別一錢。（戸部）

○凡里有手實、歲終具民之年與地闊隘、爲郷帳。……又

有計帳。具來歲課役、以報度支。（新唐書⁵¹）
（食貨志）

日本舊老戸令

○凡造計帳、毎年六月卅日以前、京國官司、責所部手實、

具注家口年紀。若全戸不在郷者、即依舊籍轉寫、并顯不在所由。収訖、依式造帳連署、八月卅日以前、申送

太政官。

○諸戸籍三年一造。起正月上旬、縣司責手實・計帳、赴

州依式勘造。郷別爲卷、總寫三通。其縫皆注某州某縣

（某郷）某年籍、州名用州印、縣名用縣印。三月三十日內

（現行諸本） 訖、并裝潢。一通送尚書省。州縣各留一通。
（作納、恐謫）

○凡戸籍六年一造。起十一月月上旬、依式勘造。里別爲卷、

惣寫三通。其縫皆注某國某郡某里某年籍。五月卅日內

訖。二通申送太政官。一通留國。其雜戸・陵戸籍、則更寫二

通、各送本司。所須紙筆等調度、皆出當戸。國司勘量所

所須紙筆裝潢、並皆出當戶內、口別一錢。其戶每以造籍年、預定爲九等、便注籍脚。有析生新附者、於舊戶後、以次編附。(開元十八年(730)十一月勅、會要85·冊府元龜486收)

○諸戶口計年將入丁老疾、應(徵)免課役、及給侍者、皆縣(令)親臬形狀、以爲定簿。一定以後、不須(一作得)更臈。若疑有姦欺者、隨狀(一作事)臈定、以附手(通典引戶令謂于、又實。)

(延載元年(694)八月勅、會要85·冊府元龜486收、通典7引開元廿五年戶令轉作於)

○諸籍應送省者、附當州庸調車送。若庸調不入京、雇脚運送。所須脚直、以官物充。(景龍二年(708)閏九月勅、會要85·冊府元龜486收)

○諸州縣籍·手實·計帳、當留五比。省籍留九比。其遠年(者)、依次除。(景龍二年閏九月勅、同前取。參看六典3·舊唐書48食貨志·通典3等所載規定)

○官奴婢、諸司每年正月、造籍二通。一通送尚書(省)。一通留本司。并每年置簿、點身團臈、然後關金·倉部、給衣糧。(大曆十四年(779)八月都官奏引格式、會要86收)

唐雜令相當文

○凡道士·女道士·僧·尼之簿籍、亦三年一造。(其籍一本送鴻臚、一本(六典4)留於州縣、祠部)

須多少、臨時斟酌、不得侵損百姓。其籍至官、並即先納後勘。若有增減隱沒不同、隨狀下推。國承錯失、卽於省籍具注事由、國亦注帳籍。

○凡戶口當造帳籍之次、計年將入丁老疾、應徵免課役、及給侍者、皆國司親臬形狀、以爲定簿。一定以後、不須更臈。若疑有姦欺者、亦隨事臈定、以附帳籍。

○凡籍應送太政官者、附當國調使送。若調不入京、專使送之。

○凡戶籍恒留五比。其遠年者、依次除。

近江大津宮庚午年籍不除

○凡官戶奴婢、每年正月、本司色別、各造籍二通。一通送太政官。一通留本司。有工能者、色別具注。

日本養老雜令

○凡僧·尼、京國官司、每六年造籍三通。各顯出家年月·夏藤及德業、依式印之。一通留職國。以外申送太政

每三歳州縣爲籍。一以留縣、一以留州。僧・尼一以上
祠部。道士・女冠一以上宗正、一以上司徒。(新唐書48
百官志崇) 數出物。

署(玄)

右の比較を通じて、日本令は全体としてきわめて忠実に唐制を模していることがわかる。唐の戸令原文の直接引用が
残存する例は僅少であり、おおくは令文を原拠としたかきかえ乃至は令規定の申明・部分的改訂追補を内容とする勅
格の類を通じて原規定をうかがいうるにすぎない。それにもかかわらず両者が一字一句まで一致する個所がすくなく
ない点は、日本令文をてがかりにうしなわれた唐令原文を推測する有効性を示唆する。右掲養老令文中、傍線個所を
のぞくすべてが唐令文のままとはもとよりいえないけれども、大綱において唐令に忠実に準拠していることはうたが
いない。したがって特に反証のないかぎり、日本令制によって唐初期の造籍法をかんがえることが許容されよう。
さて籍帳の基礎は各戸主の申告書(手実)におかれる法のたてまえである。もし里にいない戸があれば、里正が旧籍
により転写しなお不在理由を注記するさだめである。しかし一般農民の多数が文字を書写しえなかつた当代の実情か
らいえば、手実作製の段階にも里正や縣の書記の介入を想定せざるをえぬ。

手実・計帳・戸籍三者の差異と相互の關係には不分明な点のこざれている。「某年籍」と明記された文書が数点現
存するに對し、「某年手實」は大曆四年一点のみ、計帳は一点もない。景龍二年勅によれば、諸州縣の籍・手實・計
帳は五比(戸籍は十五年、
手実・計帳は五年)保存を要し、作製をつづきからみても三者の内容に密接な関連のあることはうたがいな
い。現存手實には都督府印と縣印がおさされていて、戸主の申告自体ではなく、州庁で書記の淨写したものであり記載
内容も他の戸籍に完全に対応する。それゆえ毎年戸籍とほぼ同内容の手實が州縣で作製されており、これに依拠して

三年ごとに中央へ上申する戸籍（副本は州・縣に一部つつ保存）がつくられたと解される。新唐書食貨志に「里に手實あり。年末に人民の年令と田地の広狭を具申して郷帳をつくる」とある郷帳は、前記手實の俗称であろう。

毎年つくられる計帳は、公課徴収の基礎となる重要な機能があり度支に報告された。財政計画にとり特に必要なのは戸口数・丁数・租・調庸額等の集計である。日本の八世紀の計帳には、集計部分と各戸口を列記した「計帳歴名」の両種がふくまれている。唐の計帳にも、戸籍や手實とおなじ体裁のものと、それを基礎に州で集計し度支の利用に供する部分の両種が存したのである。

開元年間の定制では毎年計帳用に一戸あたり一錢（開元通宝一枚）、三年ごとの戸籍には一人あたり一錢をおさめた。手實

については別にさだめがないが、手實・計帳は毎年一貫して作製されるので計帳の費用にふくまれているとみてよい。

遺存地域および遺存状態 古代籍帳の大部分は、著名な敦煌千仏洞の藏経窟に封藏されていた数万点の写経その他の文書堆積中から発見された。それ以外はトウルファン盆地の各地の寺院址や古墳中から発掘された。したがって内

容は当然敦煌・西州両地域に関するもので、唐代に約三百州あった中国全体からみれば、非常にかぎられた西辺の特定地域にすぎない。敦煌文書は石室中に封藏されていたので卷子の形体をとどめるものがおおいのに対し、トウルファン文書は出土品なので細片がほとんどをしめる。両者とも過半は紙背が書写に利用されている。紙背が空白の例は、古墳におさめられた絵画の背貼とされた**西戸12**だけで、他にあまりにも細片のため現存部分は空白だが紙背未使用とは断定しえぬ若干片があるばかりである。すなわち現存古代籍帳はすべて、公文書としての本来の使命を終了して以後、廃紙として第二次利用をへたすがたで今日に残存したのである。なかには**西戸18**のごとく、紙背が一旦論語鄭注書写につかわれたのち、さらに涅槃經の帙に使用された例もある。敦煌の藏経洞は本来仏教寺院に密着した施設であ

り、そこに封藏されていたのは大体仏寺で不要となった経籍・文書・絵画等であった。敦煌発見籍帳の背面は敦戸4（漢書刑法志注）を例外として、ほとんど仏教文献書写に利用されているのもこの情況に適合する。トゥルフアン盆地発掘の籍帳は、発掘地点が多様なのに応じ紙背書写の内容も官文書草案・儒教典籍（左伝・論語・孝経）・占書・道教文献・仏教文献等多種類にわたる。しかしやはり仏教文献が量的に一番おおい。かかる様相は日本の奈良時代の籍帳等公文書が、東大寺写経所で紙背利用されたため正倉院文書として今日に伝存しえたのと相通する点がある。中国でも戸籍は概して紙質が優良でかつ長巻をなしていたので、紙背が書写に重宝視されたとみとめられる。紙背利用の時点が厳密にしりうる例はまれであるが、内容と書蹟を総合的にみると、戸籍の時点から十数年〜二・三十年間のものがおおいようである。

籍帳 の 籍帳の用紙は、公文書中もつとも上質な麻紙が使用されており、特に開元・天寶年代のものは紙質が**外 型** 緊厚優良である。それに比すると現存武后年代の籍は紙質もうすくおとつている。開元天寶時代の国家財政の充実がこのような面にも反映したものと解されよう。また戸籍の文字のおおきさも武后時代にちいさく、開元天寶期におおきくなる傾向がみられる。かかる外形的整備を典型的にしめすのは、開元十年籍から天寶籍にかけておこなわれた各口記載下端に「空」（以下餘白の意）一字を記入するやりかたである。

七世紀末〜八世紀中葉の現存敦煌・西州籍にかぎってみても、細部にわたる書式の変化は決して僅少にとどまらない。以下(1)登載項目の有無、(2)記載形式の変動、(3)用語・文字の差異、の三類にわけてめばしい変化を一瞥しよう。

(1) 登載項目の有無

a 官人の叙任注記。大足元年籍の上柱国子および先天二年籍の輕車都尉に注記なく、開元十年籍以後大曆年代にいた

る籍にすべて注記あり。

b 戸等。大足元年籍になく、先天二年籍以後大曆年代におよぶ籍にあり。⁽¹⁸⁾

c 公課記事。大足元年籍に布・麻・租あり、開元四年籍に租あり、開元十年籍には租のある戸とない戸が併存、天寶以後の籍は一切公課記入なし。

(2) 記載形式の変動

a 紙縫注記。開元四年籍以前はすべて紙背にあり、開元十年籍以後はみな紙表にあり。また開元四年籍以前は郷名まで、天寶籍以後は里名まで記載する。⁽¹⁸⁾

b 応受田記載。応受田および已受・未受田額ならびに已受田のうちわけを、開元十六年籍以前はすべて4行にかき、天寶三載籍以後はすべて1行(上方に応受田額、他は下方に双行乃至3行の細字分注とする。)に記載する。⁽¹⁸⁾

c 捺印。八世紀初以前の籍では戸口・公課・田土全般にわたり確認個所に捺印するに對し、開元以後の籍は任官注記・戸口異動注記にかぎり捺印するものがおおく、他に応受田額とそのうちわけに捺印する例もある。⁽¹⁸⁾要するに開元以後は以前に比し捺印個所が限定されてくる。なお捺印を欠除するものは草案とみられる。

d 各口記載下端の「空」字。前述。

(3) 用語・用字の変化

武后時代の則天文字(載初元年705、神龍元年705、690)や天寶時代の載(年字改称、天寶三載744、至德三載758)、郡(州名改称、天寶元年742、至德二載757)のように全文籍に汎用される一般的改称・改字が籍帳にも勵行されたことはいうまでもない。それほど顯著でない小改の一二例をあげよう。

a 道と路。天寶三載以前の籍は田土四至に「道」を使用するに對し、同六載以後はみな「路」を使用。これは天寶五年六月十一日勅(唐会要卷八五)により路に改称された結果であり、玄宗の崇道のあらわれとみられる。

b 数字の大字(壹貳參拾等の繁体字)。西州の武后以前の籍は各人の年令および應受田の合計額だけ大字を使用、他は小字、開元四年籍以後はすべての数字に大字使用。沙州籍では七世紀の敦戸1のみ已受合計畝数に小字を使用、八世紀以降の籍帳は年令・應受および已受合計畝数・地段畝数に大字、他は小字を使用する。⁽¹⁸⁾

敦煌(沙州)の籍と西州の籍はほぼ類似した書式により作製されているが、仔細に觀察すると部分的に無視できぬ差異を相当もっている。右述の数字大字使用個所の差もその一例になるが、以下重要な相異点を列挙しておく。

1 各戸主のかきだし。沙州は提高せず。西州は「戸主」二字提高。西魏計帳?は二字提高するから西州の形式が前代を踏襲せる可能性がつよい。

2 丁中表記。沙州の「寡」もしくは「老寡」に對し、西州は「丁寡」と「老寡」。沙州は「中女」だけなのに対し、西州は「中女」と「丁女」二種にわかれ、さらに西州のみ「大女」を冠した女戸主あり。奴・婢を沙州は單に「丁」とするに對し、西州では「丁奴」「老奴」「丁婢」と記載し、部曲についても「丁部曲」「中部曲」とかく。

3 官名。沙州の「上柱國」に對し、西州は「勳官上柱國」。

4 不輸記事。沙州の「課戸見不輸」に對し、西州は「課戸不輸」。

5 受田集計記事。沙州の「合應受田」が、西州は「應受田」。なお已受・未受のうちわけ四行(天寶以後は分注)の記載配置に差あり。⁽¹⁸⁾

6 已受田地段の種別。西州では「常田」「部田」「陶」「菜」等の注記があるに比し、沙州にはこの種の注は全然な

い。

7 地段の位置。沙州は「城東卅里千渠」のごとくかならず渠名で表示するに對し、西州柳中縣では「城南參里」のよ
うに城からの距離で表示するのが一般。(ただし西州高昌縣
は沙州と同型)

8 四至表記。西州で「至某」を頻用するに對し、沙州は「至」字をもちいない。また沙州で「自田」と表記するところを西州は「自至」と表記する。

9 縫上注記。沙州では州・縣・鄉もしくは州・縣・鄉・里を登載するに對し、西州では縣・鄉のみの例がある。

これらの差異には、実体乃至制度のちがいの反映のばあいと、單に書式の差のばあいの両者が併存している。戸令によれば戸籍は州において式に依拠して作製されるはずであるが、右述の地域差が存することは当代の書式が全国に画一的に貫徹しなかつた実情をものがたる。ただし同州内の諸縣・諸鄉の籍についてみると右述の高昌・柳中兩縣の差のごとき例もあるとはいえ、形式的齊一性は概してよくたもたれている。

戸籍の書式にあらわれた沙州の特性をしいてあげるなら、耕地がすべて渠で所在を表示される点すなわち渠水灌溉の重要性をあげよう。しかしそれ以外は唐のどの州にも共通する書式とみて支障ない。これに對し西州には漢代の用語「大女」や六朝時代の用字「陶」(唐では蜀の方
が一般的)の残存に示唆されるごとく、漢人植民地としての旧来の伝統がねづよくのこっており、それが唐代の籍帳にまで反映したと解される。

差科簿と附録

差科簿は丁男・中男を縣が役務に差発する際の臺帳であり、毎年一回作製される。現存するのは西州交河城名山郷の断卷と燉煌縣の天寶・大曆年間のもので、特に天寶年代の燉煌縣差科簿は数百行分ままとまって遺存するので、同年代の燉煌縣戸籍とあわせ考察するに有益である。差科簿には戸籍のごとく郷里・年代の縫上注記なく、

ただ縫背に縣令の署印があるだけなので年代を確知しえない。差2・差2'については、那波氏が天寶六、九載と推定され⁽³²⁾、鈴木俊氏は天寶十載・日野開三郎氏は天寶六載⁽³³⁾、西村元佑氏は天寶六載部分と十載部分混在説と諸説があつて⁽³⁴⁾、歸一にいたらない。しかし上・下限が天寶五・十一載でその間にある点は異論がないから、大体西曆七五〇年前後のものとしてよい。なお差2'は大体差2と同型式文書で縫背印署も一樣であるが、ただ他ですべて「中男」と記載するに對しこれだけ「次男」の語を使用し、また「典獄」「執衣」關係の筆蹟がこれだけ他とことなるので、一応区別してあつかうこととした。差3と差2'は数名の共通人名をふくむので、両者の年令差からその年代を推測しうる。

差科簿にあらわれた戸等構成・身分体系・役務の多様性・兵制の実情等は、男系家族構成のデータとあいまって、天寶年代の敦煌社会をうかがうに特に貴重な資料となる⁽³⁶⁾。

附録にのせた河西支度營田使管下の給穀簿は、現存部分廿九戸一六七人にすぎぬが、「新」と注記される一歳の男女をもふくむ全老幼男女と奴婢を網羅し、戸主とのつづきながら・氏名・年令をほぼ完備する。各口の年令段階・性別・良賤別に應じ一定の穀物を現実に支給するため作製された文書と解され⁽³⁷⁾、脱漏や作偽をほとんどふくまぬので、当代庶民の家族構成の標準をうかがうにすこぶる有用な資料とみられる。ただ本文書に十代後半、廿代後半の男女がひどくすくない点は、多分この年令層の男性を戸主とする戸の部分が現存せぬ個所にまとまっていたからであつて、青年の生存者が現実に激減する要因によるものではなからう。

録文 後掲録文は籍帳を主体とし、差科簿その他を付載する。籍帳は敦煌・西州の二地域に大別し、それぞれ

解説 原則として年代順に排列し、末尾に晉代の戸口簿稿（樓蘭発見）断片を附録とした。年代未詳の断片は大体の時期を推測して適当な個所におく。

本稿録文は諸殘卷の現状を忠実に移録するのではなく、籍帳本来の原型に復すにつとめた点従来の移録と方針をことにする。紙背利用の際紙葉の順序の混乱した敦戸²のごときは、現状を無視して可能なかぎり配列を原状にあらため、その他現在連貼されている卷子も中間に断絶箇所をふくむ際はきりはなして登載した。籍帳面に記入された後筆の文字についても、造籍と無関係のものは一切移録しない。

本来同一巻に属すと推定される諸断卷はまとめて一点としてあつかう。諸断卷の前後の順序は推測可能なかぎり本来の順に排列するが、もとの順が不明の際は便宜ならべる。西州籍の細片についてはもと同一巻に属したかいか容易に判断しがたいので、別々に登録したものがおおいが、それらの相互連関は今後の検討にまつ。

殘卷の現状を無視して復原形を採用したのは、個々の文字に関し異体や旧体をなるべく今日通用の字体に統一したのと同様、今日までの研究の蓄積をいかし、広汎な研究者がこれを史料として利用するに便利なよう配慮したからには、かならない。録文の参考とするため毎点上方欄外に附注をほどこした。そこには原本の所藏機関と登録番号、従来写真・録文の公刊されたもの(ただし網羅的ではなく、重要なものを選録)⁽³⁸⁾を注記するほか、本文の文字について参考となる異讀等を適宜欄記した。

本稿は決して完備したものではなく、次にのべる諸点においてなお欠陥をまぬがれない。その第一は原本実査の機会をえぬものを相当数ふくむ点である。すなわち書道博物館所藏分は閲覧許可がえられず、仁井田氏の紹介研究におおむねより、ドイツアカデミー(ベルリン)所藏分は鳴崎昌氏の録文と東洋文庫所藏写真により、レーニングラードの東洋学研究所のものは山本氏の紹介により、大英博物館所藏の細片二点(西戸⁴⁴西戸⁴⁵)は東洋文庫のマイクロ写真により、羅氏旧藏の二点は「貞松堂藏西陲秘籍叢殘」所収写真により、上海文物管理委員会所藏の一点は「敦煌資料第一輯」の録

文と菊池英夫氏の撮影された一部分(録文末尾の給殺簿34、42行)の写真によった。それ以外の一応実見したのも旅行者としてか

ぎられた閲覧時間に匆々一見したにすぎぬゆえ、なお外形・内容の詳細な研究がすすむにつれ補訂されるべき点が多々あろうとおもう。第二に本稿に収載しえなかつた籍帳がまだ存することである。レニングラード東洋学研究所敦煌文書中、メンシコフ氏等編目録に登載された一五七一号・一六八五号は目録記事からみて戸籍の類らしく(39)なお目録未載分にも西嶋先生の注目された戸別田籍の類など若干の関係資料がある。これらについては目下写真も利用しえず、同所のチュグイエフスキー氏の紹介研究の公表されるのを鶴首してまつ次第である。それ以外にも筆者の存知せぬ同類文書は中国はもとより日本等にもあるかもしれず、ひろく同学の高教にまちたい。

本稿に集録した籍帳の研究に重要な参考となる文書類は沢山ある。なかんずく十年來西嶋定生・西村元佑(15)諸氏の紹介研究されてきた西州の均田制に関する土地班給および還公文書や、周藤吉之氏の紹介研究された西州の堰頭によるさくづけ地の申請文書は(40)西州籍の給田記事とあわせ考察するべきものである。また玉井(41)・那波(42)・山本(43)・テイロ(44)諸氏により紹介研究された敦煌の九・十世紀の戸口・田土関係の多様な文書、あるいは藤枝晃(45)氏の紹介研究された八世紀末から十世紀にいたる敦煌の僧尼名簿も、ある面では敦煌籍帳の後身として総合的検討にまつ点がすくなくない。「敦煌資料第一輯」にはこれらの一部も併載されているが、本稿では籍帳等主要な保存文書と退田・給田・青苗簿等の通常文書の性格の差違、さらに九・十世紀の敦煌文書の地方的性格を考慮し、また紙幅の制約もあってこうした文書類については別の機会をまつこととした。

最後に録文凡例につき補足しておく。本文の筆蹟とことなる文字には「」を付すこととしてあるが、これは一見明瞭なばあいにかぎられ、同時同筆・異時同筆・異筆の全面的なくわしい検討はまだなされていない。ついでにいうと

敦戸 2 の㊸と㊹以下は異筆、差料簿は郷ごとに異筆、敦戸 15 の第一(1〜11行)・六(62〜74行)・十六(188〜200行)三葉だけ他紙とは異筆である。最後のケースは異筆紙葉の右端紙縫が原型を損じ若干部分破欠し貼付しなおされた形跡歴然たるものがあり、多分誤記の訂正等のため一旦連貼ののち紙葉をとりかえたものであろう。捺印については押捺個所に四隅を記入し、上欄に一個所印文を注記した。原文の文字と印四隅の位置関係は嚴密に原型どおりではなく、印刷の都合等で若干ずれることがある。全体に文字のおおきさや位置・間隔なども、決して忠実に再現されてはいないからそうした外型を問題にする際は写真による必要のあることというまでもない。

筆者は一九六八年北大文学部および同大学院演習で中国古代文書資料を教材とした際、籍帳類の録文をリコピーで複写したことがある⁽⁴⁶⁾。それはある意味で部分的に本稿の原型をなすものであったが、この二年間に原本に接したり種々の経験を経て大分移録方針にも変化を生じた。旧コピーでは縫上注記を一行にかぞえていたのを、本稿では原文行数からはぶいて別あつかいとしたごときはその一例である。本稿では引用の便宜のため上方に5行おきに行数を表示する小数字を記入した。

本稿に敦戸 6〜9 のような草案⁽⁴⁷⁾やあるいは西州籍の細片を逐一採録したことは、一見無用な労とみえるかもしれない。しかし近年の土肥氏のこまかい研究⁽¹⁸⁾などに前記コピーさえいくらかお役にたったことをかんがえると、これらも割愛にしのびず本文にくわえた次第である。

なお本文まえがき中、「中国古代籍帳の研究」「唐代の造籍制度」「遺存地域および遺存状態」の一部は、筆者が一九六九年八月ケムブリッジ大学で開催された「唐代史シムポジウム」に提出した報告「T'ang Household Registers and Related Documents. (Translated by Prof. D. Twitchett)」中の関連個所の要約抄出をふくむことを付記する。

注記

- (1) Lionel Giles *A Census of Tunhuang, T'oung Pao* XVI, 1915, P. 468—88.
- (2) 狩野氏が大英博物館で手録された戸籍類が後掲注(6)の「沙州文録補遺」に収載され、また王氏の研究(4)の基礎となった。
- (3) 濱田耕作「スタイン氏發掘品過眼録(下)」東洋学報八一、三、一九一八。又同著「東亞考古学研究」東京、岡書院、一九三〇所収。
- (4) 王國維「唐写本燉煌縣戶籍跋」「宋初写本燉煌縣戶籍跋」、王著「觀堂集林」卷一七、一九二二、(王忠愍公遺書所取本卷二一、王觀堂先生全集本同、中華書局版、一九五九、一〇二七—一〇三三頁)。
- (5) 羅振玉「貞松堂藏西陲秘籍叢殘」第二冊、一九三九に羅氏所藏戶籍の写真掲載。
- (6) 羅振玉の命により羅福長「沙州文録補遺」一九二四に羅藏および狩野氏手録の戶籍を整理して収載。
- (7) 劉復「燉煌掇瑣」中輯、中央研究院歷史語言研究所專刊、一九二五。
- (8) 陶希聖「唐戶籍簿叢輯」食貨半月刊四一五、一九三六。
- (9) 那波利貞「正史に記載せられたる大前天寶時代の戶數と口數との關係に就きて」歴史と地理三三—一、二、三、四、一九三四。
- (10) 玉井是博「燉煌戶籍殘簡について」東洋学報二六一二、一九二七、「再び燉煌戶籍殘卷について」東洋学報二四一四、一九二七、ともに同著「支那社會經濟史研究」岩波書店、一九四二所収。
- (11) 鈴木俊「唐代の戶籍と税制との關係に就いて」東亞七一、一九三四、「唐代の戶籍に就いて」歴史教育一〇—二、一九三五、「燉煌発見唐代戶籍と均田制」史学雜誌四七—七、一九三五、「戶籍作成の年次と唐令」中央大学文学部紀要九、一九五七。
- (12) 仁井田陞「燉煌等発見唐末戶籍の研究」国家学会雜誌四八一七、一九三四、「スタイン探検隊燉煌発見法律史料數種」国家学会雜誌五〇—六、一九三六、「吐魯番出土の唐代法律史料數種」史学雜誌四七—一〇、一九三六、「唐宋法律文書の研究」東方文化学院東京研究所、一九三七、特に第十五章戶籍、「支那身分法史」東方文化学院東京研究所、一九四二。
- (13) 曾我部靜雄「日唐令による戶籍計帳と宋代戶籍の源流」社會經濟史学一四—六、一九四四、「均田法とその税役制度」講談社、一九五三、「西涼及び西魏の戶籍と我が古代戶籍との關係」法制史研究七、一九五七、同著「律令を中心とした日中關係史の研究」吉川弘文館、一九六八所収。
- (14) 山本達郎「敦煌発見計帳様文書殘簡」東洋学報三七—二、三—一九五四、「A Tun-huang Manuscript of the Sixth Century A. D. Concerning the Chün-t'ien Land System. I. *Memoirs of R. D. of Toyo Bunko* XVIII, 1959. 「敦煌発見戶制田制關係文書十五種」東洋文化研究所紀要一〇、一九五六、また「土地所有の史的的研究」東京大学出版会、

一九五六所収。「敦煌発見オルデンブルグ將來田制關係文書五種」石田博士頌壽記念東洋史論叢、一九六五、「敦煌発見の大足元年籍と漢書刑法志」鈴木俊教授還暦記念東洋史論叢、一九六四。

(15) 西嶋定生「吐魯番出土文書より見たる均田制の施行状態」西域文化研究第二^{吐魯番} 社会経済資料上、一九五九、「同右補遺・補正」同前第三、一九六〇、この二篇をまとめて増補訂正をくわえ同著「中国経済史研究」東京大学出版会、一九六六所収。

(16) 西村元佑「唐代敦煌差科簿の研究」西域文化研究第三^{吐魯番} 社会経済資料下 一九六〇、訂補をくわえて同著「中国経済史研究—均田制度篇—」東洋史研究会、一九六八所収。

(17) 西川正夫「敦煌発見の唐代戸籍殘簡に現れた「自田」について」史学雜誌六四—一〇、一九五五。

(18) 土肥義和「唐令よりみたる現存唐代戸籍の基礎的研究」東洋学報五二—一、二、一九六九(実際の刊行は一九七〇)。

(19) 「敦煌資料第一輯」は「唐戸籍簿叢輯」に比し、収載内容ははるかに豊富で格段の整備をしめすといえ、今日の研究水準からみて多大の補訂を要する。本書に対する筆者の書評(東洋学報四六—一、一九六三)に若干の訂補をのべたことがある。

(20) 本稿に集録した籍帳・差科簿等のうち、大英博物館・仏国国立図書館・独国アカデミー所蔵分はほとんどすべてマイクロフィルムおよびそれからのやきつけ写真が東洋文庫にあり

閲覧利用可能である。なお龍谷大学図書館所蔵分についても写真をそなえる計画中ときいている。

(21) 一九六九年一月十四日、東京国立博物館東洋館で「樹下人物図」背貼戸籍と差科簿の調査を許可され、同二月末に三日間、龍谷大学図書館で大谷探險隊將來文書中の籍帳類を閲覧することができた。同八月英国ケムブリッジで開催された「唐代史シムボジウム」に出席した機会を利用し、八月、九月間約七週間大英博物館で、同十月約四週間仏国国立図書館でそれぞれ中国古代文書を調査し籍帳類も実見しえた。同シムボジウムに参加するについては特にケムブリッジ大学東洋研究学部の D. C. Twitchett 教授の格別の好意によるところおおく、また歐洲への往復切符と滞在費等八五〇\$は A. F. Wright 教授の配慮で American Council of Learned Societies より支給された。在欧資料の調査はすべてこれらにおうていることを特記して関係者に対しこのころからの謝意を表す。

(22) 漢代名籍の書式については西嶋定生「中國古代帝国の形成と構造—二十等爵制の研究—」東京大学出版会、一九六一、三六二—七頁参照。

(23) 居延漢簡については参照の便宜のため、原番号のほか、
 勞幹「居延漢簡 図版之部」一九五七……図頁数
 勞幹「居延漢簡 考釈之部」一九六〇……考釈
 中国科学院考古研究所「居延漢簡甲編」一九五九……甲
 Michael Loewe; Records of Han Administration. 番号

を注記しておく。

- (24) 増村宏「黄白籍の新研究」東洋史研究二一四、一九三七参照。
- (25) その他晉南朝期の籍帳をめぐるては特に越智重明氏の諸論文、「晉南朝の戸籍と客戸」社会経済史学三二一五・六、一九六七、等参照。
- (26) 濱口重國「吳・蜀の兵制と兵戸制」附説、山梨大学々藝学部研究報告九、一九五八、同著「秦漢隋唐史の研究」上巻、東大出版会、一九六六所収、四四七—五四頁。
- (27) 山本達郎(14)所掲 *Memoirs of R. D. of Toyo Bunko* XIII, P. 150, 仁井田陞「中国の法と社会と歴史—遺稿集—」岩波書店、一九六七、二〇九・二二三—五頁。
- (28) 仁井田陞「敦煌発見の中国の計帳と日本の計帳」同著「中国法制史研究 土地法・取引法」東大出版、一九六〇、二六六—七六頁。
- (29) 曾我部静雄「その後の課役の解釈問題」史林三八一四、一九五五、四〇頁以下。
- (30) 西村元佑「中国经济史研究—均田制度篇」一七八—八八頁。
- (31) 仁井田陞「唐令拾遺」東方文化学院東京研究所、一九三三、二三九—四四・八五九—六〇頁。同「唐宋法律文書の研究」六五四—六七頁。
- (32) 那波利貞(9)論文、一一六一—二〇頁。
- (33) 鈴木俊「唐代丁中制の研究」史学雑誌四六一九、一九三五、八一九—九三頁。
- (34) 日野開三郎「大唐府兵制時代における團結兵の称呼とその普及地」史淵六一、一九五四、一七頁。
- (35) 西村元佑(16)論文、「中国经济史研究—均田制度篇」五九八—六〇四・六九〇—一頁。
- (36) 天寶年代差料簿については、かつて「8世紀中葉における敦煌のソグド人聚落」ユーラシア文化研究1、一九六五、五三—七頁で簡単に解説した。
- (37) (19)書評、一一〇頁。
- (38) 籍帳等文書資料に関するくわしい文献目録は、東洋文庫敦煌文献研究委員会「*スライ*敦煌文献及び研究 西域出土漢文文献分類目録初稿I」一九六四、一五五—七四頁参照。
- (39) Л. Н. Меньшиков : Описание Китайских Дюньхуанского фонда Истригута Народов Азии. Барыск 1, 1963, стр. 639, 680.
- (40) 周藤吉之「佗人文書の研究」西域文化研究第二、一九五九、補訂をくわえ同著「唐宋社会経済史研究」東大出版会、一九六五所収。
- (41) 玉井是博「再び敦煌戸籍殘卷について」同著「支那社会經濟史研究」所収、二七一—七頁。
- (42) 那波利貞(9)論文、五九—六〇頁。
- (43) 山本達郎(14)所掲東洋文化研究所紀要十論文、二〇三—三頁
- (44) Thomas Thilo : Fragmente chinesischen Haushaltregister aus Dunhuang in der Berliner Turfan-Sammlung.

中國古代籍帳集録

Mitteilungen des Instituts für Orient Forschung der
Deutsche Akademie der Wissenschaften zu Berlin XIV
— 2, 1968, s. 303—13.

(45) 藤枝晃「敦煌の僧尼籍」東方学報京都二九、一九五九、二八
五—三三八頁。

(46) 土肥義和(18)論文(上)九五・九八頁に言及された筆者の
「中国古代籍帳録文稿」とはこのコピーのことであり、公刊
したのではない。

(47) これら敦煌戸籍中の草案については、筆者は一九六七年十
一月の史学会大会東洋史部会で簡単な報告をおこなった。

「現存唐代戸籍の年代的特徴——開元四年・十年籍案を中心
として——」(史学会第66回大会プログラム一二—三頁、史学
雑誌七六一—二、一九六七、八〇頁)参照。またこれら草案
の詳細な研究は土肥義和氏(18)論文の中にふくまれている。
これら草案類は形式的には不備なものであるにもかかわらず、
その検討を通じて造籍てつづきの理解がふかめられ、さらに
戸口・田土把握の動態を分析するてがかりがあたえられ、そ
してその内容がたまたま開元前期の王朝の国制再編成への諸
志向(宇文融の括戸政策など)と関連をもつとみられる点で、
その史料価値は注目にあたいする。

籍帳集錄

目次

敦煌籍帳

- 1 西涼敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里建初十二年(416)籍..... 60
- 2 西魏瓜州効穀郡? 大統十三年(547)計帳?..... 64
- 3 唐沙州燉煌縣龍勒鄉(7世紀後期)籍..... 84
- 4 周沙州燉煌縣効穀鄉大足元年(701)籍..... 85
- 5 唐沙州燉煌縣平康鄉先天二年(713)籍..... 91
- 6 唐沙州燉煌縣慈惠鄉開元四年(716)籍(草案)..... 94
- 7 唐沙州燉煌縣懸泉鄉開元十年(722)籍(草案)..... 100
- 8 唐沙州燉煌縣莫高鄉開元十年(722)籍(草案)..... 108
- 9 唐沙州燉煌縣(開元年代)籍(草案)..... 110
- 10 唐沙州燉煌縣(開元年代)籍..... 111

- 11 唐沙州燉煌縣（開元年代）籍 113
- 12 唐燉煌郡燉煌縣神沙鄉天寶三載（744）籍 113
- 13 唐燉煌郡燉煌縣効穀鄉天寶六載（747）籍 115
- 14 唐燉煌郡燉煌縣龍勒鄉都鄉里天寶六載（747）籍 116
- 15 唐沙州燉煌縣懸泉鄉宜禾里大歷四年（769）手實 147
- 西州籍帳

- 1 唐西州高昌縣（7世紀後期）籍 168
- 2 唐西州（7世紀後期）籍 169
- 3 周西州（天授三年（692）？）籍 169
- 4 周西州（大足元年（701）？）籍 170
- 5 周西州（大足元年（701）？）籍 172
- 6 周西州（武后時代（689～705））籍 172
- 7 周西州（武后時代（689～705））籍 173
- 8 周西州（武后時代（689～705））籍 173
- 9 西州高昌縣順義鄉（武后時代？）籍 174
- 10 西州高昌縣（7世紀末期？）籍 174
- 11 西州高昌縣（7世紀末期？）籍 174

- 12 唐西州柳中縣高寧鄉開元四年(716)籍……………175
- 13 西州(7世紀末期)8世紀初期)籍……………183
- 14 西州(7世紀末期)8世紀初期)籍……………184
- 15 唐西州高昌縣開元十年(722)籍……………184
- 16 唐西州開元十三年(725)籍……………185
- 17 唐西州開元十三年(725)籍……………185
- 18 唐西州開元十六年(728)籍……………186
- 19 唐西州高昌縣順義鄉開元年間籍……………187
- 20 唐西州高昌縣(開元年代?)籍……………188
- 21 唐西州高昌縣(開元年代?)籍……………188
- 22 唐西州高昌縣(開元年代?)籍……………189
- 23 唐西州柳中縣高寧鄉(開元年代?)籍……………189
- 24 唐西州柳中縣(開元年代?)籍……………190
- 25 唐西州(開元年代?)籍……………190
- 26 唐西州(開元年代?)籍……………191
- 27 唐西州(開元年代?)籍……………191
- 28 唐西州高昌縣?(8世紀前·中期?)籍……………191

| | | | |
|----|-------------------------|---|-----|
| 29 | 唐西州（8世紀前・中期？） | 籍 | 192 |
| 30 | 唐西州（8世紀前・中期？） | 籍 | 192 |
| 31 | 唐西州（8世紀前・中期？） | 籍 | 193 |
| 32 | 唐西州（8世紀前・中期？） | 籍 | 193 |
| 33 | 唐西州（8世紀前期？） | 籍 | 193 |
| 34 | 唐西州（8世紀前・中期？） | 籍 | 194 |
| 35 | 唐西州（8世紀前期？） | 籍 | 194 |
| 36 | 唐西州（8世紀前・中期？） | 籍 | 194 |
| 37 | 唐西州（8世紀前期？） | 籍 | 195 |
| 38 | 唐西州（8世紀前期？） | 籍 | 195 |
| 39 | 唐西州（8世紀前期？） | 籍 | 195 |
| 40 | 唐交河郡天寶九載（750） | 籍 | 196 |
| 41 | 唐交河郡柳中縣？（天寶年代（747～758）） | 籍 | 196 |
| 42 | 唐交河郡（天寶年代） | 籍 | 197 |
| 43 | 唐交河郡（天寶年代） | 籍 | 197 |
| 44 | 唐交河郡（天寶年代） | 籍 | 198 |
| 45 | 唐交河郡（天寶年代） | 籍 | 198 |

| | |
|----------------------------|-----|
| 46 唐交河郡 (天寶年代) 籍 | 198 |
| 47 唐交河郡 (天寶年代) 籍 | 199 |
| 48 唐交河郡 (天寶年代) 籍 | 199 |
| 49 唐交河郡 (至德二載 (757) ?) 戶口帳 | 200 |

戶籍附錄

| | |
|------------------|-----|
| 晉 (4 世紀?) 樓蘭戶口簿稿 | 201 |
|------------------|-----|

差科簿

| | |
|---|-----|
| 1 唐開元年代? 西州交河縣名山鄉差科簿 | 203 |
| 2 唐天寶年代 (C. 750) 燉煌郡燉煌縣差科簿 (懸泉? · 慈惠 · 從化 · 燉煌? · 壽昌諸鄉) | 204 |
| 2 唐天寶年代 (C. 750) 燉煌郡燉煌縣差科簿 | 231 |
| 3 唐大曆年代 (C. 772) 沙州燉煌縣差科簿稿 | 232 |

附 錄

| | |
|-------------------------|-----|
| 唐天寶年代 (C. 750) ? 燉煌縣名簿 | 235 |
| 唐 (8 世紀中期) 河西支度營田使戶口給穀簿 | 236 |

錄文凡例

○ 異体字 · 俗字 ———— ↓ 通用字

○磨滅・一部殘存・判讀不能

□ []

○殘劃判讀・例補・推補

罍 [文 字]

○異於本文筆蹟文字

「 」

○朱字

「 」

○抹消文字

文字

○捺印

「 」

所藏機關・登録番号略号

B. M. S. OR. M. London, British Museum, Stein Collection

B. N. P. Paris, Bibliothèque Nationale, Fonds Pelliot

D. A. T. Ch. Berlin, Deutsche Akademie d. Wissenschaften, Turfan Sammlung

И. B. Дх. Ленинград, Институт Востоковедения, Дуньхуанского фонда

龍圖 大谷 京都 龍谷大学図書館 大谷探險隊將來西域文書

書博 東京 書道博物館

文献略号

㊦ — 写真 ㊧ — 録文

㊦、仁井田 仁井田陞「唐宋法律文書の研究」(東方文化学院東京研究所 一九三七)

那波 那波利貞「正史に記載せられたる大唐天寶時代の戸數と戸數との關係に就きて」(歴史と地理三三卷一)

二・三・四号 合冊抽印本 一九三四)

④ 資料 中国科学院歴史研究所資料室編「敦煌資料 第一輯」(北京 中華書局 一九六一)

○ B. M. S. 113

現連貼 1 卷

驛、^④作釋

仕、^①作仙

敦、^①作墩（以下同）

男下、脫第 1 字

馬、^①^④共作馮

敦戶 1 西涼敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里建初十二年（416）籍

① (a) (前) 欠 ()

1 道男弟德年廿一驛子

(後) 欠 ()

① (b) (前) 欠 ()

1 仕? 妻趙年十七

仕? 息女宮年一

建初十二年正月籍

敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里兵裴晟年六十五

5 息男醜年廿九

醜男漆年廿五

漆妻馬年廿九

丁男二

次男

女口

凡口四

居趙羽塢

10 建初十二年正月籍

九、^⑨作六
□、廿或卅

| | 24 | 20 | 15 |
|---|----------|---------|---------------------|
| 前 | 後 | | |
| 欠 | 欠 | | |
| | 建初十二年正月籍 | | |
| | 居趙羽塢 | 凡口七 | 女口三 |
| | 金息男養年二 | 隆妻蘇年廿二 | 金妻張年卅六 |
| | | 金男弟隆年□四 | 息男金年卅九 |
| | | 妻袁年六十三 | 敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里兵裴保年六十六 |
| | | | 建初十二年正月籍 |
| | | | 居趙羽塢 |
| | | | 凡口二 |
| | | | 女口一 |
| | | | 丁男一 |
| | | | 母高年六十三 |
| | | | 敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里散陰懷年十五 |

臘、原作臘、臘之異体

羽、原作張

妻唐、原作唐妻

| | | | |
|----------------------|--------------------|---------------------|------|
| 15 | 10 | 5 | 1 |
| 敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里大府吏隨嵩年五十 | 敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里兵呂德年卅五 | 敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里散呂沾年五十六 | |
| 妻曹年五十 | 妻唐年卅一 | 妻趙年卅三 | |
| 息男壽年廿四 | 息男巽年十七 | 息男元年十七 | |
| | 巽男弟受年十 | 元男弟騰年七本名臘 | |
| | 受女妹媚年六 | 騰女妹華年二 | |
| | 媚男弟興年二 | | |
| | 建初十二年 | 建初十二年 | |
| 丁男二 | 丁男二 | 丁男二 | 丁男二 |
| 女口三 | 小男二 | 凡口五 | 小男二 |
| | 女口二 | 居趙羽 | 凡口二 |
| | 凡口六 | 正月籍 | 居趙羽塢 |
| | 正月籍 | | |

⑤ Giles; T. P. XVI, p. 468
仁井田 文書 P. 668 ~ 72
資料 P. 3 ~ 7

⑥ Stein; Serindia vol. IV, Pl. CLXVI. Giles; T. P. XVII, p. 468 ~, Pl. I. Giles; Six Centuries at Tunhuang, Pl. VI. 仁井田 文書 (以上各一部) Pl. XI

| | | | |
|--------------------|--------|---------|------------------------------|
| 5 | 1 | 25 | 20 |
| 敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里散唐黃年廿四 | ④ (前欠) | (後欠) | 敦煌郡敦煌縣西宕鄉高昌里散隨楊年廿六 母張年五十四 |
| 建初十二年正月 | 居凡女 | 居凡女 | 居凡 |
| 趙羽塢 | 口口 | 口口 | 趙羽塢 |
| 籍 | 二一 | 二一 | 籍 |
| | | 建初十二年正月 | 丁男 |
| | | 趙羽塢 | 一 |

縫背注記
現在不存

○ B. M. S. 613

現連貼1卷

現第7葉

六、西村云八之譌
不可採用

7
妻呂年廿六
息女皇年六

(後 欠)

丁男一
女口二

敦戸 2 西魏瓜州効穀郡? 大統十三年(547)計帳?

1 (a) (前 欠)

口 冊 一 女 年 一 已 上

口 一 老 寡 妻 年 六 十 已 下

口 五 寡 妻 年 六 十 四 已 下

口 二 賤 小 婢 年 五 十 三 舊 九

口 什 拾 捌 課 見 輸

口 五 新

口 卅 一 舊

口 卅 二 男

5

| 25 | 20 | 15 | 10 |
|------|----|----|----|
| 都 | | | |
| 合 | 牛 | | |
| 調 | 二口 | 口 | |
| 布頭 | 口 | 口 | 口 |
| 参 | 頭 | 兩 | 口 |
| (五)拾 | 未 | 拾 | 口 |
| 匹 | 受 | 作 | 妻 |
| 臺 | 受 | 妻 | 十 |
| 資 | 田 | 妾 | 六 |
| | 田 | 三 | 十 |
| | 不 | 口 | 六 |
| | 丈 | 口 | 六 |
| | 捌尺 | 三 | 二 |
| | 課 | 上 | 新 |
| | 課 | 新 | 舊 |
| | 頭 | 下 | 中 |
| | 新 | 下 | 中 |
| | 下 | 上 | 新 |
| | 中 | 中 | 新 |

冊、当作冊

牛、^資作中

現第4葉

| | | | | | |
|-----------------|--|-------|--|-------|--|
| 40 | | 35 | | 30 | |
| 都 | | 都 | | 都 | |
| 合 八 | | 合 六 | | 合 八 一 | |
| 租 | | 十 | | 冊 三 | |
| 捌 | | 七 | | 匹 四 | |
| 拾 | | 斤 良 | | 二 丈 良 | |
| 冊 九 石 二 斗 五 升 良 | | 良 | | 尺 丈 | |
| 捌 兩 | | 十 廿 九 | | 柒 | |
| 十 石 斛 | | 十 廿 九 | | 斤 | |
| 九 七 斗 參 | | 九 九 | | 斤 | |
| 石 五 升 | | 斤 斤 | | 捌 | |
| 中 上 斛 賤 | | 下 中 | | 兩 牛 賤 | |
| | | 上 | | 下 中 上 | |
| | | 上 | | 下 中 上 | |

冊、山本・西村・資
共作冊

現第5葉

斛、衍

石、当作斛

牛、[㊦]作中

石、当作斛

45

參拾捌石折輸草柒拾陸圍
六斗五升
九石五斗下
六石七斗五升折輸草十三圍半上
廿一石七斗五升折輸草冊三圍半中

50

都

合稅租兩拾肆斛
陸石件
四石五斗不課戶上稅
拾石件
四石五斗輸租

55

柒

六石不課戶下稅租
一石
五石臺資口計丁床稅
三斛件
石
折輸草六圍上

獵、原作獺、獵之異体、
以下同

現第15葉

一、西村作二

乘、剩、(◎)作業

隆、癘

| | | | | | | | | |
|------------|---|----|---|---|----|---|---|-------|
| | | 70 | | | 65 | | | 60 |
| | | | 都 | | | | | 都 |
| 右件 | 牛 | 戶 | 合 | 參 | | | | 五合 |
| 應受田壹頃壹拾陸畝足 | 口 | 應 | 乘 | 六 | 二 | 一 | 一 | 課 |
| 八卅十畝 | 六 | 受 | | 拾 | 拾 | | 人 | 四石五斗 |
| 卅畝 | 男 | 田 | | 兩 | 人 | 人 | 人 | 丁男 |
| 正麻頭小足參人 | 一 | 戶 | 二 | 兵 | 人 | 人 | 雜 | 折輸草九圍 |
| | 隆 | 參 | | 人 | 虞 | 防 | 獵 | 參拾柒 |
| | 老 | 拾 | | 卅 | 定 | | 任 | 中人 |
| | 中 | | | 見 | 候 | 閣 | 師 | |
| | | | | | | | 役 | |

現第2葉

元、山本作九

106 105

100

95

右件應受田參頃參拾柒畝

戶 口 一 一

右件應受田十五畝元無

老 無 田 女

二頃廿五畝未受

七畝蘭

一頃十二畝已受

畝正 畝麻

牛 二頭

右件應受田捌頃肆拾捌畝

戶 七 一

口 十 四

良 分

口 口 八 丁 男

六 丁 女

四頃一十五畝未受

四頃卅三畝已受

一頃七十畝正

十三畝蘭

二頃五十畝麻

權、[Ⓢ]作權

(以下 餘 白)

① (前 欠)

1 戶主劉文成己丑生年參拾究 盞寇將軍 課戶上

妻任舍女甲午生年參拾肆 臺資妻

息男子可乙卯生年拾參 中男

息男子義丁巳生年拾壹 中男

息女黃口水亥生年仵 小女凡口七不課

息男子侯辛酉生年柒 小男

息男黃口甲子生年肆 小男

計布一匹

計麻二斤

10

計租四石

二石五斗 輸 租

一石五斗折輸草三圍

一丁男

口二中年十三已下

口四男

口二小年七已下

口一小女年五

一丁男

口二臺資權稅令課

一丁妻

15

計受田口二

一丁妻

卅六畝已受

十五畝麻

廿畝正

應受田六十六畝

一畝菌 二分未足

卅畝未受

20

一段十畝麻

舍西二步

東至舍 西北至渠

南至白醜奴

一段廿畝正

舍東二步

東至侯老生

西至舍 南北至渠

右件二段戶主文成分

麻正足

現第13葉

一段五畝麻

舍

東

西

南

北

右件一段 妻舍女分

麻足 正未受

一段一畝居住菌宅

戶主侯老生水酉生年作拾件

白丁

課戶上

妻叩延臘、丙子生年作拾兩丁妻

口一出陳不課中女死

息男阿顯丁未生年兩拾壹

白丁

息男顯祖辛亥生年拾柒

中男凡口七

口一男

口一中年十七

叩、^⑧作鄧
陳、当作除

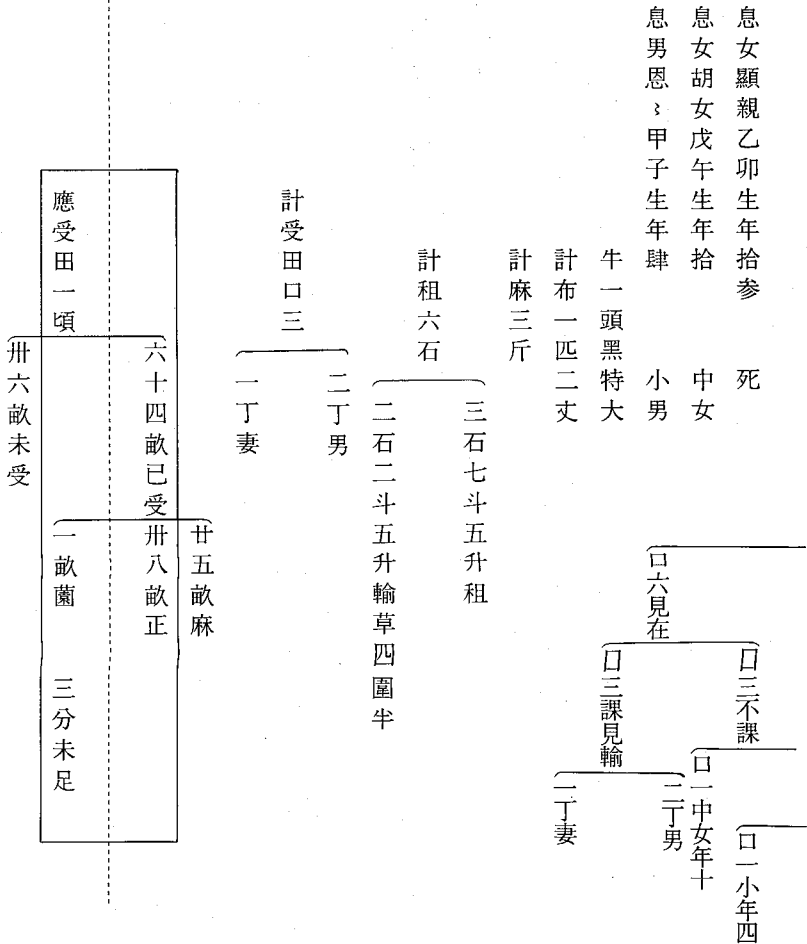
廿、^⑧作四

45

40

35

30



50

一段十畝麻 舍南一步 東至曹匹智拔西至侯老生南至搜北至渠
 一段廿畝正 舍西五步 東至麻西至劉文成南至元興北至道
 右件二段戶主老生分 麻正足

一段五畝麻 舍西卅步 東至老生西至文成南至老生北至渠
 一段十畝正 舍南一里 東至曹鳥地拔西至文成南至坵 北至老生

右件二段妻臘、分 麻正足

一段十畝麻 舍西一步 東至舍 西至渠南至阿各孤北至曹羊仁
 一段八畝正 舍南十步 東至渠 西至豐虎南史敬香北至渠

右件二段息阿顯分 麻足 正少十二畝

55

一段一畝居住園宅

戶主其天婆羅門戊辰陸拾

白丁

課戶上

羅門、原作門羅
 辰下、脫生年二字

妻白醜女辛巳生年肆拾柒

丁妻

口一出除不課中女年十三死 口一中年十五

息男歸安水丑生年拾仟

中男

口三不課 口二男 口一小年九

願、山本作頭、
 西村作頭

息女願英戊午生年拾

中女凡口六

息男廻安己未生年究

小男

口五見在

息女 □ □ 乙卯生年拾參 死

口二課見輸

(後 欠)

二丁妻

二丁男

二丁妻

現第17葉
ⓑⓐ可能連接、未確定

牛、(資)作中

15

10

5

1

Ⓒ

(前

牛兩頭特大

欠)

計布一匹四尺

計麻二斤

計租四石三斗

計受田口二

應受田八十六畝

一匹良

四尺牛

二石八斗輸租

二石五斗良

一石五斗折輸草三圍

三斗牛

一丁男

一丁妻

七十一畝已受

十五畝麻

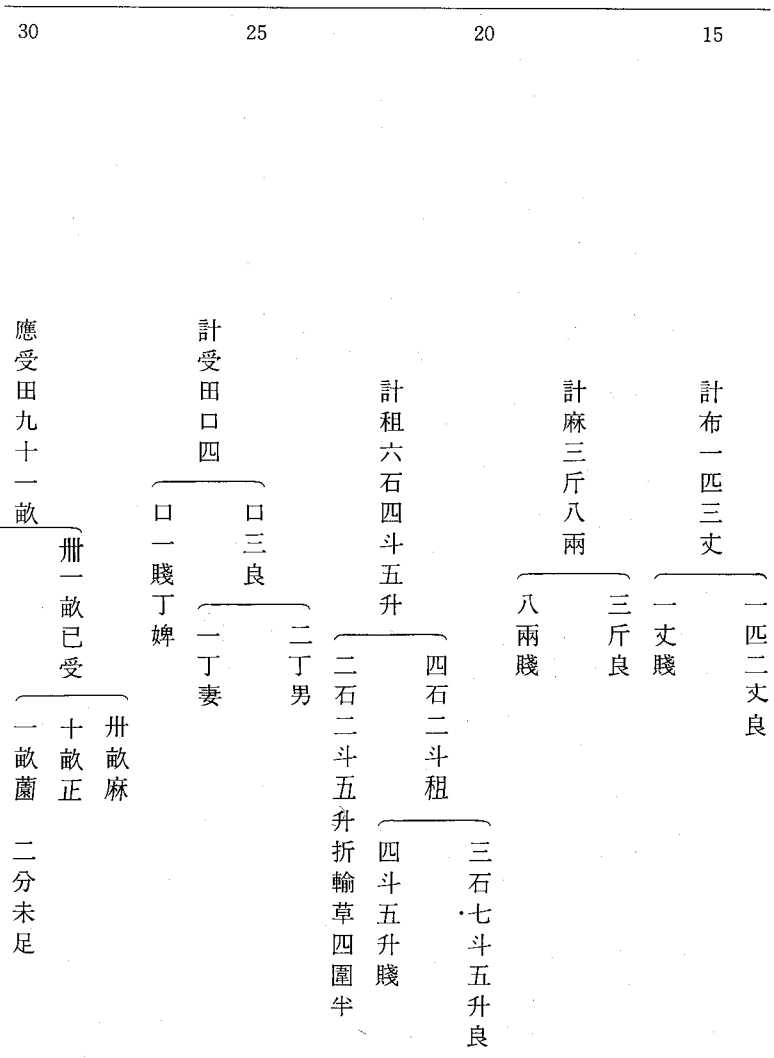
五十五畝正三分未足

一畝藺

現第16葉

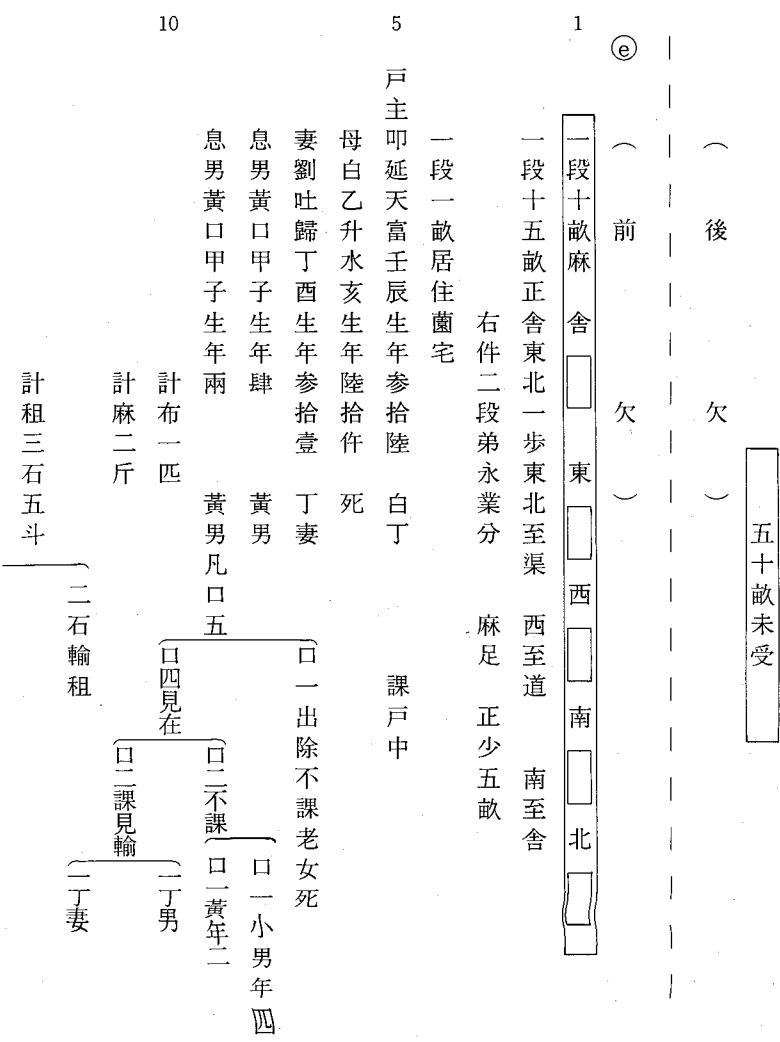
見下、脱輸1字

| | | | |
|----|---|--------------------------------|-----|
| 10 | 5 | 1 | 16 |
| | | ① | |
| | | 前 | 後 |
| | | 欠 | 欠 |
| | | () | () |
| | | 十五畝未受 | |
| | | <p>戶主</p> <p>白丁</p> <p>課戶上</p> | |
| | | <p>妻</p> <p>丁妻</p> | |
| | | <p>息男衆僧乙卯生年拾參</p> <p>實年十八</p> | |
| | | <p>息男神和甲子生年肆</p> <p>小男</p> | |
| | | <p>婢來花己未生年究</p> <p>實年十八進丁</p> | |
| | | <p>息男黃口甲子生年兩</p> <p>黃男上</p> | |
| | | 凡口六 | |
| | | <p>口二不課</p> <p>口一不男年四</p> | |
| | | <p>口四課見</p> <p>口一黃男年二</p> | |
| | | <p>口一賤丁婢</p> <p>一丁妻</p> | |
| | | <p>口三良</p> <p>二丁男</p> | |



現第8葉

叩、^實作鄒



15

計受田口二

一丁男
一丁妻

一石五斗折輪草三圍

20

應受田冊六畝

廿六畝已受
十五畝麻
十畝正
一畝園
二分未足
廿畝未受

25

一段十畝麻 舍西一步 東至舍 西至渠 南至渠 北至□

一段十畝正 舍東二步 東至匹知拔西至舍 南至渠 北至渠

右件二段戶主天富分 麻足 正少十畝

一段五畝麻 舍西廿步 東至天富 西至渠 南至鳥地拔北至渠

右件一段妻吐歸分 麻足 正未受

一段一畝居住園宅

戶主王皮乱己巳生年件拾究 白丁 課戶中

妻那雷處姬辛卯生年參拾柒丁妻

受、当作壽（山本說）

斛、山本作聊、西村作聊

買、^⑤作員

買下、或脱丁1字

30

息女、親辛丑生年兩拾柒 中女 出嫁受昌郡民泣陵申安

息女醜婢丙辰生年拾兩 中女 出嫁効穀縣斛斯已奴黨王奴子

息男買丁巳生年拾壹 中男

息女子休己未生年究 小女

口二出除不課中女年廿七已下出嫁

35

凡口六

口四見在

口二不課

口一中男年十一

口一小女年九

一丁男

口二課見輸

一丁妻

計布一匹

40

現第10葉

計麻二斤

受、衍

計受租三石五斗

二石輸租

蘭、当作草

一石五斗折輸蘭三圍

45

二、当作三

十下、脱三一字

| | | | | |
|--------------|----------|------------|------------|------|
| 50 | 計受田口二 | 一丁男 一丁妻 | 廿二畝已受 | 十五畝麻 |
| 應受田卅六畝 | 廿三畝未受 | 七畝正 | 二分未足 | |
| 一段十畝麻 | 舍東二步 | 東至安周西至舍 | 南至渠 | 北至元興 |
| 一段七畝正 | 舍西三步 | 東至舍 | 西至元興南至渠 | 北至元興 |
| 一段五畝麻 | 舍西一里 | 東至步胡朱西至乙 | 升南至婆洛門北至豐虎 | |
| 一段一畝居住蘭宅 | 右件一段妻處姬分 | 麻足 | 正未受 | |
| 戶主白醜奴丁亥生年肆拾壹 | 白丁 | 課戶中 | | |
| 母高阿女壬寅生年捌拾陸 | 老妻 | | | |
| 妻張醜女丙申生年參拾兩 | 丁妻 | | | |
| 息男顯受庚戌生年拾捌 | 白丁 | 進丁 | | |

現第11葉

英、山本·西村共作莫

65

息女 丙辰生年拾兩 中女

息男阿慶丙辰生年拾兩 中男

息男安慶丁巳生年拾壹 中男

息女未客壬戌生年陸 小女凡口十五

息女未醜戊午生年拾 中女

息女暈庚申生年捌 小女

弟武興壬寅生年參拾陸 白丁

興妻房英·己亥生年兩拾究丁妻

興息女阿暈甲子生年肆 小女

興息女男英甲子生年肆 小女

興息女續男乙丑生年兩 黃女 上

計布二匹二丈

計麻五斤

計租八石七斗五升

口十不課

口二男 口二中年 十二已下

口一老年 八十六

口八女 口二中年 十二已下

口四小年 八已下

口一黃年 一

三丁男

口五課見輸

二丁妻

五石輸租

三石七斗五升折輸草七圍半

75

70

与山本 MRD TB XVIII,

P. 1 ~ XV

西村、中国经济史研究

函版 19 (一部)

山本、東洋学報 37-2

P. 2 ~ 18

山本 MRD TB XVIII,

P. 141 ~ 52

西村、中国经济史研究

P. 158 ~ 8778

資料 P. 107

現第1葉

世、西村作生

畝下、脱麻1字
和雙、原作雙V和

82

80

計受田口五

三丁男

二丁妻

(後

欠

應受田一頃廿一畝
畝已受
卅畝麻
畝正

(前

欠

1
f

五十畝未受

一段十畝麻

舍西五步 東至舍 西至渠南至廣世北至阿奴孤

右件一段戶主廣世分 麻田足 正未受

4

一段五畝

舍北十五步東至道 西至渠南至廣世北至和雙駒

(後

欠

右件一段妻
分
麻田足 正未受

縫背注記
現在唯存朱印左端

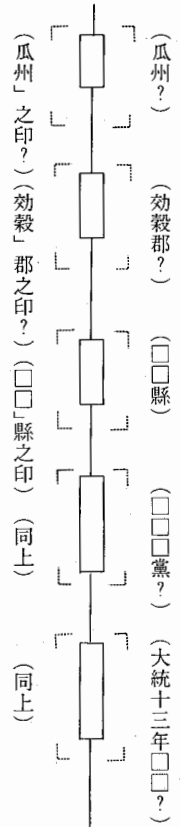
○ B. M. S. 6343

現破碎3斷片
押捺朱印

(燉煌縣之印)

平、山本作第一
女、(⊗)作安

河、山本作渠



敦戶 3 唐沙州燉煌縣龍勒鄉 (7世紀後期) 籍

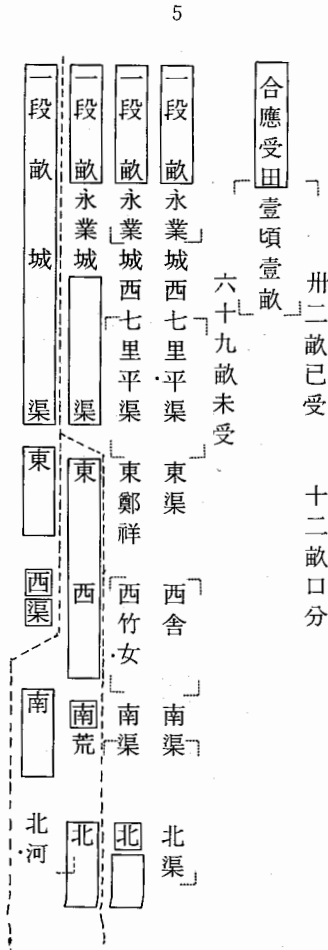
(前 欠)

廿畝永業

卅二畝已受 十二畝口分

合應受田 壹頃壹畝

六十九畝未受



質、山本作偷方
埠、山本作坑

⑩山本、東洋文化研紀要
P. 195 } 6

資料 P. 111 } 2

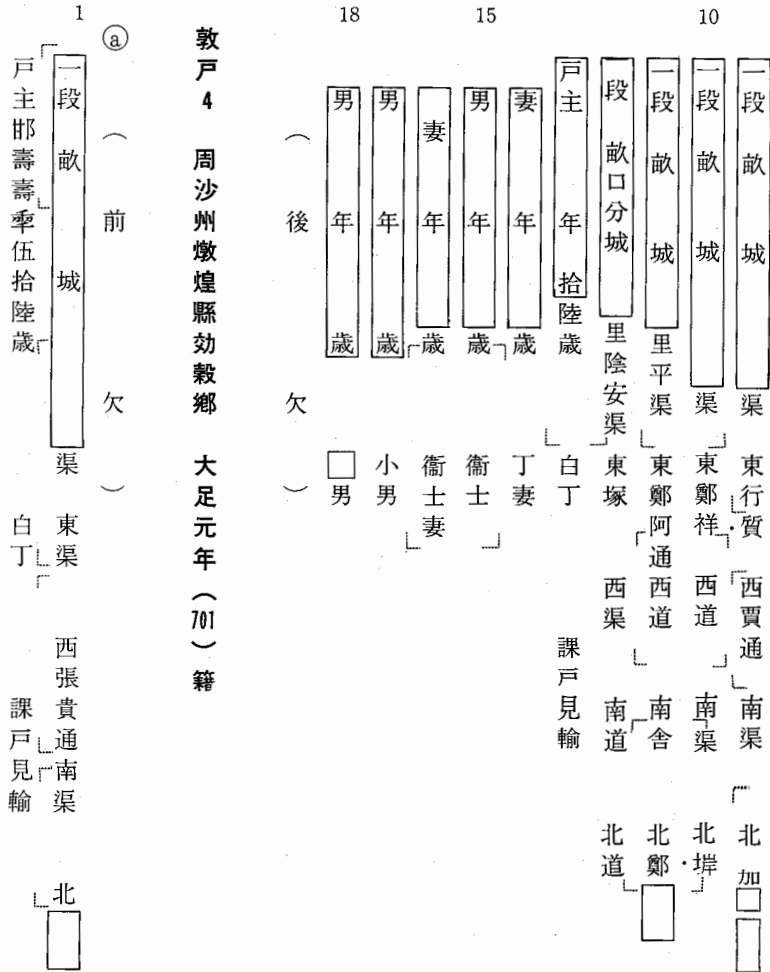
○ B. N. P. 3557
① -- P. 3669

現 2 斷卷

押捺朱印

(燉煌)縣之印)

北大文学部紀要



5

「女娘子率」拾參歲
「亡弟妻孫率」參拾陸歲

小女
寡

計「布二丈」五尺
計「麻三斤」
計「租二石」

10

合應受田壹頃參拾壹畝
肆拾肆畝已受

八十七畝未受

廿三畝口分
一畝居住園宅

| | | | |
|--------|---------|---------|----------|
| 一段陸畝永業 | 城東卅里兩支渠 | 東宋孝行西邯娒 | 南張善貴北荒 |
| 一段伍畝永業 | 城東卅里兩支渠 | 東劉相 | 西曹石生南自田 |
| 一段伍畝永業 | 城東卅里兩支渠 | 東荒 | 西自田 |
| 一段伍畝 | 城東卅里兩支渠 | 東樹生 | 西屯屯 |
| 一段貳畝口分 | 城東卅里兩支渠 | 東自田 | 西場 |
| 一段壹畝口分 | 城東卅里兩支渠 | 東自田 | 西自田 |
| | | | 南渠 |
| | | | 北自田 |
| | | | 南索仲謙北索仲謙 |
| | | | 南索仲謙北劉海相 |

15

②①位置關係、
依摺紙背漢書刑法志
殘文推測（山本說）

20

一段「貳畝口分」城東「卅里兩支渠」東「索善住」西道「南自田」北道
一段「貳畝口分」城東「卅里兩支渠」東「自田」西「邨文相」南道「北菌」

一段「拾伍畝口分」城東「卅里兩支渠」東「康才」西「宋君才」南渠「北渠」

一段「壹畝居住園宅」

戶主「趙端嚴」參「拾玖歲」

寡「代夫承戶」不課戶

夫「卅屯」率「伍拾壹歲」

白丁「壁曆二率帳後軍內簡出三率帳後死」

男「長命」率「拾貳歲」

小男「壁曆三率帳後死」

女「娘子」率「貳拾歲」

中女

女「玉」率「拾肆歲」

小女

率

（中間約 5 行欠）

27

25

（一紙約 13 行欠）

廿畝永業

46
①b

八畝口分

貳拾捌畝已受
合應受田捌拾壹畝

五十三畝未受

一段拾貳畝永業 城東卅里兩支渠 東道 西郡文相南劉集 北郡才

一段伍畝永業 城東卅里兩支渠 東索仲謙西劉集 南劉集 北劉集

一段伍畝 城東卅里兩支渠 東自田 西自田 南自田 北屯屯

一段陸畝口分 城東卅里兩支渠 東王丞 西高願 南渠 北渠

戶主索譽才 季伍拾歲 衛士 課戶見不輸

母 白 季伍拾陸歲 寡 十八畝永業

55

拾捌畝已受

合應受田壹傾參拾壹畝 一畝居住園宅

一傾一十三畝未受

一段柒畝永業 城東卅里兩支渠 東文強 西薛惠 南自田 北自田

一段貳畝永業 城東卅里兩支渠 東自田 西孫保意南宋貴祭北孫万壽

56

瓦、那波·仁井田·山本
②共作局
索、那波·仁井田·
③共作常

八、当作七

65
20

一段伍畝永業 城東卅里兩支渠 東槩子 西荒 南張高 北坑
 一段參畝永業 城北廿里无窮渠 東楊寄生西澤 南賀洪達北自田
 一段壹畝居住園宅
 戶主張玄均 牽參拾肆歲 上柱國子 課戶見不輸
 母 薛 牽陸拾貳歲 寡
 弟思 寂牽貳拾肆歲 上柱國子
 冊畝永業
 卅五畝口分

70
25

合應受田 貳傾參拾壹畝 柒拾伍畝已受
 一傾五十六畝未受
 一段肆畝永業 城東卅里鄉東渠 東渠 西道 南道 北黃妹子
 一段拾壹畝永業 城東卅里鄉東渠 東渠 西自田 南道 北和通
 一段貳畝永業 城東卅里鄉東渠 東王達 西自田 南道 北渠
 一段陸畝永業 城東卅里兩支渠 東道 西自田 南道 北渠
 一段貳畝永業 城東卅里鄉東渠 東王達 西自田 南渠 北渠
 一段陸畝永業 城東卅里兩支渠 東渠 西道 南舍 北渠

75
30

一段陸畝永業 城東卅里兩支渠 東渠 西道 南舍 北渠
 一段貳畝永業 城東卅里鄉東渠 東王達 西自田 南渠 北渠
 一段陸畝永業 城東卅里兩支渠 東道 西自田 南道 北渠
 一段貳畝永業 城東卅里鄉東渠 東王達 西自田 南道 北渠
 一段拾壹畝永業 城東卅里鄉東渠 東渠 西自田 南道 北和通

⑤山本、東洋文化研紀要 10

Pl. II a, b ①

⑥那波、P. 25 ⑧

仁井田、文書P. 679 ⑧1

山本、東洋文化研紀要 10 ①

山本、鈴木遷曆論叢

P. 717 ①

資料P. 8 ② 11 ①

縫背注記

上一印(沙州之印)
下三印(燉煌縣之印)

86 85
41 40

80
35

沙州
燉煌縣
効穀鄉
大足元季籍

母 汜 季陸拾壹歲
男 休 季伍 歲
寡 季曆三季 帳後死
後 欠

父 師 季陸拾捌歲
主張楚 季肆拾貳歲
一段玖畝口分 城北廿里无窮渠 東伯威 西渠 南思思 北靈 觀
一段拾柒畝口分 城東卅里鄉東渠 東馬才 西渠 南道 北渠
一段貳畝口分 城東卅里鄉東渠 東申毗陀 西道 南毗陀 北舍
戶主張楚 季肆拾貳歲
父 師 季陸拾捌歲
前校尉雲騎尉 課戶見不輸
果毅 代父承戶
東渠 西索達 南渠 北石 懷智
東白田 西道 南張師 北場
東荒 西坑 南渠 北渠

○ B. N. P. 2822 羅氏旧藏
 (a) —
 (b) —
 (c) —

敦戸 5 唐沙州燉煌縣平康鄉 先天二年(713)籍

(a) () 前 () 欠 ()

1

參拾陸畝已受

二十畝永業
 一十六畝口分

合應受田壹頃壹畝

六十五畝未受

5

| | | | | | |
|--------|---------|-----|------|------|------|
| 一段貳畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西渠 | 南渠 | 北張智詮 |
| 一段陸畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東自田 | 西坑 | 南渠 | 北君衡 |
| 一段壹畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東自田 | 西張行開 | 南舍 | 北張君護 |
| 一段肆畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西張慶 | 南舍 | 北張表 |
| 一段貳畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東方福 | 西渠 | 南懷靖 | 北方福 |
| 一段伍畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西張玄福 | 南自田 | 北自田 |
| 一段陸畝口分 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西渠 | 南張夜叉 | 北懷靖 |
| 一段肆畝口分 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西岸 | 南懷靖 | 北懷靖 |
| 一段貳畝口分 | 城北七里八尺渠 | 東懷靖 | 西客郎 | 南道 | 北方福 |

10

14 一段肆畝口分 城北四里八尺渠 東渠 西渠 南渠 北自田

(後 欠)

⑥ (前 欠)

| | | |
|------------|--------|--------|
| 合應受田參頃肆拾肆畝 | 柒拾肆畝已受 | 六十畝永業 |
| | | 一十二畝口分 |
| | | 二畝居住園宅 |

1 二頃七十畝未受

5

| | | | | | |
|---------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 一段柒畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西自田 | 南渠 | 北自田 |
| 一段壹畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東自田 | 西舍 | 南道 | 北園 |
| 一段壹畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東自田 | 西舍 | 南道 | 北園 |
| 一段壹拾畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東自田 | 西行智 | 南舍 | 北自田 |
| 一段玖畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東自田 | 西渠 | 南智衡 | 北開奴 |
| 一段壹畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西道 | 南自田 | 北王方 |
| 一段參畝永業 | 城北七里八尺渠 | 東渠 | 西自田 | 南渠 | 北白駒 |

暮、当作墓

⑤羅振玉、貞松堂藏西陲
秘籍叢殘第2冊(b)(c)

⑥劉復、敦煌掇瑣中輯49(a)
羅福長、沙州文錄補P.9

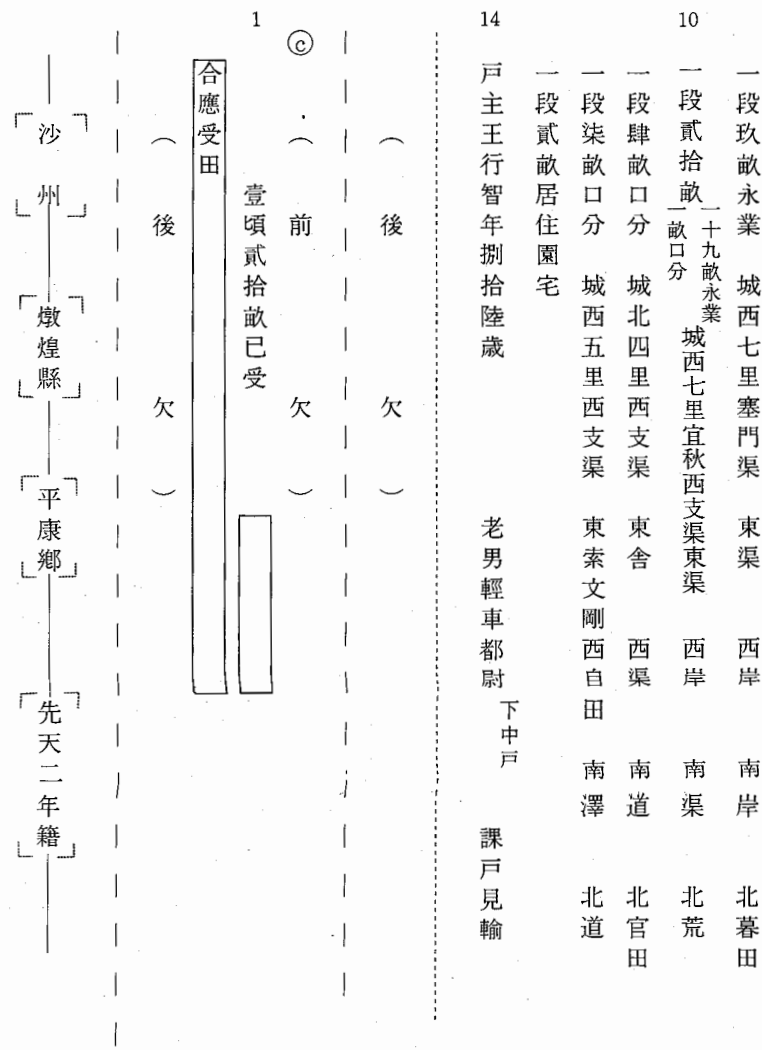
那波、P.30 2 2(a)
仁井田、文書P.683 6 (a)(b)

資料P.12 5 (a)(b)
土肥、東洋學報52 2
P.81 2 (b)(c)

縫背注記

上一印(沙州之印)
下三印(燉煌縣之印)

北大文学部紀要



○ B. N. P. 3877

敦戶 6 唐沙州燉煌縣慈惠鄉 開元四年(716)籍 (草案)

(前 欠)

1 A 計租 二石

廿畝永業

參拾柒畝已受 十六畝口分

合應受田壹頃伍拾壹畝 一畝居住園宅

5 一 頃一十四畝未受

一段壹拾捌畝永業 城東廿里千渠 東渠 西渠 南渠 北渠

一段玖畝 二畝永業 城東廿里千渠 東渠 西渠 南渠 北石天奴

一段壹畝居住園宅

一段主楊法子年參拾玖歲 衛士 下下戶 課戶見不輸

10 母 王 年柒拾參歲 寡

一十四畝永業

壹 拾伍畝已受

楊法子、Cf下文C1

| | | | | | | | |
|------------|---|--|-------------------|------------|------------|-----------|----------------------|
| 14 | 25 | 10 | 20 | 5 | 15 | 1 B | 13 |
| 父廻通年柒拾伍歳 | 戸主董思罰年貳拾貳歳 | 一段肆畝永業 一段肆畝永業 一段肆畝永業 | 合應受田伍拾壹畝 廿五畝未受 | 姑客 娘年貳拾歳 | 姉思 言年壹拾陸歳 | 母 王 年參拾陸歳 | 合應受田壹頃參拾壹畝 一畝居住園宅 |
| 老男 開元二年帳後死 | 白丁殘疾 <small>轉前籍年廿開元二年帳後具加就實 下上戸 課戸見輸</small> | 東董罰 西自田 南陰思隱北渠 東道 西渠 南道 北渠 東懷意 西道 南董懷意北渠 東張信 西汜君卿南竇阿達北王万成 | 廿六畝口分 | 中女 廿畝永業 | 中女 開元二年帳後死 | 寡 開元二年帳後死 | |

B·C 本文內容不連續

| | | | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|----------|------|---------|
| 28 | 40 | 25 | 35 | 20 | 30 | 15 | 14 |
| 戶主和懷福年柒拾歲 | 一段伍畝口分 | 一段肆畝口分 | 一段陸畝口分 | 一段肆畝永業 | 一段壹拾陸畝永業 | 計租二石 | 母張年伍拾陸歲 |
| | 城東廿里千渠 | 城東廿里千渠 | 城東廿里千渠 | 城東廿里千渠 | 城東廿里千渠 | | |
| | 東道 | 東道 | 東張信 | 東索君臣 | 東渠 | 廿畝永業 | 寡 |
| 老男 | 西懷信 | 西道 | 西渠 | 西道 | 西李伏生 | 八畝口分 | |
| 下中戶 | 南王懷智 | 南道 | 南渠 | 南道 | 南汜徹 | | |
| 不課戶 | 北張思慶 | 北陰思隱 | 北張義方 | 北王懷智 | 北渠 | | |

楊法子 Cf 前文 A 9

1 C 戶主楊法子年參拾玖歲

妻 陰 年參拾陸歲

男 乾昱年 捌 歲

女 娘子年壹拾貳歲

衛士 下中戶

課戶見不輸

5 45

參 拾玖畝已受

一十九畝口分

廿畝永業

小女

合 應受田壹頃壹畝

六 十二畝未受

50

一段 壹拾肆畝永業 城東廿里千渠東渠 西渠 南陰思廉北渠

一段 壹拾貳畝 六畝永業 六畝口分 城東廿里千渠東楊義節西楊通仁南道 北自田

10

縣、作課

戶 主王妙智年伍拾陸歲

寡 先天二年籍後出嫁入縣內燉煌鄉臨池里戶主張有仁爲妻

楊王王、Cf 下文 C 15

女楊王王年壹拾捌歲

中女開元三年帳後出嫁入里內戶主余善意孫男伏保爲妻

戶 主余善意年捌拾壹歲

老男

下中戶 課戶見輸

孫男伏保年貳拾壹歲

白丁

55

保妻楊年壹拾捌歲

計租 二石

丁妻 開元三年帳後娶里內戶主王妙智女楊王五爲妻

貳 拾捌畝已受

廿畝永業

七畝口分

合應受田壹頃陸拾壹畝

一畝居住園宅

一 頃卅三畝未受

一段壹畝永業

城東廿里第一渠

東孟具

西道

南道

北自田

一段捌畝永業

城東廿里第一渠

東孟須伽西道

南孟具

北孟通

一段壹畝居住園宅

戶主杜客生年肆拾捌歲

衛士

下下戶聖曆二年七月沒落

課戶見輸

妻 馬 年伍拾柒歲

衛士妻

男是 是年貳拾陸歲

白丁


景雲元年全戶逃走

女法 子年貳拾貳歲

中女

計租 二石

現狀、破裂分離

伽、土肥共作如

二、作六

15

60

20

65

25

70

C・D本文内容不連続

妻、土肥作女

録資料P.21 } 6

土肥、東洋学報52 | 2

P.55 } 60

章、土肥作遊

北大文学部紀要

70

肆 拾畝已受

合應受田貳頃壹畝

卅九畝永業

一畝居住園宅

1 D

一段 渠

東任僧保西師有 南大成 北 右娘

戸主 歳

戸 景龍三年全戸逃走

課戸見不輸

妻 歳

妻

畝永業

5

畝已受

合應受田 畝

畝未受

80

一段 畝永業 城 渠

東張諫 西常 南 北

(中間 数 行 欠)

1

一段 壹畝永業 城 東卅里千渠

東辛 西 南 北

一段 捌畝永業 城 東卅里千渠

東翟法章 西 南 北

(後 欠)

縫背注記
無捺印

○ B. N. P. 3898
P. 3877
①
②
③

①
②
③
內容重複

——沙州——燉煌縣——慈惠鄉——開元四年籍——

敦戶 7 唐沙州燉煌縣懸泉鄉 開元十年(722)籍(草案)

① () 前 欠 ()

女伏 力年壹拾玖歲

中女

女无 尚年 玖 歲

小女

女小 小年壹拾肆歲

小女

開元八年帳 後漏附

女娘 娘年 玖 歲

小女

開元八年帳後漏附

廿畝永業

貳 拾 畝 已 受

合應受田貳頃壹畝

一 頃 八 十 一 畝 未 受

一段貳畝永業 城東廿里瓜渠東張靖光西渠 南渠 北索才

5

1

10 ② 合應受田伍拾壹畝並未受

戶主郭玄昉年伍拾陸歲

白丁 下下戶

課戶見輸

妻 李 年伍 拾歲

丁妻 開元七年籍後被其年十二月十三日符從
尊合貫附 轉前籍年廿一開元八年帳後良加就實被開

男思 宗年貳拾貳歲

衛士 元七年十二月十三日符從 尊合貫附開元九年
後奉其年九月九日格點入 「年籍後被」

男思 楚年壹拾柒歲

中男 被開元七年十二月十三日符從 尊合貫附

15

女伏 力年壹拾玖歲

中女

被開元七年十二月十三日符從 尊合貫附

女无 上年 玖 歲

小女

女小 小年壹拾肆歲

小女

開元八年帳後漏附

女娘 娘年 玖 歲

小女

開元八年帳後漏附

10

20

貳 拾 畝 已受

廿畝永業

合應受田貳頃壹畝

ⓑ·本文內容不連統

以上P. 3898

14 一段貳畝永業 城東廿里瓜渠 東張靖光西渠 南渠 北索才

1 ① 一段肆畝永業 城東卅里官渠 東渠 西僧壽 南 北

25 一段參畝永業 城東卅里官渠 東自田 西 南 北

一段壹畝口分 城東卅里官渠 東道 西 南 北

一段參畝口分 城東卅里官渠 東道 西 南 北

5 一段拾畝口分 城東卅里官渠 東僧僧 西 南 北

一段肆畝口分 城東卅里官渠 東道 西 南 北

30 一段柒畝口分 城東卅里官渠 東自田 西 南 北

一段壹畝口分 城東卅里官渠 東道 西 南 北

一段肆畝口分 城東卅里官渠 東自田 西 南 北

10 一段貳畝口分 城東卅里官渠 東僧壽 西 南 北

一段伍畝口分 城東卅里官渠 東道 西 南 北

35 戶主楊思祚年參拾柒歲 白丁代父承戶 下□□同 不課戶

父僧 壽年陸拾伍歲

老男 開元八年帳後死

「兌」

以下 P. 3877

⑥・⑦本文内容不連続

14 母 王 年陸 拾歲 寡

① 一頃一十八畝未受

一段拾柒畝永業城東十五里瓜渠 東渠 西荒 南自田 北荒

一段肆畝^{三畝永業}城東十五里瓜渠 東渠 西安忽薛南自田 北安忽薛

一段參畝口分城東十五里瓜渠 東官田 西渠 南索才 北索才

一段貳畝口分城東十五里瓜渠 東索才 西渠 南索才 北自田

一段拾畝口分城東十五里瓜渠 東楊伽生西荒 南官田 北馬提伽

一段柒畝口分城東十五里瓜渠 東道 西自田 南官田 北荒

一段壹畝居住園宅

戶主楊義本年伍拾貳歲

上騎都尉 萬歲通天元年八月四日授甲頭索口
下中戸空 課戸見不輸

妻 孫 年肆拾肆歲

職資妻 空

男 守 忠年貳拾伍歲

衛士 開元九年帳後奉其年九月九日格點入
空

男 大 絢年壹拾玖歲

中男 轉前籍年廿開元七年籍後只減就實
空

楊大絢、Cf. 敦戸 15 182

© · ④ 本文內容不連續

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
| <p>15</p> <p>女花 兒年 參 歲</p> <p>黃女</p> <p>開元九年帳後附</p> | <p>65 14</p> <p>女阿 屯年參拾壹歲</p> <p>女妙 介年參拾伍歲</p> <p>男元 祚年 參 歲</p> <p>黃男 開元九年帳後附</p> | <p>10</p> <p>戶主趙玄義年陸拾玖歲</p> <p>妻 王 年陸拾參歲</p> <p>老男 妻</p> <p>老男 妻</p> <p>下中戶</p> <p>不課戶</p> | <p>60</p> <p>一段 壹畝居住園宅</p> <p>一段 貳畝口分 城東十里趙渠 東舍</p> <p>西渠 南梁阿生北梁阿生</p> <p>一段 渠 東</p> <p>一段 渠 東</p> <p>西 保 南梁遠 北梁才</p> <p>西 梁 阿生 南道 北曹表</p> | <p>55</p> <p>④ (中間 5 行 欠)</p> <p>14</p> <p>男面 面年 陸 歲</p> <p>小男 開元八年帳後漏附空</p> <p>50</p> <p>男守 言年壹拾貳歲</p> <p>小男 空</p> |
|---|---|--|--|---|

十一畝永業

壹 拾壹畝已受

合應受田伍拾貳畝

70

冊一「一」畝未受

20

一段壹畝永業 城東廿里沙渠

東道

西自田

南荒

北埤

一段貳畝永業 城東廿里沙渠

東澤

西玄爽

南自田

北自田

一段參畝永業 城東廿里沙渠

東澤

西自田

南自田

北自田

一段參畝永業 城東廿里沙渠

東道

西澤

南渠

北澤

一段貳畝永業 城東廿里沙渠

東玄美

西玄美

南玄美

北自田

戶主 汜尚元年伍拾捌歲

寡

下下戶

不課戶

75

25

壹 拾伍畝已受

合應受田伍拾壹畝

一畝居住園宅

80

冊 六畝未受

一段伍畝永業 城東廿里沙渠

東玄義

西李玄識南道

北玄義

30

93
95
Cf 敦戶 15
134
136

95

一段參畝永業 城東廿里沙渠 東澤 西河 南令狐惠北沙
拾肆
 一段玖畝 城東十五里沙渠東奴仁 西翟君政南趙仵 北令狐殊
四畝永業
十畝口分
五

90

合應受田壹頃壹畝
貳參拾伍畝已受
一六
 七十六畝未受
 一段拾參畝永業城東廿里沙渠 東澤 西玄義 南荒 北玄義

90

計租 二石
 女慈 觀年壹拾玖歲 中女
 妻 宋 年肆拾壹歲 丁妻
 戶主趙玄表年伍拾捌歲 白丁
開元九年帳後奉其年九月九日格衛士十周已上
間放出 下下戶 課戶見輸
 「兌」

35

85

一段參畝永業 城東廿里沙渠 東澤 西自田 南荒 北自田
 一段陸畝永業 城東廿里沙渠 東玄義 西李伏護南渠 北李桃捺
 一段壹畝居住園宅

自田、土肥作渠

45

戸主曹仁備年肆拾捌歳

衛士上柱國

開元八年九月十日授甲頭康大昭下中

課戸見不輸

妻張年肆拾捌歳

職資妻

男崇年參拾歳

上柱國子

崇妻索年貳拾肆歳

丁妻

男崇瓌年伍歳

小男

女明咒年壹拾玖歳

中女

冊畝永業

「兌了」

50 105

陸拾參畝已受

廿二畝口分

合應受田及勲田參拾壹頃捌拾貳畝

一畝居住園宅

卅「一」頃一十九畝未受

55 105

一段肆畝永業

東道

西玄爽

南道

北加應

一段伍畝永業

東渠

西渠

南玄爽

北思亮

一段拾捌畝永業

東行徹

西曹保

南玄義

北渠

一段拾伍畝

東道

西曹福

南渠

北自田

一段伍畝口分

東

西

南

北

110

十二畝永業
二畝口分

城東十里趙渠

城東十里趙渠

城東十里趙渠

⑤山本、東洋文化研紀要10
Pl. III a, b (a) (b)

⑥山本、同右P. 186 8 (a) (b)

資料P. 16 21 (c)

土肥、東洋學報52 2
P. 48 53 (c)

○B. N. P. 2684

60

一段參畝口分 城東十里趙渠 東曹口 西道 南曹口 北道

一段壹畝口分 城東十里趙渠 東曹福 西道 南舍 北曹信

一段壹畝口分 城東十里趙渠 東渠 西曹慶 南自田 北渠

一段貳畝口分 城東十里趙渠 東曹慶 西渠 南渠 北曹慶

一段參畝口分 城東廿里瓜渠 東官田 西渠 南渠 北

一段伍畝口分 城東廿里瓜渠 東荒 西韓德 南韓 德

一段拾畝 永業城東廿里瓜渠東渠

(以下餘白)

117
66

65

115

敦戶 8 唐沙州墩煌縣莫高鄉 開元十年(722)籍(草案)

(a) (前 欠)

1 戶主王万壽年伍拾壹歲

女尚品 年貳拾壹歲

計 租 二 石

白丁 神龍元年全家家沒落開元九年帳後奉其年九月九日格衛士沒落放出 下中戶 課戶見輸

中女 一十畝 永業

5

壹拾壹畝已受

㉑㉒現在上下逆向連貼

(後 欠)

(前 欠)

廿畝永業

① 沙州

燉煌縣

莫高鄉

開元十年籍

1 伍拾畝已受

卅畝口分

合應受田壹頃伍拾壹畝

一 頃一畝未受

□ 一段捌畝永業 城南七里灌津渠東賀德素西渠 南沙 北渠

一段柒畝永業 城南七里陽開渠東李万其西沙 南李懷保北李文卿

一段伍畝永業 城南七里陽開渠東李懷保西王智信南渠 北自田

□ 一段肆畝口分 城南七里灌津渠東官田 西自田 南渠 北渠

一段柒畝口分 城南七里陽開渠東荒 西渠 南渠 北坑

一段拾玖畝口分城南七里陽開渠東張武遷西張玄素南石 北堞

10 戶主白樹合年貳拾肆歲 品子 取故父阿通輕車都尉蔭聖曆元年二月廿二日授甲國

母 張 年陸拾伍歲 寡 汜玄貞 下中戶 課戶見輸 「兌」

①那波 P.28 30

仁井田、文書 P.720 1

玉井、支那社会經濟史研究

資料 P.278 9

土肥、東洋學報 P.52 2

P.92 3

北大文学部紀要

O. B. M. S.
6298

姉伯 藥年貳拾伍歲 中女

(後 計 租 田 石 欠)

敦戸 9 唐沙州燉煌縣 (開元年代) 籍 (草案)

(前 欠)

(a)

1

一段柒畝 六畝永業
一畝口分 城東五里大壤渠東自田 西張達 南園 北自田

一段拾參畝口分 城東卅里千渠 東渠 西道 南康胡羅北張

一段陸畝口分 城東卅里千渠 東王德 西渠 南渠 北渠

一段陸畝口分 城東卅里千渠 東道 西渠 南胡羅 北胡羅

一段伍畝口分 城東五里大壤渠東道 西渠 南渠 北自田

一段拾貳畝口分 城東五里大壤渠東道 西自田 南自田 北道

一段 畝口分 城東五里大壤渠東渠 西自田 南渠 北渠

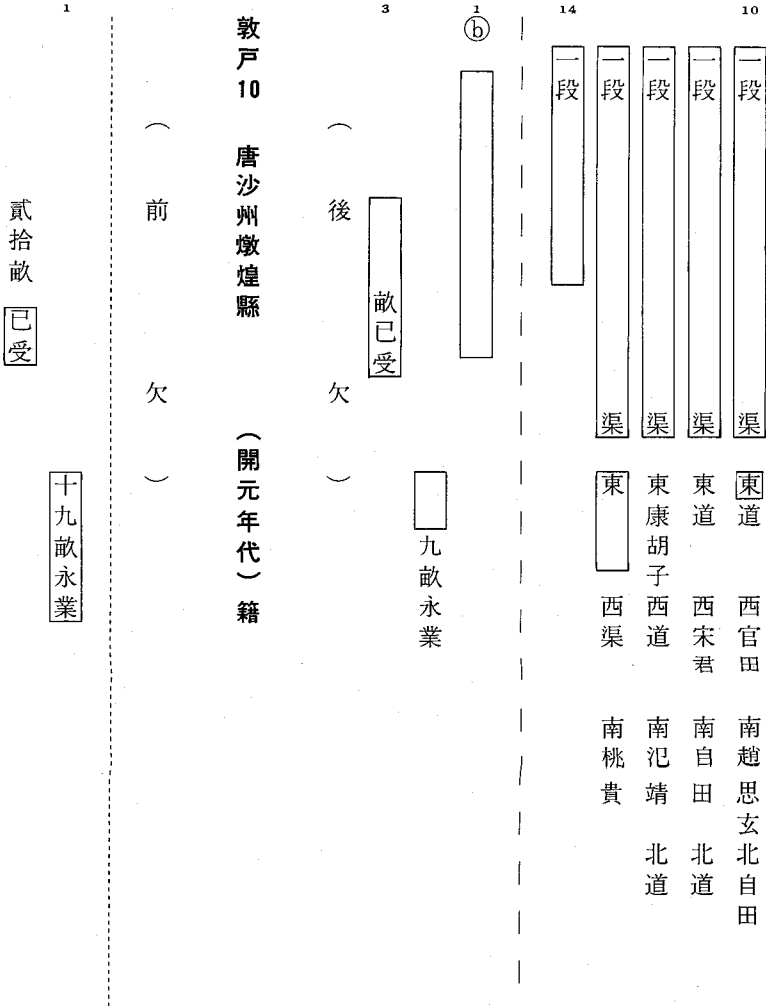
一段 渠東渠 西官田 南自田 北渠

一段 渠 東道 西官田 南趙思玄北自田

○ B. M. S. 5950

Ⓐ Ⓑ 本文内容不連続

録山本、東洋文化研紀要 10
P. 198 } 9
資料 P. 110 } 1



①山本、東洋文化研紀要
P. 193 } 5
資料 P. 109

14

10

5

合應受田壹頃貳畝

八十二畝未受

一畝居住園宅

一段肆畝永業 城北廿里王使渠東 西南北

一段柒畝永業 城北廿里王使渠東 西南北

一段捌畝永業 城東北廿里王使渠東 西南北

一段壹畝居住園宅

戶主汜惠意年貳拾伍歲

父思 諫年陸拾歲

母張 年伍拾肆歲

妹面 醜年壹拾歲

貳拾玖畝已受

後 欠

畝口分
廿畝永業

○ H. B. dx. 476 6

押捺朱印

(燉煌)縣之印

○ 山本、石田頌壽論叢
P. 519 } 20

○ B. N. P. 163
P. (=2719)

北大文学部紀要

敦戸 11 唐沙州燉煌縣 (開元年代) 籍

(前 欠)

肆 拾畝已受 廿畝永業

合應受田壹頃壹畝 十七畝口分 三畝居住園宅

六 十一畝未受

一段 伍畝永業 城西七里夏交渠 東

一段 拾畝永業 城西七里夏交渠 東

一段 伍畝永業 城西七里夏交渠 東

一段 柒畝口分 城西七里平都渠 東

一段 拾畝口分 城西七里夏交渠 東

一段 參畝居住園宅

(後 欠)

敦戸 12 唐燉煌郡燉煌縣神沙鄉 □ □ 里天寶三載 (744) 籍

(前 欠)

押捺朱印

(燉煌)縣之印

但縫部郡名上鈐
(燉煌)郡之印

伍下、脫畝1字

⑤山本、東洋文化研紀要10

Pl. I

⑥山本、東洋文化研紀要10
P. 191, 2

燉煌郡……………燉煌縣……………神沙鄉……………里……………大寶三載籍

1 一段伍畝永業「城西二里念同渠東張業」西官田「南渠」北坑

一段壹畝永業 城西二里念同渠東自田 西田 南渠 北渠

一段壹畝永業 城西二里念同渠東渠 西渠 南渠 北渠

一段伍畝永業 城西二里念同渠東道 西道 南王協 北

一段伍口分 城西二里念同渠東張璟 西張璟 南張業 北

一段壹畝居住園宅 下下戶空 不課戶

戶主張奴奴載陸拾參歲 老男 空

母 宋 載捌拾參歲 老寡 空

妻 解 載陸拾歲 老男 妻 空

10 女妃 尚載參拾玖歲 中女 空

合應受田捌拾貳畝 貳拾貳畝已受 廿畝永業 二畝居住園宅
六十畝未受

12 一段貳畝永業「城西十里三支渠東張均」西道 南道 北

燉煌郡……………燉煌縣……………神沙鄉……………遠里……………天寶三載籍

押捺朱印

(燉煌)縣之印

但縫部郡名上鈐

(燉煌)郡之印

敦戸 13 唐燉煌郡燉煌縣効穀鄉 [] [] 里天寶六載 (747) 籍

(前 欠)

(後 欠)

燉煌郡

燉煌縣 効穀鄉

里

天寶六載籍

一段

城東卅里瓜渠

東河

西路

南北

戶主 [] 仁明載肆拾壹歲

上柱國

開元廿八載五月十五日授團頭 [] [] []
曾伽 祖林 父立 下下戸 不課戸

母 辛 載陸拾陸歲

老寡

空

男良 輔載 玖 歲

小男

空

女黑 子載 參 歲

黃女

天寶四載帳後附空

女尚 子載 參 歲

黃女

天寶四載帳後附空

女足 足載 貳 歲

黃女

天寶五載帳後附空

姉進 娘載肆拾柒歲

中女

空

5

1

一頃、当作頃九十

◎玉井、支那社会經濟史研究 P. 267 38

資料 P. 33 4

○a B.N.P. 2592

○b B.N.P. 3354

○c 末部、羅氏旧藏

B.M.S. 3907

押捺朱印

10 姉妃 娘載肆拾肆歲 中女 空
妹伏 介載參拾伍歲 中女 空

合應受田參拾壹頃參拾參畝 參拾玖畝已受 廿畝永業 十八畝口分 一畝居住園宅
卅一頃四畝未受

一段參畝永業 城東卅里兩支渠東彭瑒 西渠 南坑 北路

一段拾伍畝永業城東卅里八尺渠東乎福 西舍 南自田 北路

一段壹畝永業 城東卅里兩支渠東何師子西井 南澤 北舍

14 燉煌郡 燉煌縣 効穀鄉 里 天寶六載籍
(後 欠)

○a 敦戶 14 唐燉煌郡燉煌縣龍勒鄉都鄉里天寶六載 (747) 籍
(前 欠)

1 燉煌郡 燉煌縣 龍勒鄉 都鄉里 天寶六載籍
賓女因 果載 貳 歲 黃女 天寶五載帳後附空

女 无 尚載參拾陸歲 中女 女

(嫩煌)縣之印

但縫部郡名上鈐

(嫩煌)郡之印

5

女客 子載貳拾柒歲 中女 空

女略 仁載貳拾壹歲 中女 空

女王 王載 柒歲 小女 空

亡兄妻 張載陸拾陸歲 老寡 空

妹果 果載肆拾玖歲 中女 空

合應受田壹頃捌拾肆畝 肆拾畝已受並永業
一頃卅四畝未受

一段貳拾畝永業 城西十里平渠 東渠 西張行福南卑思亮北渠

一段拾畝永業 城西十里平渠 東路 西舍南仁節北仁貞

一段貳畝永業 城西七里陰安渠東渠 西渠 南渠 北陰智運

一段捌畝永業 城西廿里長酉渠東磨祥 西坑 南渠 北岸

戶主鄭恩養 載肆拾參歲 白丁 下中戶空 課戶見輸

「母程」載陸拾柒歲「老寡」

15

墩煌郡

墩煌縣

龍勒鄉

都鄉里

天寶六載籍

「妻 汜」
載參拾玖歲

「丁妻」
空

男 嗣 方載壹拾捌歲

中男 空

女 王 王載壹拾壹歲

小女 空

女 羅 娘載壹拾壹歲

小女 天寶四載帳後漏附空

女 羅 娘載壹拾歲

小女 天寶三載籍後漏附空

女 妃 娘載陸歲

小女 天寶四載帳後漏附空

女 羅 妃載貳歲

黃女 天寶五載帳後附空

妹 胡 娘載肆拾捌歲

中女 空

妹 娘 娘載參拾捌歲

中女 空

妹 妙 尚載參拾壹歲

中女 空

20

女 羅 娘載壹拾歲



女 妃 娘載陸歲

女 羅 妃載貳歲

妹 胡 娘載肆拾捌歲

妹 娘 娘載參拾捌歲

妹 妙 尚載參拾壹歲

建、那波・仁井田・ 節、那波・ 作郎

25

合應受田貳頃參拾肆畝
壹頃壹畝已受冊畝永業冊七畝口分一十二畝買田一畝居住園宅
一頃卅三畝未受

一段伍畝永業 城西十里平渠 東渠 西陰仁素南懷則 北路

一段貳畝永業 城西七里平渠 東汜爽 西渠 南坑 北渠

一段陸畝永業 城西七里平渠 東懷斌 西自田 南自田 北渠

一段柒畝永業 城西七里平渠 東渠 西車成咬南渠 北鄭阿頭

一段伍畝永業 城西七里平渠 東陰懷智 西鄭懷斌 南鄭阿表 北懷則

一段柒畝永業 城西十里平渠 東鄭懷則 西鄭懷斌 南鄭君 北渠

一段陸畝買田 城西七里平渠 東鄭懷則 西張保養 南鄭君 福北懷則

一段陸畝買田 城西七里平渠 東鄭君福 西王祐興 南王祐興 北君福

一段陸畝永業 城西十里平渠 東路 西鄭通 南渠 北鄭阿通

一段貳畝永業 城西十里平渠 東渠 西坑 南渠 北渠

一段伍畝口分 城西十里平渠 東王仕建 西自田 南王奉節 北自田

一段柒畝口分 城西十里平渠 東渠 西程意 南渠 北自田

一段參畝口分 城西十里平渠 東渠 西自田 南渠 北自田

一段壹畝口分 城西十里平渠 東程意 西路 南程意 北程意

30

一段柒畝永業 城西七里平渠 東渠 西車成咬南渠 北鄭阿頭

一段伍畝永業 城西七里平渠 東陰懷智 西鄭懷斌 南鄭阿表 北懷則

一段柒畝永業 城西十里平渠 東鄭懷則 西鄭懷斌 南鄭君 北渠

一段陸畝買田 城西七里平渠 東鄭懷則 西張保養 南鄭君 福北懷則

一段陸畝買田 城西七里平渠 東鄭君福 西王祐興 南王祐興 北君福

一段陸畝永業 城西十里平渠 東路 西鄭通 南渠 北鄭阿通

一段貳畝永業 城西十里平渠 東渠 西坑 南渠 北渠

一段伍畝口分 城西十里平渠 東王仕建 西自田 南王奉節 北自田

一段柒畝口分 城西十里平渠 東渠 西程意 南渠 北自田

一段參畝口分 城西十里平渠 東渠 西自田 南渠 北自田

一段壹畝口分 城西十里平渠 東程意 西路 南程意 北程意

35

40 一段肆畝口分 城西十里平渠 東姜庭芝西 渠 南賀石住北 渠

一段伍畝口分 城西十里平渠 東賀住 西程賓 南 渠 北 渠

42 一段拾肆畝口分城西十里平渠 東李欽? 西車成光南 渠 北鄭則

燉煌郡

燉煌縣

龍勒鄉

都鄉里

天寶六載籍

(後 欠)

⑥ (前 欠)

1 一段陸畝永業 城西七里高渠 東 渠 西杜桃控南張德 北張德

一段伍畝永業 城西七里高渠 東思楚 西曹善 南 渠 北 坑

一段參畝 一畝口分 二畝永業 城西七里高渠 東思楚 西 渠 南 渠 北張奉節

一段陸畝口分 城西十里平渠 東白遷 西 暮 南官田 北張顯

5 戶主曹思 礼載伍拾陸歲 隊副 開元十一載九月十六日授甲頭和智恭 曾高祖廓父珠 下中戶空 課戶見不輸

母 孫 載陸 拾歲 寡 天寶五載帳後死空

妻 張 載伍拾捌歲 職資妻空

弟 令 休載貳拾捌歲 白丁 天寶五載帳後死空

15

女 尚 真載壹拾參歲
 女 進 進載壹拾伍歲
 女 妙 仙載壹拾柒歲
 弟 思 欽載肆拾貳歲
 亡兄男瓊璋載貳拾參歲
 亡兄男瓊玉載壹拾柒歲

小女 空
 小女 空
 白丁 開元十五載沒落空
 上柱國子「取故父德建上柱國蔭景雲元載十月廿二日授甲頭張元爽天寶四載帳後漏附曾高祖廓父建空
 小男 天寶四載帳後漏附空

10

燉煌郡
 燉煌縣
 龍勒鄉
 都鄉里
 天寶六載籍
 男 令 璋載壹拾捌歲
 亡弟 妻王載貳拾伍歲

中男 天寶四載帳後死空
 寡 天寶四載帳後漏附空

20

妹 妙 法載肆拾參歲

中女 空

合應受田參頃陸拾肆畝

陸拾貳畝已受 六十畝永業 三頃二畝未受 一畝口分

一畝居住園宅

一段拾伍畝永業城西十五里高渠東 渠 西曹智 南鄭黃福北 舍

一段陸畝永業

城西十里白土渠東自田 西 渠 南 渠 北 渠

燉煌郡 燉煌縣 龍勒鄉 都鄉里

一段玖畝永業

城西七里高渠 東 渠 西曹智 南 渠 北 趙嶷

一段拾壹畝永業城西七里高渠

東張從教西 渠 南 渠 北 坑

一段肆畝永業 城西十里高渠

東官田 西 渠 南 路 北 渠

一段肆畝永業 城西十里高渠

東 渠 西高神通南高神通北 渠

一段拾貳畝十一畝永業 一畝口分城西十里高渠

東自田 西董突厥南 渠 北 渠

一段壹畝居住園宅

戶主曹懷瑀 載陸拾陸歲

老男翊衛 神龍二載七月一日授甲頭王庭玉 曹高祖忠 父託 下下戶空 課戶見不輸

男 元 超載 參 歲

黃男 天寶四載帳後附空

女 尚 尚載參 拾歲

中女 空

25

30

㉞ 現在連貼

| | | | | | | |
|--|----------------------------|--|--|---------------------|---------------------|--------------------|
| <p>1</p> <p>一段壹畝口分 城西七里陰安渠東 坑西渠南渠北張慶</p> <p>一段陸畝口分 城西七里陰安渠東 渠西渠南宋賓北渠</p> <p>一段伍畝口分 城西七里陰安渠東 坑西自田南坑北渠</p> <p>一段陸畝口分 城西十里平渠東 路西渠南路北王苟仁</p> | <p>㉞</p> <p>前</p> <p>欠</p> | <p>36</p> <p>女介介載壹拾壹歲 小女空</p> | <p>35</p> <p>女介介載壹拾伍歲 小女空</p> | <p>女仙仙載貳拾貳歲 中女空</p> | <p>女仙仙載貳拾貳歲 中女空</p> | <p>女真載貳拾肆歲 中女空</p> |
| | | <p>後</p> <p>欠</p> | | | | |
| | | <p>嫩煌郡</p> <p>嫩煌縣</p> <p>龍勒鄉</p> <p>都鄉里</p> <p>天寶六載籍</p> | <p>嫩煌郡</p> <p>嫩煌縣</p> <p>龍勒鄉</p> <p>都鄉里</p> <p>天寶六載籍</p> | | | |

5

一段拾肆畝口分城西十里平渠 東渠 西劉貞 南賈奉舉北渠

一段壹畝口分城西十里平渠 東自田 西自田 南自田 北舍

一段柒畝口分城西七里平渠 東自田 西自田 南自田 北舍

一段壹畝口分城西七里平渠 東渠 西路 南路 北舍

一段參畝口分城西五里陰安渠東渠 西渠 南張懷德北張慈惠

一段參畝居住園宅城西七里陰安渠東井 西路 南張鐵 北渠

10

戶主劉智 新載貳拾玖歲 白丁 下下戶空 課戶見輸

祖母 王 載陸拾玖歲 老寡 空

母 索 載肆拾玖歲 寡 空

妻 王 載貳拾壹歲 丁妻 天寶三載籍後漏附空

----- 墩煌郡 ----- 墩煌縣 ----- 龍勒鄉 ----- 都鄉里 ----- 天寶六載籍 -----

弟 知 古載壹拾柒歲 小男 空

妹 仙 云載貳拾玖歲 中女 空

15

妹 王 王載 柒 歲 小女 空

合應受田壹頃陸拾參畝 陸拾捌畝已受 廿畝永業 冊七畝口分 一畝居住園宅

一段貳拾畝永業城西七里平渠 東賈阿本西 渠 南 渠 北自田

一段拾畝口分 城西七里平渠 東 舍 西 渠 南 渠 北劉善政

一段參拾畝口分城西七里平渠 東 渠 西 墓 南史勝明北 路

一段陸畝口分 城西十里平渠 東 渠 西 仙圖 南 渠 北李懷忠

一段壹畝口分 城西十里平渠 東 卑思亮西 渠 南 渠 北張思恭

一段壹畝居住園宅

25

戶主陰 襲 祖載捌拾伍歲

老男

久視元載全家沒落 下中戶空

不課戶

合應受田伍拾壹畝並未受

戶主陰承光 載貳拾玖歲

白丁

下下戶空

課戶見輸

「婆 袁 載柒拾參歲

老寡

空

燉煌郡 燉煌縣 龍勒鄉

都鄉里

天寶六載籍

母 齊 載肆拾陸歲

寡 空

女下、脫空二字

30

妻 侯

載貳拾肆歲

丁妻

天寶四載帳後漏附空

弟 承

俊載貳拾伍歲

白丁

空

妹 惠

日載貳拾歲

中女

合應受田貳頃陸拾貳畝

肆拾玖畝已受 冊畝永業
二頃一十三畝未受

七畝口分 二畝居住園宅

一段伍畝永業

城西七里陰安渠東

渠 西 渠 南 渠 北宋阿達

一段貳畝永業

城西七里陰安渠東

渠 西 渠 南陰元嗣北 舍

一段陸畝永業

城西七里陰安渠東

楊卿 西 路 南韓伏德北 渠

一段陸畝永業

城西七里陰安渠東

陰昱 西 胡女 南自田 北 渠

一段陸畝永業

城西十里胡渠

東毛徹 西 毛徹 南 毛海藏北 渠

一段陸畝永業

城西七里陰安渠東 宋延興 西 胡女 女南胡女 北 渠

一段拾伍畝

九畝永業
六畝口分

城西七里陰安渠東 阿嚴 西 路 南蘇木頭北 路

一段壹畝口分

城西七里陰安渠東 自田 西 宋堪仁南 舍 北 場

一段貳畝居住園宅

敬煌郡

敬煌縣

龍勒鄉

都鄉里

天寶六載籍

40

35

戶主徐庭 芝載壹拾柒歲 小男 天寶五載帳後漏附 代姊承戶 下下戶空 不課戶

45

姊 仙 仙載貳拾柒歲 中女 空

婆 劉 載捌拾伍歲 老寡 空

母 馬 載肆拾捌歲 寡 空

姑 羅 束載肆拾柒歲 中女 空

姑 錦 束載肆拾柒歲 中女 空

合應受田壹頃壹拾貳畝 參拾畝已受 廿畝永業 一十畝口分 八十二畝未受

50

一段壹畝永業 城西十里高渠 東 路 西徐行素南 路 北 園

一段伍畝永業 城西十里高渠 東 曹武智西徐備 南 渠 北 路

一段陸畝永業 城西十里高渠 東 孫感德西 渠 南張奉節北汜玄俊

一段貳畝永業 城西十里高渠 東 渠 西 路 南徐備 北徐備

一段參畝永業 城西十里高渠 東 渠 西 路 南令狐智生北茹行素

55

一段拾參畝〔三畝水業
十畝口分〕城東卅里鄉東渠東渠西退田南自田北大野奴仁

戶主程思楚〔載肆拾柒歲〕

衛士武騎尉〔開元十七載三月廿九日授甲頭吳慶廣首信祖端
父德〕

下中戶〔空〕

課戶〔見輸〕

……燉煌郡……

……燉煌縣……

……龍勒鄉……

……都鄉里……

……天寶六載籍……

母白〔載柒拾參歲〕

老寡〔天寶四載帳後死〕

空〔天寶四載帳後死〕

妻馬〔載參拾陸歲〕

職資妻〔空〕

妻常〔載參拾貳歲〕

職資妻〔空〕

60

妻鄭〔載肆拾壹歲〕

職資妻〔天寶五載帳後漏附空〕

男進〔載子載貳歲〕

黃男〔天寶五載帳後漏附空〕

女仙〔載兒載壹拾柒歲〕

小女〔空〕

女妃妃〔載參歲〕

黃女〔天寶四載帳後附空〕

弟思忠〔載參拾玖歲〕

衛士〔空〕

漏衍？

65

忠妻 鄭 載貳拾柒歲

衛士妻 空

忠妻 鄭 載貳拾貳歲

衛士妻 天寶四載帳後漏附空

忠男 元奉載 參歲

黃男 天寶四載帳後漏附空

忠女 妃王載 貳歲

黃女 天寶五載帳後附空

弟 思 大載參拾伍歲

白丁 空

70

太妻 李載壹拾玖歲

丁妻 天寶三載籍後漏附空

「 敬煌郡

」 敬煌縣

龍勒鄉

「 都鄉里

」 天寶六載籍

太妻 白載貳拾捌歲

丁妻 天寶五載帳後漏附空

妹 廻 子載肆 拾歲

中女 空

妹 沙 門載參拾壹歲

中女 空

合應受田參頃陸拾伍畝

柒拾玖畝已受 六十畝永業 一十八畝口分 一畝居住園宅
二頃八十六畝未受

75

80

85

一段拾伍畝永業城西七里平渠 東路 西程懷素南程懷素北王祐生

一段參畝永業 城西七里平渠 東路 西武生 南車成光北陰智周

一段伍畝永業 城西七里平渠 東渠 西路 南渠 北渠

一段肆畝永業 城西七里平渠 東程智積西程感仁南河 北渠

一段陸畝永業 城西七里平渠 東渠 西姜海 南渠 北渠

一段陸畝永業 城西七里平渠 東徐仁素西路 南渠 北路

一段參畝永業 城西七里孟授渠東曾達 西渠 南呂子 北渠

一段拾畝永業 城西七里平渠 東鄭桃符西渠 南舍 北渠

一段拾貳畝八畝永業
四畝口分城西七里平渠 東路 西徐仁素南渠 北程素

一段捌畝口分 城西七里平渠 東自田 西渠 南程蕃蕃北渠

〔嫩煌郡〕〔嫩煌縣〕〔龍勒鄉〕〔都鄉里〕〔天寶六載籍〕

一段陸畝口分 城西七里平渠 東路 西程蕃 南路 北舍

一段壹畝居住園宅

戶主程什住 載柒拾捌歲 老男翊衛 景雲二載二月三日授甲頭張玄均曾智祖安父寬
下中戶空 課戶見不輸

妻 茹 載陸拾貳歲 職資妻 空

95

90

| | | |
|--|---|---|
| <p>〔 墩煌郡 〕</p> <p>〔 墩煌縣 〕</p> <p>〔 龍勒鄉 〕</p> <p>〔 都鄉里 〕</p> <p>〔 天寶六載籍 〕</p> | <p>信 妻 張載參拾柒歲</p> <p>弟 大 信載參拾肆歲</p> <p>女 尚 真載參拾壹歲</p> <p>女 守 河載參拾參歲</p> <p>女 无 尚載參拾玖歲</p> <p>女 法 娘載伍拾參歲</p> <p>男 鶴 子載壹拾伍歲</p> <p>男 奉 仙載貳拾歲</p> <p>妻 王 載肆拾柒歲</p> <p>妾 茹阿妙載伍拾柒歲</p> | <p>職資妻 空</p> <p>職資妾 空</p> <p>中男 天寶四載帳後死空</p> <p>小男 天寶四載帳後死空</p> <p>中女 空</p> <p>中女 空</p> <p>中女 空</p> <p>中女 空</p> <p>中女 空</p> <p>小男 天寶四載帳後死空</p> <p>中男 天寶四載帳後死空</p> <p>〔 職資妾 空 〕</p> <p>〔 職資妻 空 〕</p> |
|--|---|---|

取故父行寬上柱國蔭天授元載九月廿三日授甲頭
宋思敬空

100

信男 老生載壹 拾歲 小男 空

信女 水娘載 玖歲 小女 空

信女 老生載 貳歲 黃女 天寶五載帳後附空

合應受田壹頃伍拾伍畝 陸拾肆畝已受 冊畝永業 一十五畝口分 九畝勲田 九十一畝未受

105

一段壹畝永業 城西十里平渠 東 路 西 渠 南 自 田 北 路

一段玖畝永業 城西十里平渠 東 渠 西 宋 靖 南 渠 北 路

一段肆畝永業 城西七里孟授渠東懷義 西 懷 住 南 渠 北 河

一段玖畝永業 城西七里平渠 東 渠 西 仁 貞 南 渠 北 賈 奉

一段伍畝永業 城西七里平渠 東 渠 西 渠 南 河 北 渠

一段柒畝永業 城西七里平渠 東 舍 西 渠 南 程 洪 北 渠

一段肆畝永業 城西十里平渠 東 渠 西 路 南 渠 北 程 洪

110

一段肆畝 一畝永業 三畝口分 城西十里平渠 東 渠 西 渠 南 渠 北 仁 貞

一段肆畝勲田 城西十里平渠 東 渠 西 自 田 南 渠 北 程 仁 貞

一段伍畝勲田 城西十里蒲桃渠東 渠 西 渠 南 舍 北 路

| | | | |
|---|-----|-------------|--------------------|
| | 120 | | 115 |
| 女 | 勝 | 先載肆拾伍歲 | 戶主程仁貞 載柒拾柒歲 |
| 女 | 放 | 純載肆拾參歲 | 妻 宋 載陸拾玖歲 |
| 女 | 妙 | 果載肆拾壹歲 | 妻 安 載陸拾壹歲 |
| 女 | 法 | 力載參拾參歲 | 職資妻 空 |
| | | 中女 空 | 老男 翊衛 |
| | | 中女 空 | 職資妻 空 |
| | | 中女 空 | 天寶五載帳後漏附空 |
| | | 小男 天寶三載籍後死空 | 天寶六載籍 |
| | | | 景雲二載二月三日授甲頭張玄均曾智祖安 |
| | | | 父寬 下下戶空 不課戶 |

125

合應受田伍拾參畝 參拾壹畝已受 廿二畝未受 一十七畝永業 一十四畝勲田

女 妙 果載參拾壹歲 中女 空

一段玖畝永業 城西十里平渠 東程智意西 渠 南 渠 北 渠

「嫩煌郡」嫩煌縣「龍勒鄉」都鄉里「天寶六載籍」

一段柒畝永業 城西十里平渠 東自田 西程智 南 岸 北 渠

一段拾畝勲田 城西七里平渠 東 渠 西 舍 南 路 北 渠

一段肆畝勲田 城西十里平渠 東 渠 西什住 南程什住北 路

一段壹畝永業 城西十里河北渠東 岸 西 岸 南 坑 北 荒

戶主程大忠載伍拾壹歲 上柱國 開元十七載十月二日授甲頭盧元曾通祖子父義 不課戶

130

妻 張 載伍拾參歲 職資妻 妻

妻 宋 載貳拾貳歲 職資妻 天寶四載帳後漏附空

男 思 璟載壹拾陸歲 小男 轉前籍載廿天寶五載帳後只減就實空

男 思 諫載伍歲 小男 天寶三載籍後死空

135

合應受田參拾壹頃肆畝
 捌拾貳畝已受 廿畝永業 六十一畝口分 一畝居住園宅
 卅頃廿二畝未受
 一段參畝永業 城西十里平渠 東自田 西懷住 南 渠 北 渠

妹 寄 生載壹拾陸歲 小女 空

妹 王 王載壹拾柒歲 小女 空

女 娘 娘載捌歲 小女 空
 〔 燉煌郡 〕 〔 燉煌縣 〕 〔 龍勒鄉 〕 〔 都鄉里 〕 〔 天寶六載籍 〕

女 妙 音載壹拾參歲 小女 空
 女 仙 仙載壹拾陸歲 小女 空
 女 仙 仙載貳拾歲 中女 空
 男 思 讓載貳歲 黃男 〔天寶五載帳後附空〕

此印郡印

150

一段柒畝永業 城西十里平渠 東路 西苗寂 南渠 北苗寂
 一段肆畝永業 城西五里孟授渠東懷住 西行寬 南渠 北渠
 一段柒畝永業 城西五里孟授渠東程洪壽西 石 南程行寬北河
 一段柒畝 二畝永業 城西十里平渠 東程大慶西 君 南路 北君
五畝口分
 一段拾畝口分 城西十里平渠 東然鶴慶西 渠 南渠 北閻思思
 一段貳拾畝口分 城西十里孟授渠東 渠 西程意 南渠 北石
 一段伍畝口分 城西十里平渠 東劉貞 西王貞 南鄭表 北鄭表
 一段參畝口分 城西七里平渠 東渠 西自田 南自田 北渠
 一段伍畝口分 城西十里平渠 東渠 西然鶴慶南 渠 北劉貞
 〔墩煌郡〕〔墩煌縣〕〔龍勒鄉〕〔都鄉里〕〔天寶六載籍〕
 一段伍畝口分 城西十里平渠 東程樹生西自田 南路 北渠
 一段捌畝口分 城西七里平渠 東鄭表 西渠 南鄭頭 北鄭養
 一段壹畝居住園宅

155

戶主程大慶載肆拾柒歲

武騎尉

開元十八載閏六月廿日授甲頭李郎子 普通祖子
父義 下中戶空 不課戶

妻 畫 載肆拾伍歲

職資妻 空

160

妻 卑 載參拾陸歲

職資妻 空

男 興 盛載壹拾貳歲

小男 天寶五載帳後死空

男 興 俊載參歲

黃男 天寶四載帳後附空

男 奉 進載貳歲

黃男 天寶五載帳後附空

女 光 无載壹拾壹歲

小女 空

妹 真 真載參拾歲

中女 空

妹 堡 主載貳拾貳歲

中女 空

合應受田壹頃陸拾參畝

陸拾捌畝已受 廿畝永業 冊七畝口分 一畝居住園宅
九十五畝未受

一段肆畝永業 城西七里平渠

東自田 西舍 南王智 北岸

一段捌畝永業 城西十里平渠

東程伏生 西程忠 南路 北君

一段柒畝永業 城西十里平渠

東然慶 西渠 南閩慶 北渠

一段柒畝永業 城西十里平渠

東然慶 西渠 南閩慶 北渠

170

165

175

一段貳畝 一畝永業
一畝口分 城西十里平渠 東趙崇仙西園 南岸北渠
一段拾畝口分 城西五里孟授渠東李大威西程大節南曹武相北河
一段參拾陸畝口分城西十里平渠 東程什住西舍南渠北渠
一段壹畝居住園宅

戶主程智意載肆拾玖歲

衛士飛騎尉

開元十七載五月廿三日授甲頭實子曾延祖子
父住下中戶空不課戶

妻鄭 載肆拾伍歲

職資妻 空

妻薛 載參拾陸歲

職資妻 空

男庭 瓊載壹拾伍歲

小男 轉前籍載廿天寶五載帳後只減就實空

女小 娘載貳拾參歲

中女 空

女小 妃載貳拾貳歲

中女 空

女好 娘載壹拾捌歲

中女 空

女賓 娘載壹拾陸歲

小女 空

180

190

合應受田壹頃捌拾陸畝 玖拾貳畝已受 廿畝永業 七十一畝口分 一畝居住園宅
 九十四畝未受
 一段貳畝永業 城西十里平渠 東行寬 西路 南渠 北渠
 一段陸畝永業 城西十里平渠 東程大忠 西程仁貞 南渠 北渠

妹 娘 娘載肆拾參歲 中女 空
 姊 尚 藥載伍拾歲 中女 空

女 娘 娘載貳歲 黃女 天寶五載帳後附空

女 僧 娘載參歲 黃女 天寶四載帳後附空

女 心 心載參歲 黃女 天寶四載帳後附空

女 妙 光載肆歲 小女 天寶三載籍後附空

女 杖 女載捌歲 小女 空

女 希 俊載壹拾陸歲 小女 空

「 嫩煌郡 嫩煌縣 龍勒鄉 都鄉里 天寶六載籍

185

195

一段貳畝永業 城西十里平渠 東路 西程行寬南路 北渠

一段伍畝永業 城西五里孟授渠 東程洪福西程大忠南渠 北渠

一段參畝永業 城西十里平渠 東程寬西路 南路 北鄭君

┌───┐
 嫩煌郡 ──┐ 嫩煌縣 ──┐ 龍勒鄉 ──┐ 都鄉里 ──┐ 夫寶六載籍
 └───┘ └───┘ └───┘ └───┘ └───┘

一段壹畝永業 城西五里孟授渠 東程寬西路 南渠 北河

一段拾畝 一畝永業 九畝口分 城西十里武都渠 東行寬西路 南石北塞

200

一段肆畝口分 城西十里平渠 東鄭懷諫西渠 南王祐興北渠

一段拾壹畝口分 城西十里平渠 東陰仁慶西賈楚璋南王祐生北渠

一段拾參畝口分 城西十里平渠 東渠 西渠 南鄭懷諫北自田渠

一段壹畝口分 城西七里平渠 東路 西自田南路 北渠

一段柒畝口分 城西七里平渠 東孫懷義西路 南自田北岸

一段捌畝口分 城西五里孟授渠 東官田 西程大忠南渠 北河

一段拾畝口分 城西七里平渠 東渠 西渠 南渠 北鄭阿頭

一段參畝口分 城西七里平渠 東渠 西自田 南鄭懷諫北渠

一段伍畝口分 城西七里武都渠 東陰舍王西宋延走南渠 北自田

一段壹畝居住園宅

205

210

戶主劉感德載捌拾肆歲
 「合應受田伍拾壹畝並未受」
 嫩煌郡 嫩煌縣 龍勒鄉 都鄉里 天寶六載籍
 戶主令狐仙尚載參拾參歲
 中女 中女
 不課戶

妹 妙 妃載貳拾捌歲
 中女 空

合應受田伍拾壹畝 捌畝已受 七畝永業 一畝居住園宅
 冊三畝未受

215

一段陸畝永業 城西十里高渠 東路 西渠 南令狐睹苟北睹苟
 一段壹畝永業 城西十里高渠 東令狐睹苟西胡子南舍 北渠
 一段壹畝居住園宅

戶主杜懷奉 載肆拾伍歲
 上柱國 開元十七載十月二日授甲頭盧思元 曾開 祖苟
 父奴 下下戶空 不課戶

亡兄男崇真載參拾柒歲
 衛士武騎尉 開元十八載閏六月廿日授甲頭李處明
 曾開 祖奴 父頭空

真男 欽論載捌歲
 小男 天寶三載籍後死空

真女 玉兒載壹拾參歲
 小女 空

220

230

妹 戒 戒載肆拾肆歲

中女 空

姉 法 戒載肆拾陸歲

中女 空

弟 崇 敬載貳拾歲

中男 天寶三載籍後死空

男 令 璋載柒歲

小男 天寶三載籍後死空

男 浪 生載壹拾伍歲

小男 空

225

亡兄 妻 張載參拾陸歲

寡 空

燉煌郡 燉煌縣

龍勒鄉 都鄉里

亡兄弟 崇 資載貳拾參歲

白丁 空

亡兄 妻 汜載肆拾陸歲

寡 空

亡兄 女 法 仙載貳拾捌歲

中女 空

真女 玉兒載壹拾貳歲

小女 空

姑 神 戒載肆拾貳歲 中女 空

合應受田參拾參頃貳拾伍畝 柒拾捌畝已受 六十畝永業 十六畝口分 二畝居住園宅
卅二頃卅七畝未受

一段壹畝永業 城西十里高渠 東杜懷忠西趙觀 南 舍 北自田

一段參畝永業 城西十里高渠 東自田 西唐達 南 渠 北 懷

一段陸畝永業 城西十里高渠 東 渠 西孫感德南杜忠 北 渠

一段捌畝永業 城西十里高渠 東 渠 西自田 南 渠 北 懷

一段捌畝永業 城西十里高渠 東 渠 西自田 南自田 北唐師奴

一段參畝永業 城西十里高渠 東董保仁西 渠 南曹託 北 渠

燉煌郡

燉煌縣

龍勒鄉

都鄉里

天寶六載籍

一段參畝永業 渠 東 西 南 北

一段柒畝永業 城西十里胡渠 東 厝 西 岸 南 路 北唐行感

一段參畝永業 城西十里高渠 東常保住西 渠 南孫楚賓北常住

一段伍畝永業 城西七里陰安渠東善護 西張奴子南 沙 渠

一段柒畝永業 城西七里高渠 東 渠 西 渠 南 渠 北曹瑀

一段肆畝永業 城西七里高渠 東 渠 西 渠 南自田 北曹瑀

一段壹畝永業 城西七里孟授渠東 石 西 河 南 渠 北 河

235

240

245

一段拾柒畝 一畝永業 十六畝口分 城西七里員仏圖渠東任義西路南渠北渠

一段貳畝居住園宅

同主卑二郎載貳拾玖歲

白丁 代父承戶 下下戶空 課戶見輸

父 思 亮載伍拾捌歲

衛士 天寶三載籍後死空

母 程 載伍拾貳歲

寡空

弟 仙 昭載壹拾玖歲

中男 轉前籍載十六天寶四載帳後員加就實空

婦 妙 尚載參拾壹歲

中女 空

煇煌郡

煇煌縣

龍勒鄉

都鄉里

天寶六載籍

妹 无 導載貳拾柒歲

中女 空

妹 姜 姜載貳拾參歲

中女 空

妹 妃 子載貳拾參歲

中女 空

妹 藥 藥載壹拾陸歲

小女 空

以下羅氏旧藏

255

250

⑤仁井田、文書P.Ⅺ①一部
羅振玉、貞松堂藏西陲秘
籍叢殘第2冊羅藏1葉

以下S.
3907

265

260

妹 羅 察載貳拾貳歲 中女 空

妹 妙 好載壹拾歲 小女 空

妹 妙 子載柒歲 小女 空

合應受田貳頃參拾肆畝 伍拾柒畝已受 冊畝永業 七畝口分 一十畝勸田
一頃七十七畝未受

一段陸畝永業 城西十里平渠 東 墓 渠 南程蕃 北賀立

一段拾貳畝永業 城西十里平渠 東卑德意西 塚 南宋端 北路

一段拾畝勸田 城西十里平渠 東曾方 西卑文通南路 北卑仁

一段肆畝永業 城西十里平渠 東卑德 西 渠 南自田 北 渠

一段捌畝永業 城西十里平渠 東 渠 西 渠 南 渠 北自田

一段陸畝永業 城西十里平渠 東自田 西張行端南 厝 北君信

嫩煌郡 嫩煌縣 龍勒鄉 都鄉里 天寶六載籍

一段玖畝 四畝永業 城北卅里神農渠東 渠 西錄事 南索行政北 沙

一段貳畝口分 城西十里平渠 東 渠 西 坑 南張楚賓北郭僧護

戶主卑德意載伍拾玖歲

武騎尉

不課戶

那波 P. 32 59 (除末 2 葉) (a) (b)

仁井田、文書 P. 691 715 (同右)

玉井、支那社会經濟史研究 P. 246 8 (c) 一部 P. 282 5 (a) 70 末 1 葉 P. 269 (b) 各一部

羅福長、沙州文錄補 P. 13 4 羅藏 1 葉

陶希聖、食貨 4 5 P. 7 16 (a) (c) (除末 1 葉)

資料 P. 29 32 末 2 葉、 35 60 (a) (c)

270

妻 白 載伍拾參歲

職資妻

男 庭 俊載 肆 歲

小男

天寶三載籍後附空

男 仙 鶴載 參 歲

黃男

天寶四載帳後附空

女 妙 妙載參拾貳歲

中女 空

女 思 娘載貳拾壹歲

中女 空

楚 寶載壹拾陸歲

小男

天寶三載籍後漏附空

275

合應受田壹頃陸拾貳畝

肆拾參畝已受 廿畝永業 一頃一十九畝未受

一段柒畝永業城西十里平渠 東 舍

西 南 北

一段伍畝勲田城西十里平渠 東 渠

西 南 北

一段陸畝永業城西十里平渠 東 渠

西 南 北 渠

一段拾畝 七畝永業 三畝口分 城西十里平渠 東 路

西 信 南阿頭 北君信

燉煌郡

燉煌縣

龍勒鄉

都鄉里

天寶六載籍

押捺朱印

(燉煌)縣之印)

但縫部州名上鈐

(沙州都)督府印)

敦戶 15 唐沙州燉煌縣懸泉鄉宜禾里 大曆四年(769)手實

(後 欠)

(前 欠)

1 戶主趙大 本年柒拾壹歲 老男 課戶見輸
沙州 燉煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實
下下戶

妻 孟 年陸拾玖歲 老男妻

女 光 明 年貳拾歲 中女

男 明 鶴 年參拾陸歲 會州黃石府別將 乾元二年十月 日授甲頭張爲

男 思 祚 年貳拾柒歲 白丁 言 曾德 祖多 父本

男 明 奉 年貳拾陸歲 白丁 轉前籍年廿大曆二年帳後只加就實

男 如 玉 年貳拾肆歲 中男 實應元年帳後漏附

合應受田肆頃伍拾參畝 玖拾畝已受 八十九畝永業 一畝居住園宅

三頃六十三畝未受

10

一段拾畝永業城東十五里八尺渠東自田 西翟守 南 翟? 北自田

一段拾畝永業城東十五里八尺渠東索暉 西路 南路 北自田

一段伍畝永業城東十五里八尺渠東索暉 西渠 南渠 北索謙

沙州 敬煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

15

一段肆畝永業城東十五里八尺渠東寶智 西渠 南渠 北荒

一段陸畝永業 城東廿里沙渠 東趙義 西路 南渠 北玄識

一段貳拾畝永業城東十五里八尺渠東 西路 南懷慶 北路

一段玖畝永業城東十五里八尺渠東 渠 西觀田 南渠 北張孝

一段貳拾伍畝永業 城東十五里八尺渠 東 路 西 路 南孟慶 北路

一段壹畝居住園宅

20

戶主李 如 真年肆拾貳歲 中女 乾元三年籍後死

戶主李 仙 仙年肆拾壹歲 中女 乾元三年籍後死全戶除

母 談 年柒拾陸歲 寡 代兄承戶 下下戶 不課戶

戶主張 可 曾年貳拾肆歲 中女

兄 妹 妹 年壹拾伍歲 小男 乾元三年籍後死

「母令狐」年伍拾伍歲「寡」
 「沙州」……「嫩煌縣」……「懸泉鄉」……「宜禾里」……「大曆四年手實」……
 「弟履華」年壹拾肆歲「小男」乾元三年籍後死「」

25

合應受田捌拾壹畝
肆拾陸畝已受
 卅五畝未受
 廿畝永業 廿五畝口分 一畝居住園宅

一段伍畝永業 城東廿里沙渠 東自田 西趙作 南自田 北渠
 一段柒畝永業 城東廿里沙渠 東荒 西自田 南路 北渠
 一段貳畝永業 城東廿里沙渠 東荒 西張住 南路 北渠
 一段壹畝永業 城東廿里沙渠 東韓德 西荒 南善德 北索阿
 一段伍畝永業 城東廿里沙渠 東自田 西渠 南路 北自田
 一段拾畝口分 城東廿里沙渠 東張住 西買住 南路 北荒
 一段伍畝口分 城東廿里沙渠 東自田 西玄義 南自田 北荒
 一段拾畝口分 城東廿里沙渠 東自田 西渠 南路 北渠
 一段壹畝居住園宅

30

35

「戶主張介」年陸拾肆歲「老女」乾元三年籍後死全戶除

「沙州」……「嫩煌縣」……「懸泉鄉」……「宜禾里」……「大曆四年手實」……

妹 妃 妃 年參拾玖歲
中女
戶主宋 二 娘年柒拾貳歲
寡 代婢承戶 下下戶 不課戶

聿索 嗣 藝年陸拾壹歲
老男 翊衛 乾元三年籍後死

男索 秀 章年貳拾柒歲
白丁 大曆三年帳後死

合應受田伍拾壹畝並未受

40

戶主索 思 礼年陸拾伍歲 老男昭武校尉前行右金吾衛靈州武略府別將上柱國

宣大寶十二年十一月廿七日授甲頭
張忠勳開元十九年四月十八日授
甲頭王遊仙 曾貴 祖滿父運
下中戶 不課戶

母 汜 汜 年捌拾玖歲
寡 上元二年帳後死

妻 汜 汜 年伍拾玖歲
老男妻

男 遊 鸞 年參拾柒歲
丹州通化府折衝上柱國 大曆元年月 日授甲頭李季札

鸞 妻 張 年參拾捌歲
職資妻

鸞 男 齊 岳年壹拾貳歲
小男 大曆二年帳後漏附

奴 羅 漢 年肆拾陸歲
丁

45

55

一段壹頃拾玖畝 一十九畝熟田
埔六畝口分 城東十五里瓜渠東安環西澤南宋章北渠

一段貳拾陸畝口分 城東十五里瓜渠東渠西南渠北坑

一段拾壹畝口分 城東十五里瓜渠東仁亮西渠南渠北澤

一段參拾參畝口分 城東十五里瓜渠東安環西路南渠北路

一段玖畝口分 城東十五里瓜渠東渠西南渠北渠

一段玖畝口分 城東十五里瓜渠東楊絢西渠南渠北澤

一段捌畝口分 城東十五里瓜渠東渠西荒渠南索楚北渠

一段拾伍畝口分 城東一里孟授渠東張奉儀西路南和雅北路

50

「奴富奴」年貳拾玖歲 丁

沙州 熾煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

「奴安安」年伍拾參歲 丁 乾元三年籍後死

婢寶子 年貳拾玖歲 丁

合應受田陸拾壹頃伍拾參畝一頃六十七畝口分 三畝居住園宅

冊畝永業 五十九頃一十畝未受

「冊畝肆拾參畝已受」冊畝永業一十九畝熟田一十四畝買田

此縫、捺印以後截除縫部
大約2公分、縫上注記不
存。

60

一段拾畝口分 城東十五里瓜渠東李方 西 渠 南 渠 北安壽
一段參畝居住園宅

沙州 燉煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

戶主索 遊 仙年 玖 歲 小男 乾元三年籍後死

戶主安 遊 環年伍拾參歲 上柱國 開元廿五年九月五日授甲頭王斛斯曾言祖與
父嗣 代叔承戶 下下戶 不課戶

叔 承 嗣 年柒拾柒歲 老男 乾元三年籍後死

妻 張 年肆拾柒歲 職資妻

女 娘 年壹拾陸歲 小女 上元二年帳後死

叔 懷 節 年參拾肆歲 廢疾

合應受田參拾壹頃壹畝 貳拾玖畝已受 廿畝永業 三畝買田 五畝口分 一畝居住園宅
卅頃七十二畝未受

一段柒畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西自田 南索濟 北 渠

一段貳畝永業 城東十五里瓜渠東自田 西自田 南索札 北 渠

一段陸畝永業 城東十五里瓜渠東鄧難 西安慶 南 渠 北索札

一段參畝買田 城東十五里瓜渠東 渠 西索札 南 舍 北 渠

65

70

80

弟 金 苟 年壹拾陸歲 小男 上元二年帳後死

母 屈 年肆拾柒歲 寡 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

妹 桃 花 年貳拾參歲 中女 上元二年帳後死

妹 胡 胡 年貳拾歲 中女 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

妹 妃 妃 年貳拾壹歲 中女 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

亡叔妻 張 年參拾柒歲 中女 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

75

一段捌畝 五畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西官田 南安壽 北官田

一段壹畝口分 三畝口分 城東十五里瓜渠東 路 西坑 南沙 北自田

沙州 嫩煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

一段壹畝口分 城東十五里瓜渠東自田 西渠 南自田 北渠

一段壹畝居住園宅

戶主安 大 忠年貳拾陸歲 白丁 下下戶 課戶見輸

85

亡叔欽妻 張年肆拾肆歲 寡 永泰二年帳後勘責逃走限滿除
妹 仙 仙 年壹拾貳歲 小女 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

合應受田壹頃壹畝 參拾參畝已受 廿畝永業 一十二畝口分 一畝居住園宅
六十八畝未受 八

一段捌畝永業 城東十五里瓜渠東楊大勛 西 荒 南 荒 北 澤

沙州 燉煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

一段柒畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西 荒 南 荒 北 渠

一段拾柒畝 四畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西 渠 南 路 北 自田
一十三畝口分

一段壹畝居住園宅

戶主令狐 朝俊年貳拾歲 中男 大曆三年帳後逃還附 代父承戶 下下戶
不課戶

90

父 嗣 宗 年伍拾玖歲 老男 廢疾 乾元三年籍後死

母 任 年捌拾壹歲 寡

姉 仙 仙 年貳拾陸歲 中女 乾元三年籍後死

姉 妙 妃 年貳拾歲 中女 乾元三年籍後死

95

妹 羅 羅 年壹拾陸歲 小女 乾元三年籍後死

妹 妃 妃 年壹拾肆歲 小女 乾元三年籍後死

合應受田壹頃參拾壹畝 參拾捌畝已受 廿畝永業 一十八畝口分

一段伍畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西陰義 南 渠 北自田

沙州 徽煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

一段參畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西陰義 南自田 北宋素

一段伍畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西陰義 南 渠 北自田

一段肆畝永業 城東十五里瓜渠東 路 西 渠 南 渠 北 渠

一段壹畝永業 城東十五里瓜渠東 自田 西 自田 南 路 北 場

一段肆畝 城東十五里瓜渠東 渠 西 荒 南令狐惠 北 渠

一段拾畝口分 城東十五里瓜渠東 伽生 西 荒 南 路 北 渠

一段貳畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西陰義 南自田 北 路

一段肆畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西 舍 南義 北 渠

戶主令狐海賓年貳拾肆歲 中男 乾元三年籍後死全戶除

110

祖母 孔 年玖拾柒歲 寡
 母 蘇 年陸拾參歲 寡
 戶主 令狐進堯 年伍拾捌歲 老男上柱國
開元廿八年五月十五日授甲頭趙承鑾 曾素 祖愆 父忠 代父承戶 下下戶不課戶

父 懷 忠 年陸拾壹歲 老男上輕車都尉
永泰二年帳後勘責逃走限滿除

沙州 燉煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

女 真 真 年壹拾捌歲 中女
永泰二年帳後勘責逃走限滿除

女 妃 妃 年玖歲 小女
永泰二年帳後勘責逃走限滿除

115

弟 思 賔 年參 拾歲 品子
上元二年帳後死

亡叔 男海 賔 年肆 拾歲 廢疾
廣德二年帳後逃還附 患左眼瞎并風癡

合應受田參拾壹頃壹畝
壹頃參畝已受 冊畝永業「六十二畝口分」 一畝居住園宅

一段拾畝永業 城東十五里瓜渠東自田 西路 南自田 北荒
廿九頃九十八畝未受

一段壹畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西路 南荒 北自田

一段伍畝永業 城東十五里瓜渠東令狐宗西 渠 南渠 北自田

120

134 } 136 Cf. 敦戸 7 ㊤ 93 } 95

133 Cf. 敦戸 7 ㊤ 75

127 } 130 Cf. 敦戸 7 ㊤ 71 } 74

| | | |
|---------|--------|----------|
| 135 | 130 | 125 |
| 一段玖畝口分 | 一段參畝口分 | 一段捌畝永業 |
| 城東廿里沙渠 | 城東廿里沙渠 | 城東十五里瓜渠東 |
| 東馬奴 | 東路 | 瓜渠東 |
| 西翟政 | 西自田 | 西渠 |
| 南趙仵 | 南自田 | 南張楚 |
| 北令狐珠 | 北自田 | 北楊巨 |
| 一段參畝口分 | 一段貳畝口分 | 一段壹畝永業 |
| 城東廿里沙渠 | 城東廿里沙渠 | 城東十五里瓜渠東 |
| 東渠 | 東澤 | 瓜渠東 |
| 西河 | 西自田 | 西海賓 |
| 南令狐忠 | 南自田 | 南佛圖 |
| 北玄義 | 北自田 | 北自田 |
| 一段拾參畝口分 | 一段壹畝口分 | 一段伍畝永業 |
| 城東廿里沙渠 | 城東廿里胡渠 | 城東十五里瓜渠東 |
| 東澤 | 東玄美 | 瓜渠東 |
| 西玄義 | 西玄美 | 西自田 |
| 南玄美 | 南玄美 | 南自田 |
| 北自田 | 北自田 | 北自田 |
| 一段貳畝口分 | 一段伍畝口分 | 一段參畝永業 |
| 城東廿里趙渠 | 城東廿里沙渠 | 城東十五里瓜渠東 |
| 東玄美 | 東自田 | 瓜渠東 |
| 西玄美 | 西自田 | 西渠 |
| 南趙表 | 南自田 | 南渠 |
| 北自田 | 北自田 | 北自田 |
| 一段參畝口分 | 一段參畝口分 | 一段參畝永業 |
| 城東廿里沙渠 | 城東廿里沙渠 | 城東十五里瓜渠東 |
| 東路 | 東澤 | 瓜渠東 |
| 西澤 | 西自田 | 西渠 |
| 南渠 | 南自田 | 南渠 |
| 北澤 | 北自田 | 北自田 |
| 一段伍畝口分 | 一段參畝口分 | 一段參畝永業 |
| 城東廿里沙渠 | 城東廿里沙渠 | 城東十五里瓜渠東 |
| 東自田 | 東路 | 瓜渠東 |
| 西自田 | 西自田 | 西渠 |
| 南自田 | 南自田 | 南渠 |
| 北何思貞 | 北自田 | 北自田 |

140

一段貳畝口分 城東十五里沙渠東 渠 西路 南令狐忠北 沙

一段玖畝口分 城東十五里瓜渠東令狐忠 西 渠 南 渠 北 渠

沙州 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

一段肆畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西 懷忠 南 懷忠 北 渠

一段參畝口分 城東十五里瓜渠東陰曜 西 渠 南 渠 北 路

一段貳畝口分 城東十五里瓜渠東 舍 西 渠 南令狐忠北 渠

一段壹畝居住園宅

145

戶主令狐娘子年貳拾伍歲 中女 下下戶 不課戶

母 張 年肆拾肆歲 寡

合應受田捌拾壹畝 參拾玖畝已受 廿畝永業 一十九畝口分
冊二畝未受

一段參拾玖畝 廿畝永業 城東十五里瓜渠東自田西嗣宗南自田 北自田
一十九畝口分

戶主素 仁 亮年參拾捌歲 守左領軍衛宕州常吉府別將 唐遊仙 並寺 顯濟
父楚 代兄承戶 下下戶

兄 思 楚 年陸拾玖歲 老男翊衛 寶應二年帳後死
課戶見輸

150

亡兄妻 宋 年柒 拾歲 寡

亡兄男元 亮年貳拾伍歲 品子

乾元三年籍後死

亡兄男元 暉年貳拾玖歲 品子

取故父思楚翊衛蔭開元廿五年二月九日授甲頭田秀實
曾守祖濟父楚上元二年帳後逃還附

沙州 煇煌縣 懸泉鄉 品子

宜禾里 大曆四年手實

亡兄男元 俊年貳拾捌歲 品子

上元二年帳後漏附

亡兄女來 來年貳拾肆歲 中女

乾元三年籍後死

亡兄女娘 子年壹拾肆歲 小女

乾元三年籍後死

155

合應受田參頃參拾貳畝 壹頃參畝已受 六十畝永業 卅三畝口分
二頃廿九畝未受

一段貳畝永業 城東十五里瓜渠東 路 西索賁 南索暉 北渠

一段貳畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西索政 南 路 北索政

一段肆畝永業 城東十五里瓜渠東 沙 渠 西 渠 南自田 北索信

一段拾畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西索立 南 渠 北安落

一段拾貳畝永業 城東十五里瓜渠東 路 西 渠 南 路 北自田

一段肆畝永業 城東十五里瓜渠東 坑 西索都 南索政 北坑

160

五下、脱里字

165

一段拾畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西 坑 南索政 北楊曹
 一段拾肆畝永業 城東十五里瓜渠東 沙 渠 西 渠 南陰輔 北官田
 一段伍畝口分 城東十五里瓜渠 東官田 西 渠 南索才 北索才
 沙州 煇煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實
 一段貳畝永業 城東十五里瓜渠東索才 西 渠 南索才 北自田
 一段拾參畝口分 城東廿里瓜渠 東索齊 西官田 南官田 北 路
 一段肆畝口分 城東廿里瓜渠 東 路 西 渠 南 路 北石忠
 一段肆畝口分 城東廿里瓜渠 東安聳 西 路 南 荒 北自田
 一段參畝口分 城東廿里瓜渠 東彭達 西 渠 南自田 北 澤
 一段貳畝口分 城東廿里瓜渠 東 路 西大忠 南自田 北 渠
 一段貳畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西索暉 南索暉 北 路
 一段肆畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西宋玉 南宋玉 北令狐忠
 一段陸畝口分 城東十五里瓜渠東 荒 西自田 南令狐忠 北 路

170

戶主索 如 五年肆拾肆歲 蘭州金城府別將上柱國

175

母 薛 年伍拾伍歲 寡 乾元三年籍後死

貞元元年十一月 昇格頭曹方 點
 開元三年閏十一月 日授頭等換 點
 賜 父業 下戶 不課戶

此紙縫上五顆印章、
捺押二回。

畝下、脱口字

楊大絢、Cf. 敦戸 7 © 12

| | | | | | |
|-----|----------|------------------------------------|------------|------|-----------------------|
| 妹 | 花 | 花 | 年貳拾壹歲 | 中女 | 永泰二年帳後逃走限滿除 |
| 妹 | 娘 | 娘 | 年貳拾玖歲 | 中女 | 永泰二年帳後逃走限滿除 |
| 弟 | 朝 | 息 | 年壹拾伍歲 | 小男 | 永泰二年帳後逃走限滿除 |
| 亡兄妻 | 孟 | | 年參拾玖歲 | 老男妻 | 永泰二年帳後逃走限滿除 |
| 兄 | 大 | 絢 | 年陸拾壹歲 | 老男 | 永泰二年帳後逃走限滿除 |
| 戶主 | 楊 | 日 | 晟年參拾歲 | 白丁 | 代兄承戸 課戸見輸 |
| 一段 | 拾玖畝 | <small>十七畝本業 二畝口分</small> | 城東十五里瓜渠東索本 | 西渠 | 南陰市 北蔡 |
| 一段 | 參畝 | 永業 | 城東十五里瓜渠東 | 路 | 西渠 南渠 北索忠 |
| 合應 | 受田參拾壹頃壹畝 | <small>貳拾貳畝已受 卅頃七十九畝未受</small> | 廿畝永業 | 二畝·分 | |
| 男 | 秀 | 章 | 年貳拾歲 | 中男 | 大曆二年帳後死 |
| 妻 | 孔 | | 年肆拾玖歲 | 職資妻 | |
| | | | | | 沙州 嫩煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實 |

此縫、截除原縫部、縫上注記不存。

沙州

燉煌縣

懸泉鄉

宜禾里

大曆四年手實

仙妻陰 年肆拾肆歲 丁妻

弟日遷 年貳拾貳歲 中男 實應元年帳後死

弟庭顏 年壹拾陸歲 小男 乾元三年籍後死

弟庭璣 年壹拾柒歲 小男 乾元三年籍後死

合應受田壹頃壹畝 陸拾貳畝已受 廿畝永業 卅九畝未受 卅二畝口分 一畝居住園宅

一段捌畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西張劍 南楊巨 北義巨

一段拾參畝永業 城東十五里瓜渠東楊巨 渠 西路 南路 北楊巨

一段伍畝口分 城東十五里瓜渠東 路 西義巨 南路 北渠

一段貳畝口分 城東十五里瓜渠東義巨 渠 西義巨 南渠 北路

一段伍畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西舍 南路 北渠

一段柒畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西路 南自田 北路

195

190

二、当作一

一段捌畝口分 城東十五里瓜渠東楊巨 西 渠 南張香 北 荒

一段拾貳畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西張劍 南 渠 北李方

沙州 嫩煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

一段壹畝口分 城東十五里瓜渠東 河 西新城 南 荒 北 路

一段壹畝居住園宅

戶主李 大 娘年肆拾肆歲

寡 廣德三年帳後逃還附 代翁承戶 下下戶 不課戶

翁楊 義 巨年捌拾柒歲

老男武騎尉 永泰二年帳後勸責逃走限滿除

亡聳叔妻 董年參拾玖歲

寡 永泰二年帳後勸責逃走限滿除

宰下、脫年字

亡聳弟朝 宰 貳拾參歲

中男 永泰二年帳後勸責逃走限滿除

合應受田伍拾玖畝並已受 廿畝永業 廿五畝買田 一十三畝口分 一畝居住園宅

一段柒畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西 路 南楊本 北 路

一段柒畝永業 城東十五里瓜渠東楊本 西楊本 南 路 北 渠

一段壹畝永業 城東十五里瓜渠東 舍 西 渠 南楊本 北楊本

一段壹畝口分 城東十五里瓜渠東楊本 西自田 南 渠 北 路

215

220

225

一段伍畝永業 城東十五里瓜渠東 渠 西路 南自田 北令狐宗

一段貳畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西楊本 南渠 北路

沙州 嫩煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

一段壹畝口分 城東十五里瓜渠東義本 西楊本 南路 北舍

一段玖畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西路 南自田 北路

一段壹畝口分 城東十五里瓜渠東 渠 西楊忠 南渠 北自田

一段拾伍畝買田 城東十五里瓜渠東 河 西渠 南荒 北沙

一段伍畝買田 城東十五里瓜渠東 渠 西自田 南渠 北楊本

一段伍畝買田 城東十五里瓜渠東自田 西荒 南張劔 北楊本

一段壹畝居住園宅

戶主樊 黑 頭年肆拾肆歲 白丁 下下戶 課戶見輸

母崔 永 覓年柒拾貳歲 寡 永泰二年帳後逃走 限滿除

母 曹 年肆拾參歲 寡 永泰二年帳後逃走 限滿除

合應受田壹頃壹畝 肆拾參畝已受 廿畝永業 廿二畝口分 一畝居住園宅

一段拾畝永業 城東卅里三支渠東自田 西賀貞 南路 北路

五十八畝未受

235

男 老 生 年貳拾壹歲 中男 乾元三年籍後死

男 元 芝 年壹拾壹歲 小男 乾元三年籍後死

女 仙 尚 年玖歲 小女 乾元三年籍後死

女 妙 妙 年壹拾陸歲 小女 乾元三年籍後死

女 買 娘 年參拾玖歲 中女 乾元三年籍後死

230

一段陸畝永業 城東冊里三支渠東路 西自田南路 北自田

沙州 燉煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

一段肆畝永業 城東冊里三支渠東路 西自田南路 北路

一段貳拾貳畝口分城東冊里三支渠東渠西路 南讀北路

一段壹畝居住園宅

戶主王山 子年捌拾柒歲 老男武騎尉 乾元三年籍後死

妻張 年肆拾歲 老男妻 乾元三年籍後死

戶主 唐元欽 年伍拾柒歲 老男

亡兄妻 孫 年陸拾捌歲 寡

沙州 孫 燉煌縣 懸泉鄉 宜禾里 大曆四年手實

亡兄男遊 玉年貳拾柒歲 白丁

亡兄女妃 妃年壹拾玖歲 中女 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

女 尚 日 年貳拾歲 中女 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

合應受田壹頃伍拾壹畝 玖拾畝已受 冊畝永業 五十畝口分

一段拾畝永業 城東廿里沙渠 東 渠 西懷藝 南元嗣 北渠

一段玖畝永業 城東廿里沙渠 東 渠 西懷藝 南荒 北懷藝

一段參拾伍畝 廿一畝永業 十四畝口分 城東廿里沙渠東自田 西 渠 南荒 北渠

一段參拾陸畝口分 城東廿里沙渠東 渠 西自田 南荒 北渠

戶主唐 大 昭年肆拾柒歲 白丁 大曆三年帳後逃還附 代父承戶 下下戶 課戶見輸

父 元 嗣 年陸拾捌歲 老男武騎尉 永泰二年帳後勘責逃走限滿除

⑤仁井田、中国法制史研究

土地法·取引法PI

(一部)

資料 卷頭圖1 (一部)

⑥仁井田、文書P.715

(一部)

池田、東洋學報40-2

P.41-58

252

250

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>沙州 —— 後 —— 欠 —— 懸泉鄉 —— 宜禾里 —— 大曆四年 手實</p> | <p>亡兄妻 —— 白 —— 年參拾貳歲 —— 寡</p> | <p>弟 —— 思 —— 貞 —— 年肆拾歲 —— 白丁 —— 寶應元年帳後死</p> | <p>母 —— 田 —— 年陸拾陸歲 —— 老男妻 —— 永泰二年帳後勘責逃走限滿除</p> |
|--|---|---|--|

○ B. M. S. 4682

中、山本作丁

押捺朱印

(高昌)縣之印)

姜、山本作妻

① 山本、東洋文化研紀要10
P. 200

資料 P. 108

桃支、山本作龍文

西戶 1 唐西州高昌縣 (7世紀後期) 籍

(前) 欠 (後)

1 男 趙師 年拾 [] 歲 丁男

女 小姜 年貳拾陸歲 丁女

一十畝 永業

5 應受田壹頃貳拾壹畝

一頃一十畝 冊步 已受

一段二畝永業常田城西十里武城渠東張懷德西至渠 南劉春海北田海護

一段二畝永業常田城 [] [] 東田洛女西高曹師南范桃支北索杜師

9 一段永業部田 [] [] 東 [] 西至渠 南麴明 北至渠

(後) 欠 (前)

西戸 2 唐西州 (7世紀後期) 籍

1 (前) 欠 年拾伍歲 小女

冊步 已受

應受田 畝

冊步 居住 園宅 畝 二百步 未受

(後) 欠

西戸 3 周西州 (天授三年(692)?) 籍

(前) 欠

1 一段一畝永業 部田 城東 渠 東員通 西 南 北

一段七十步居住園宅

戸主大女史女輩? 率參拾陸歲 丁寡 代男貫

不課戸

男 那你盆 率 玖 歲 小男 永昌元率帳後死

5 女 迦 勒 率 拾 參 歲 小女 永昌元率帳後死

録 土肥、東洋學報 52 | 1
P. 107 土肥推測柳中縣? 籍

○ 書博吐魯番出土古人墨蹟
六朝卷二三

⑤仁井田、文書 P. 678

⑥仁井田、文書 P. 677

資料 P. 132

○書博

女 谷 施 季拾 肆歲 小女

8

應受田 畝

五 畝 冊 步 居 已 永 業
冊 步 居 住 園 宅 受

畝 二 百 步 未 受

(後 欠)

西戶 4 周西州 (大足元年(701)?)籍

① (前 欠)

1 男 智 力 季貳拾玖歲 衛士

2 女 醜 始 季拾 陸歲 中女

(後 欠)

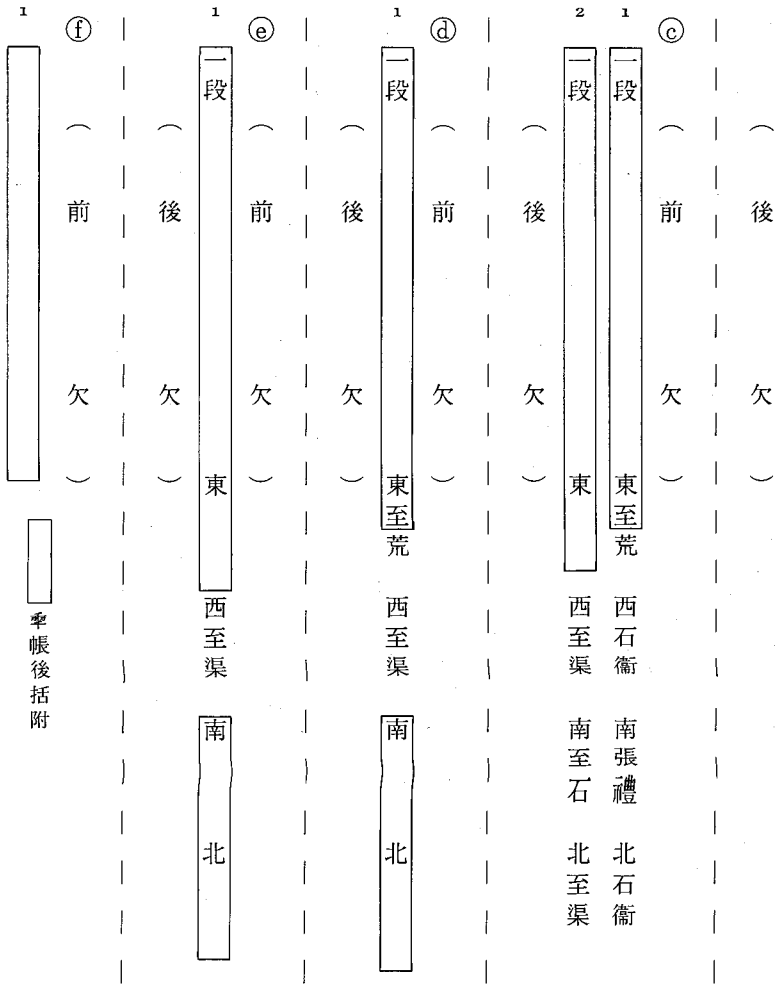
② (前 欠)

1 一段一畝永業 部田 東 西 南 北

一段二畝永業 部田 東 西 南 北

3

一段冊步居住園宅



資料 P. 133 ~ 4

○龍圖大谷 5059

○龍圖大谷 8073

存朱痕

3
 (後 欠)
 聖曆二季帳後點入

西戶 5 周西州 (大足元年 (701) ?) 籍

1 (前 欠)

老男 王曆

括 附 田 宅 並

3 (後 欠) 丁寡 聖曆二季帳

西戶 6 周西州 (武后時代 (689 ~ 705))

1 (前 欠)

1 姊 姜 連 季伍拾歲
 婢 康 季伍拾陸歲

○龍圖大谷 5448

○龍圖大谷 4824



(後)

欠

()

西戸 7 周西州

(武后時代 (689 ~ 705)) 籍

(前)

欠

()



一段

居住園宅

同 主安

明 海季 捌拾陸歲

老男



妻

季 柒拾陸歲

老男妻

(後)

欠

()

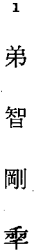
西戸 8 周西州

(武后時代 (689 ~ 705)) 籍

(前)

欠

()



弟

智 剛 季

(後)

欠

()

○龍圖大谷 5452

縫背注記

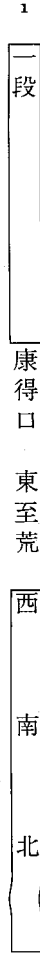
○龍圖大谷 5143

存朱印痕跡

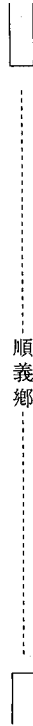
○ D. A
THT
1137
Ch.
1815

押捺朱印
(高昌)縣之印)

西戶 9 西州高昌縣順義鄉 (武后時代?) 籍



(前) 欠 (後) 欠 ()



西戶 10 西州高昌縣 (7世紀末期?) 籍



(前) 欠 (後) 欠 ()

西戶 11 西州高昌縣 (7世紀末期?) 籍

② (前) 欠 ()



縫背亦存朱印

録 土肥、東洋學報 52—1

土肥推測 695 或 698 年籍

P. 119

② 背面貼附?

○ 東京國立博物館 東洋館
樹下人物圖背貼
只 ① 末紙、書博

北大文學部紀要

1 應受田陸拾壹畝

畝

肆

拾步居住園宅

貳伯步未受

壹段 畝半永業

城西拾里武城渠東至道西

南 北

壹段 畝永業

城西拾里武城渠東至渠西

南 北

① 前

空

後

1 壹段

城西 東麴

西 南 北

壹段 畝永業

城西柒里屯?

渠東白誨女西

南 北

3 壹段

城西拾伍里 東

西 南 北

後

欠

後

② 前

欠

西戶 12 唐西州柳中縣高寧鄉開元四年 (716) 籍

押捺朱印

(柳中縣之印)

1 壹段壹畝永業 部田 貳易 城西參里 東趙相 西董懷 南馮青 北白相

壹段肆拾步居住園宅

戶主江義 宣年貳拾貳歲 白丁親侍 下中戶 課戶不輸

母張 年肆拾壹歲 丁寡

5 弟抱義 年拾伍歲 小男開元貳年帳後死

弟義珎 年拾伍歲 小男

妹壽持 年拾參歲 小女

叔母組渠 年伍拾柒歲 丁寡篤疾兩目盲

10

壹拾參畝壹拾步永業

壹拾參畝捌拾步已受

應受田玖拾壹畝 柒拾步居住園宅

柒拾柒畝半肆拾步未受

壹段參畝半永業 陶 城南壹里 東至道 西張懷 南李喜 北阿荀

15

壹段壹畝永業 常田 城南壹里 東至渠 西至道 南郭暉 北張祐

壹段貳畝永業 常田 城南壹畝 東郎中寺西郎中寺南 道 北 道

壹段壹拾步永業 常田 城南伯步 東還公 西還公 南還公 北郭石仁

壹段伍畝永業 部田 城東陸拾里于謹城東 渠 西還公 南 渠 北 荒

壹段壹畝永業 部田 貳易 城西参里 東張仕内西索佛 南索佛 北李守歡

壹段半畝永業 部田 城東貳拾里東南塔寺西渾行才南張福 北 渠

20

壹段柒拾步居住園宅

戸主 王 孝 順年拾 壹歲 小男代父貫 下下戸 不課戸

父 盲 禿 年参拾陸歲 衛士開元貳年帳後死

母 蘇 年参拾陸歲 丁寡

弟 思 忠 年肆 歲 小男開元貳年帳後括附

25

應受田伍拾壹畝 肆畝 肆畝 肆畝
肆拾步 肆拾步 肆拾步 肆拾步
居住園宅 永業 永業 永業

壹段壹畝永業常田 城南參里 東渠 西梁師 南王堆女北安禿子

30 壹段壹畝永業常田 城西肆里 東郭甲 西孫喜 南李伯 北魏海

壹段貳畝永業部田 貳易 城西參里 東荒 西遷公 南渠 北渠

壹段肆拾步居住園宅

戶主索住洛年陸拾歲 老男 下下戶 不課戶

妻令狐年伍拾捌歲 老男妻

35 男仁惠年肆歲 小男先天貳年帳後新生附

捌畝 捌畝 肆拾步 肆拾步 肆拾步 肆拾步
永業 永業 永業 永業 永業

應受田參拾陸畝

肆拾步居住園宅
貳拾柒畝貳佰步未受

40 壹段壹畝半柒拾貳步永業陶 城南壹里東渠西左寺僧南白歡 北官陶

41 壹段肆拾捌步永業常田 城南壹里 東索喜 西張伯 南左寺僧北官田

(後 欠)

⑥ (前 欠)

1 奴典倉 年參拾參歲 丁奴

奴孤易 年貳拾伍歲 丁奴

奴來德 年陸拾歲 老奴

5 貳拾玖畝半柒拾步已受
貳拾·畝半參拾步永業

應受田貳頃肆拾壹畝

肆拾步居住園宅
貳頃壹拾壹畝伍拾步未受

壹段貳畝永業陶

城□壹里 東康斯 西張德 南李相 北董子

10

壹段貳畝永業 陶買附

城西壹里 東至渠 西至沙 南王仁 北至道

壹段壹畝永業 常田

城東貳拾里東 渠 西 道 南 渠 北 道

壹段參畝永業 常田買附

城西貳里 東王明相西康保 南李安緒北吳

壹段伍拾步永業 菜

城北壹里 東還公 西左善恭南高昌人北 道

壹段半畝永業 常田

城北壹里 東丁歡 西 南 北還公

壹段貳畝半永業 常田買附

城南壹里 東 道 西孫斲 南還公 北陰龍

壹段肆拾步永業 菜

城北壹里 東高昌人西 道 南郎中寺北左恭

壹段陸拾步永業 菜

城北半里 東還公 西還公 南還公 北還公

壹段壹畝玖拾步永業 陶 城北壹里東李元 西張相 南令狐相北蘇龍

15

壹段壹畝肆拾步永業 常田 城西伯步東還公西高昌人南 渠 北高昌人

20

壹段伍拾步永業 菜 城北壹里 東廢寺 西還公 南高昌人北 道

壹段半畝肆拾步永業 常田 城北壹里東丁歡西自至 南丁歡 北自至

壹段肆畝永業 常田 買附 城西壹里 東左德 西郭伯 南至道 北張海

壹段肆拾步永業 常田 城南伯步 東至荒 西還公 南蘇義 北還公

壹段壹畝半伍拾步永業 陶 城西壹里東至渠西至渠 南張海 北馬歡

壹段壹畝半參拾伍步永業 陶 城西壹里東至渠西令狐相南徐富北至渠

25

壹段壹畝永業 常田 城西壹里 東高昌人西張致德南李智通北左峻行

壹段半畝永業 常田 城北壹里 東張安洛西郎中寺南至道 北趙崇

壹段壹畝半永業 陶 城西貳里 東沙 西沙 南何支德北自至

壹段貳畝永業 常田 城西貳里 東蘇仁 西張伯 南張婢 北至渠

壹段壹畝半永業 常田 城西壹里 東自至 西高昌人南自至 北 道

以下書博藏

⑤仁井田、文書P.686(末1紙)
西域攷古圖譜下繪画⁵²
(縫背注記)

東京国立博物館図版目錄
大谷探検隊將來品篇
Pl. 2 | 34 (a)(b)各部分

⑥仁井田文書P.687(末1紙)

資料P.135(同右)
池田史学雜誌69 | 8
P. 79 | 81

30

壹段捌拾步永業

常田
買附

城南半里

東張弟弟西至渠

南鞏剛

北至道

壹段貳拾伍步永業

常田
買附

城南半里

東張太伯西至渠

南至渠

北還公

壹段參拾步永業

常田
買附

城西壹里

東張武通西高達

南鞏剛

北至道

壹段肆拾步居住園宅

戶主大女白

小尚年拾

玖歲

中女代母貫

「
」
下下戶

不課戶

35

母季

小娘年肆拾捌歲

丁寡開元參年帳後死

壹段肆拾步居住園宅

右件壹戶

放

良其口分田先被官收訖

戶主大女陰

婆記年肆拾捌歲

丁寡

下下戶

不課戶

夫翟

祀君年伍拾玖歲

白丁垂拱貳年踈勒道行没落

肆畝

永業

41

肆畝

肆拾步

已受

縫背注記

○龍圖大谷 8090

縫背存印痕

⑤西域攷古圖譜下経籍 $\frac{2}{2}$

北大文学部紀要

應 受田 參拾陸畝

肆拾步居住園宅

(後

欠

參拾壹畝半捌拾步未受

「柳中縣」

「高寧鄉」

「開元肆年籍」

西戶 13

西州

(7世紀末期~8世紀初期)籍

(前

欠

1

計

伍 畝

伍 畝

永 業

伍 畝

步 居 住 園 宅

伍 畝

步 居 住 園 宅

伍 畝

步 居 住 園 宅

4 應 受田 柒拾陸畝

(後

欠

柒拾畝 步 居 住 園 宅

○龍圖大谷 3272

⑤小笠原、西域文化研究 III
Pl. 究 III
32

⑥小笠原、同右 P. 260

○D. A. T. II
1063 Ch. 1212

馬堤、土肥作沙堰

縫上捺印

(高昌縣之印)

⑦土肥、東洋學報 52—1
P. 121

⑧背面貼附?

西戶 14 西州 (7世紀末期~8世紀初期) 籍

(前) 欠

1 計 綾 布 貳 丈

2 計 租 陸 斛

(後) 欠

西戶 15 唐西州高昌縣 開元十年(722) 籍

(前) 欠

1 壹段 沙堰渠 東至荒 西至渠 南 北

壹段 馬堤渠 東至渠 西至渠 南 北

高昌縣 鄉 開元拾年 籍

壹段 城西伍里榆樹渠 東至荒 西至渠 南白善願 北

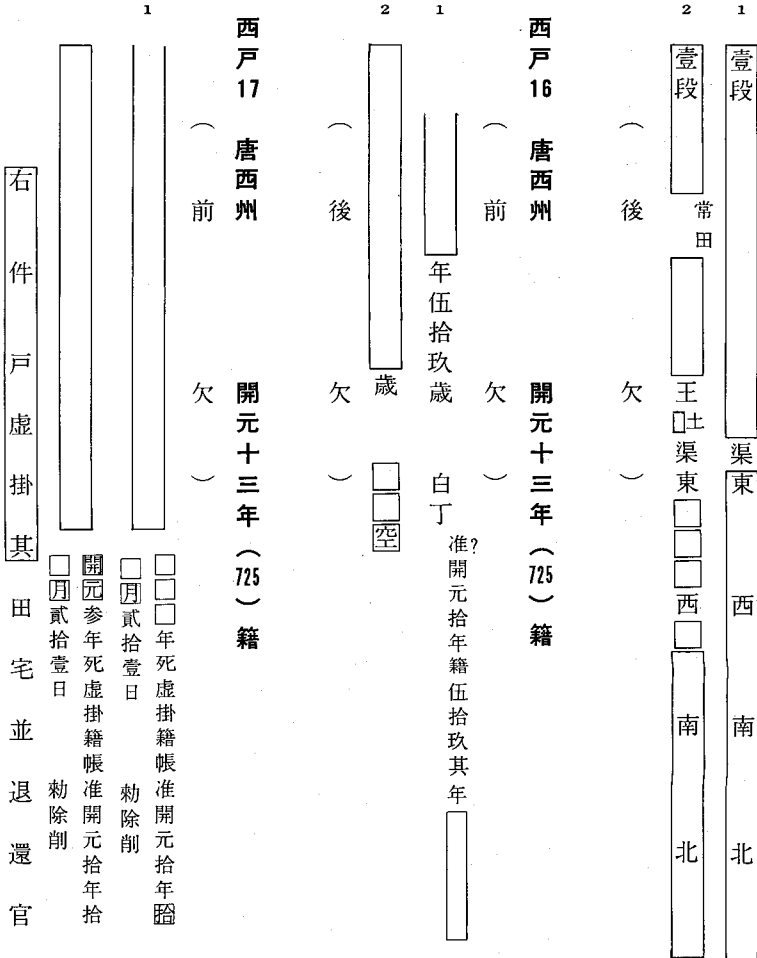
4 壹段 城東柒里左部渠 東辛護 西至荒 南至 北

(後) 欠

1 (b) (前) 欠

○ D. A. II Ch. 1433

○ 龍圖大谷 3291



録土肥、東洋學報 52-1
P. 124

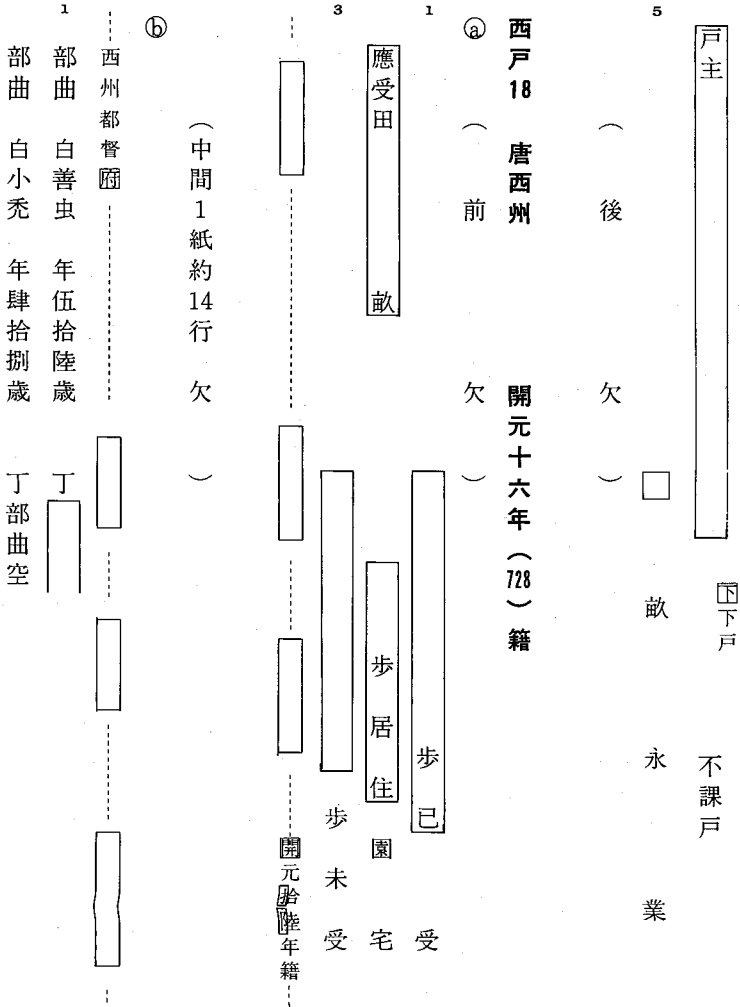
○ a) B. M. OR. 8212 — 632
(M. 378)

① 龍圖大谷 8088

② 龍圖大谷 8110

縫上存捺印痕跡

3 片位置關係、依摺紙背論語鄭注子路・憲問篇殘文推測。



曲下、脱妻空2字

⑤西域攷古圖譜下経籍^{1,2}
仁井田 文書P. 740 (b)

⑥仁井田、文書P. 741 (b)

資料P. 212 (b)

Maspero, Documents
Chinois P. 173 (a)

土肥、東洋學報 52—1
P. 121 (a)

○ D. A. Ch. 2405

押捺朱印
(高昌]縣之印)

北大文学部紀要

部曲妻 趙慈尚 年伍拾歲 丁部曲

部曲男 索鐵 年參拾歲 丁部曲男空

部曲男 年貳拾玖歲 丁部曲男空

部曲男 歲 丁部曲男空

(中間 1 行 欠)

8 (C) 部曲 年貳拾歲

中部曲

9 後 年參拾玖歲

中部曲

(欠)

西戸 19 唐西州高昌縣順義鄉開元年間籍

(前 欠)

1 壹段 永業 部田 東米嚴弥西至荒南至荒 北常田

壹段 永業 部田 參易 城東肆拾里柳中縣 東至渠西李表南 北至荒

高昌縣 順義鄉 開元 年籍

壹段 永業 城東肆拾里柳中縣 東申潘 西 南 北

城東肆拾里柳中縣東申潘 西 南 北

録土肥、東洋學報 52-1
P. 122

○龍圖大谷 8069

朱印痕跡

⑤西域攷古圖譜下史料

○B. M. S. 6090

録玉井、支那社会經濟史研究 P. 289

5
壹段 永業 城西柒里屯頭渠東至渠西
居住園宅
（後 欠）

西戶 20 唐西州高昌縣
（開元年代？）籍
（前 欠）

3
壹段 永業 常田 城南貳里索渠 東 西 南 北
應 受田 拾陸畝 捌 拾 居住園宅
未受

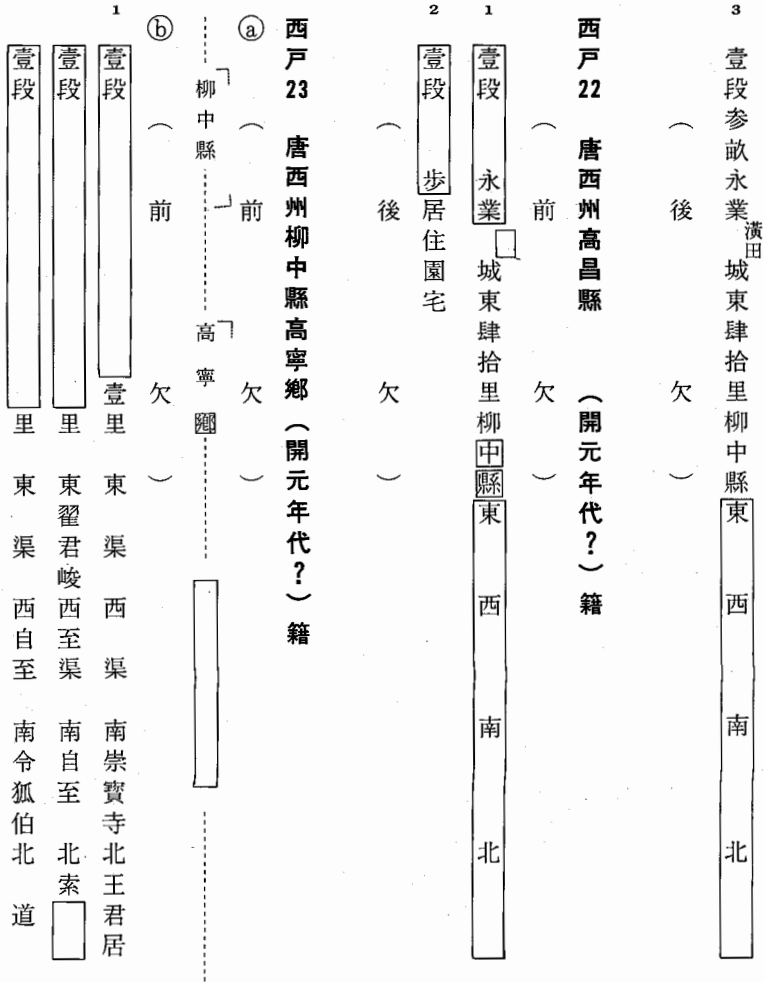
西戶 21 唐西州高昌縣
（開元年代？）籍
（前 欠）

1
壹段陸拾步永業 城 里 武城渠東 西 南 北
壹段貳畝永業 鄆田 城東貳拾里柳中縣東 西 南 北

○龍圖大谷 1051

○龍圖大谷 8064
8065

縫上押捺朱印、
此縫非紙縫原型、
現在(a)(b)分離



4 此1行後補？

⑤西域攷古圖譜下史料%

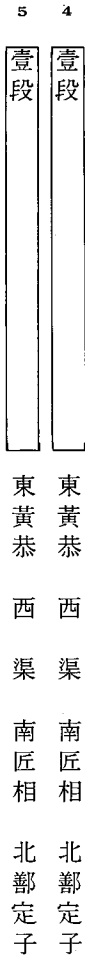
○龍圖大谷 8070

縫注上押捺朱印

⑤西域攷古圖譜下史料%

○龍圖大谷 1404

縫注上押捺朱印
(□□「縣之印」)



西戶 24 唐西州柳中縣 (開元年代?) 籍

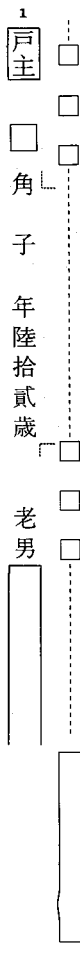
前 欠



柳中縣 後 欠

西戶 25 唐西州 (開元年代?) 籍

前 欠



○龍圖大谷 4034

文面上存朱点

西戸 26 唐西州 (開元年代?) 籍

(前) 欠 (後)

1 壹段 步居住園宅

2 戸主

(後) 欠 (前)

年參拾陸歲 下下戸 衛士

○龍圖大谷 3408

西戸 27 唐西州 (開元年代?) 籍

(前) 欠 (後)

1 年伍拾參歲

2 女年貳拾參歲

(後) 欠 (前)

(後) 欠 (前)

○D. A. T. II 1970 Ch. 1649

西戸 28 唐西州高昌縣? (8世紀前・中期?) 籍

(前) 欠 (後)

押捺朱印

1 壹段肆畝永業 常田 城北

2 壹段貳畝永業 常田 城

(高昌? 縣之印?)

北大文学部紀要

土肥推測天寶前後籍

○ D. A. T II D 287 Ch. 468

土肥推測天寶前後籍

○ 龍圖大谷 1054

(後 欠)

西戶 29 唐西州

(8世紀前・中期?) 籍

1 壹段貳畝永業 部田



2 壹段參畝永業 秋



(後 欠)

西戶 30 唐西州

(8世紀前・中期?) 籍

(前 欠)

1 壹段壹畝



2 壹段肆拾步 居住園宅

(後 欠)

○龍圖大谷 4046

西戸 31 唐西州

(前)

1 壹段 壹畝 永業 常田

(8世紀前・中期?) 籍

東 西 南 北

2 壹段 參畝 永業 常田

(後)

欠

東 西 南 北

○龍圖大谷 5139

西戸 32 唐西州

(前)

1 壹段 永業 田

(8世紀前・中期?) 籍

城 西 貳里 東 西 南 北

壹段 永業 田

城 東 西 南 北

3 壹段 永業 田

(後)

欠

城 東 王秀 西 南 北

○龍圖大谷 3409

西戸 33 唐西州

(前)

(8世紀前期?) 籍

北大文学部紀要

○龍圖大谷 3279

西戶 34 唐西州 (8世紀前·中期?) 籍

1 壹段 東至渠 西至渠 南馬 北

2 壹段 東竹洪達西張玄敏南窰貞文 北

(後 欠)

○龍圖大谷 4517

西戶 35 唐西州 (8世紀前期?) 籍

1 壹段 東 西參軍 南州公廨 北

(後 欠)

存朱印痕跡

○龍圖大谷 3872

西戶 36 唐西州 (8世紀前·中期?) 籍

1 壹段 東 西 南 北

(前 欠)

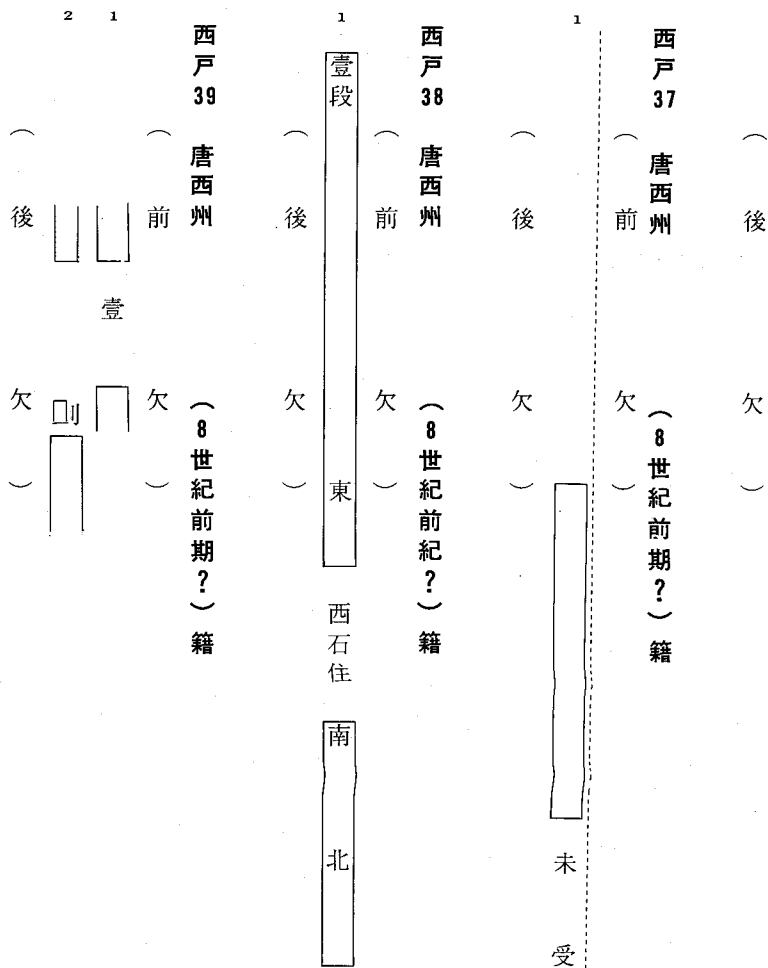
壹里還堆堰

1 (後 欠) 畝 貳 伯 步 未 受

○龍圖大谷 5161

○龍圖大谷 5468 之中

○龍圖大谷 5468 之中



○龍圖大谷 4158

押捺朱印

○D. A. TIT 301 Ch. 1034

⑤那波、支那社会史 P. 131

⑥那波 P. 24 ~ 5

資料 P. 139

押捺朱印
(「柳中」縣之印?)

西戶 40 唐交河郡 天寶九載 (750) 籍

(前 欠)

1 歲 老寡天寶捌載帳後死「空」

(後 欠)

西戶 41 唐交河郡柳中縣? (天寶年代 (747 ~ 758)) 籍

(前 欠)

1 弟遊仙載 陸歲 小男空

弟定德載 伍歲 小男空

應受田壹頃陸畝 肆 陸畝肆拾步已受陸畝永業
玖拾玖畝 貳伯步 未受

壹段貳畝永業 常田 城南壹里 東至渠 西至路 南至渠 北口分

壹段壹畝永業 部田 城南壹里 東至渠 西至路 南至荒 北至荒

壹段參畝永業 貳畝常田 壹畝部田 城南壹里 東至澤 西至澤 南至澤 北還公

壹段肆拾步居住園宅

○龍圖大谷 3249

⑤西域攷古圖譜下史料18/17
録資料 P. 209 (上半)

○龍圖大谷 8068
8063

現在2点分離

押捺朱印

8 戸主康文冊載肆拾歳

白丁本郡天山軍鎮空

下 下戸

課戸不輸

(後)

欠 ()

西戸 42 唐交河郡

(天寶年代) 籍

1 弟知非載參拾肆歳

知男惠義載拾伍歳

勳官上柱國本郡天山軍鎮開元貳拾捌載伍月貳拾玖日授甲頭馬玄忠

3 知男惠感載捌歳

小男天寶

(後)

欠 ()

西戸 43 唐交河郡

(天寶年代) 籍

1 女 載柒拾

右件戸虚掛

3 戸主韋 玄 壽載參拾

(後)

欠 ()

○ B. M. OR. 8212 之中
番号未詳、東洋文庫所藏
顯微膠片付号一〇七八

○ B. M. OR. 8212 之中
同右付号一〇七七

○ D. A. THH
1228 Ch. 50

西戸 44 唐交河郡 (天寶年代) 籍

1 戸主 白君



(前)

欠

2 男 如

載參拾歲



(後)

欠

西戸 45 唐交河郡 (天寶年代) 籍

1 戸主 焦發

載參拾柒歲



(前)

欠



(後)

欠

西戸 46 唐交河郡 (天寶年代) 籍



(前)

欠

丁女 空

奴 載參拾肆歲

丁奴 空

○龍圖大谷 3822

○龍圖大谷 3821

右端存朱印痕跡

北大文学部紀要

婢不 用載貳拾肆歲

丁婢 空

4 應受田壹頃貳拾壹畝

捌畝柒拾步 柒拾步 居住園宅

步 已受 捌畝永業

(後)

欠 ()

西戸 47 唐交河郡

(天寶年代) 籍

1 □思 泰載



欠 ()

2 男思 順載貳



欠 ()

(後)

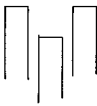
西戸 48 唐交河郡

(天寶年代) 籍

(前)

欠 ()

1 應受田壹頃伍拾陸畝



○ D. A. Ch. 1455

| | | | | | | |
|---|--|-------------------|--|---|--|--|
| <p>2</p> <p>壹段</p> <p>畝永業</p> <p>後</p> <p>欠</p> <p>東</p> <p>西</p> <p>南</p> <p>北</p> | <p>西戶 49 唐交河郡</p> <p>(前)</p> <p>後</p> <p>欠</p> <p>(至德二載(757)?) 戶口帳</p> | <p>1</p> <p>前</p> | <p>2</p> <p>奴勞載拾 貳歲</p> <p>小男 同前身死虛存應在</p> | <p>3</p> <p>姑舍利載伍拾肆歲</p> <p>丁女 同前身死虛存應在</p> | <p>4</p> <p>男獻祥載參歲</p> <p>小男 天拾肆載帳後新生附</p> | <p>5</p> <p>妻 劉載貳拾陸歲</p> <p>(後)</p> <p>欠</p> |
|---|--|-------------------|--|---|--|--|

附錄

晉 (4 世紀 ?) 樓蘭戶口簿稿

(前 欠)

[]

虎女姪申金年七、

滿緣富成年冊、

息男滿能年六物故、

滿緣榆林年冊、

妻勾文年廿五、

息男皇可羅年五、

滿緣潭支年廿五一物故、

妻溫宜未年廿、「自入之疆」

滿緣富年七十二物故

息男奴 [] 年卅五物故、「死」

[] 男弟 [] 得年卅物故、

得 [] [] 阿罔年 [] 物故、

物故

妻勾文年冊、

[] 匈奴年五十?

1

5

10

15

虎女姪、M作妻媪

七、M作廿
滿緣、M作蒲蔭(以下同)

富、M作寶

滿能、M作蒲籠
物故、M作死(以下同)

榆、M作隄
勾、M作司

羅、M作籠

潭、M作澳

富、M作首

[]、M作斯

匈奴、M作葛

口、M作公

冊、M作冊

二、M作三

合、M作年

⑤ Maspero, Documents

Chinois, Pt. XIII

⑥ Maspero, do. P. 80

資料 P. 213

19

勾文口安生年冊「死」

五十二除十一

□合冊一口在?

(以下餘白)

息男口科年廿五、

○書博
但①第1紙
東京国立博東洋館

八、九之譌？

押捺朱印

(交河縣之印)

但上下逆鈐

差1 唐開元年代？西州交河縣名山鄉差科簿

②

1 名山鄉 交河城

戶一百八十一 應堪差科

戶二 全家外任

戶一下 上

戶劉虔感 年冊九安西戶曹

5

戶一下 中知半日

戶王行徹 年五十二焉耆戶曹

男承咄 年廿八

男承忤 年廿六

男承暉 年廿四

10

戶一百八十八 見在

計

戶四下 上各一日 計四日

縫背署印(以下同)

北大文学部紀要

戶高虔懌妻劉年冊九

戶曹温意 年五十八

(後 欠)

③ (前 欠)

戶王通達 年六十八老

男思賓 年冊五土鎮兵

戶邵公侶 年五十六任安西流外

戶康建爽 年六十四老

戶麴虔叟 年六十老翊衛

男義順 年冊一見輸

男獻璣 年冊七佐史

14

1

5

仁井田、文書 P. 651-2
西村、中國經 P. 676-9
濟史研究 P. 676-9
資料 P. 210-11

○
① B. N. P. 3559 (2)
② B. N. P. 3559 (3)
③ B. N. P. 3559 (3)
④ B. N. P. 2657 (1)
⑤ B. N. P. 3018 (1)
⑥ 懸泉鄉？
姪英、原作英、姪

| | | | |
|---|---------------------------|----|-------------|
| 1 | 差 2 唐天寶年代 (750) 燉煌郡燉煌縣差科簿 | 10 | 戶王太素 年卅 土鎮兵 |
| | (a) (前) 欠 () | 11 | 戶宋泥答 年六十老 |
| | 曹敬姪英峻載卅九 衛士 | | 戶索雄猛 年卅 輸丁 |
| | 亡兄男加琬載卅五 品子 捉錢 | | 戶張好達 年六十五老 |
| | 孟伏愛男業成載卅八 白丁 土鎮 | | |
| | 男光 嗣載廿九 白丁「郡典獄」 | | |

| | | | |
|---|------------------|----|------------------|
| 5 | 男庭 寶載廿八 白丁 土鎮 | 10 | 李光 庭載卅二 品子 終服 |
| | 唐懷 貞載卅九 白丁 終服 | | 弟光 仙載十八 中男 |
| | 弟思 敬載卅五 騎都尉 終服 | | 索思 禮載卅七 上柱國 軍典 |
| | 弟延 嗣載卅一 白丁 終服 | | 曹貞濟男大方載卅四 上柱國 終服 |
| | 翟英 奇載五十七 上柱國 郡錄事 | | 男日 晟載廿五 上柱國子 充僚 |

延、◎作近
押捺朱印
(燉煌「縣之印」)

縫背 署印「元」
(以下同)

| | | |
|--|---|----|
| 25 | 20 | 15 |
| 姪思 言載卅六 品子 郡史 楚男進德載廿五 白丁 土鎮 姪思 楚載卅六 衛士 男思 祚載廿五 品子 終服 男庭 暉載卅五 品子 終服 屈元亮男思忠載卅九 品子 終服 呂 英 俊載五十九 殘疾 男羅 察載卅 上輕車 縣史 | 董爽男守忠載卅二 前戊主 忠男遊仙載廿六 廢疾 翟 英 秀載卅八 翊衛 軍典 男日 昇載卅二 上柱國子 郡史 | |

鶴、
④作虧

| | | |
|--|--|-------------|
| 35 | 30 | |
| 鄧 崇 秀載卅一 騎都尉 弟崇 英載卅 騎都尉 姪 孚 載廿八 上柱國子 郡史 男欽 芝載廿七 白丁 終服 男欽 貞載卅一 白丁 終服 弟楚 俊載卅六 白丁 終服 俊男鶴子載廿 中男 終服 | 楊節男欽俊載卅三 白丁 終服 男休 日載卅三 騎都尉 男仙 鶴載廿九 品子 充儀 張俊男思哲載五十二 輕車 | 汜 賢 光載卅七 廢疾 |

40 李惲弟慶仙載卅 上柱國子 土鎮

康惠林男義忠載卅八 白丁 土鎮

男嗣 慶載卅五 白丁「郡典獄」

男伏帝忿載廿一 中男

弟胡 子載卅八 輕車 沒落

壹 伯人 下 中 戶

45 曹 加 禮載五十一 隊副

「亡弟男成金載十九」 中男 侍丁

安 玄 俊載卅八 翊衛

安 玄 靖載卅 翊衛

安業男女忠載卅 翊衛

安周弟待忠載卅 上柱國子

姪大 忠載廿二 中男

曹福弟崇賓載五十七 上柱國 縣史

光、作志

曹崇璟男希光載廿七 品子 土鎮

男希 盛載廿三 品子 土鎮

55 男希 光載廿五 品子

張 承 恩載卅九 衛士

男孝 感載廿三 白丁 土鎮

張 忠 孝載卅七 三品子

「弟忠 璟載卅五」 三品子 渠頭

60 康伏命弟庭玉載廿六 品子 土鎮

張 神 定載卅七 武騎尉 納資

弟神 山載卅三 衛士

段懷貞弟法進載五十三 上柱國子

64 張守節亡弟男元嵩載廿五 四品子 學生

⑤慈惠郷

會、作會

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------|-------------------|-------------|-------------|---------------|-----------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 10 | 男英 諤載廿九 上柱國 納資 | 張懷質男楚欽載卅三 白丁「郡典獄」 | 姪神 龍載卅五 上柱國 | 鄭永 住載五十九 翊衛 | 陰太 云載卅三 白丁 終服 | 男昌 宗載廿九 上柱國子 納資 | 張義質男昌濤載卅五 上柱國子 土鎮 | 鄭加會弟奉璋載廿五 上柱國子 納資 | 弟奉 貞載廿九 上柱國子 土鎮 | 鄭蕃蕃客男思詮載卅八 品子 終服 | 1 | (前) | (後) | (欠) | (欠) |
|----|----------------|-------------------|-------------|-------------|---------------|-----------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------|---|-----|-----|-----|-----|

君德、作思懷
田、作男

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------|-----------------|------------|--------------------|-----------------|--------------|-----------------|------------|-----------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------|----|
| 20 | 淳子 思勛載卅九 品子 終服 | 田元 貞載五十四 上柱國 納資 | 男懷 協載卅八 白丁 | 史君德男懷信載卅九 上輕車都尉 終服 | 男紹 宗載卅四 白丁「郡典獄」 | 鄭月子男紹龍載卅六 衛士 | 弟忠 臣載卅九 上柱國子 里正 | 李忠 楚載卅九 翊衛 | 男英 嗣載廿 中男 | 男英 桀載廿 中男 渠頭 | 男庭 秀載卅五 品子癘疾 | 張元 肇載五十九 翊衛 | 楊智 成載五十九 輕車都尉 | 董思勛男温札載廿九 白丁 侍丁 | 15 |
|----|----------------|-----------------|------------|--------------------|-----------------|--------------|-----------------|------------|-----------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------|----|

| | | | |
|----|-----------------------|----|-----------------|
| 35 | 弟思 賓載卅四 品子 | 30 | 弟玉 山載一十九 中男 渠頭 |
| | 弟思 敬載廿七 品子 | | 董大方男思元載卅七 白丁 終服 |
| | 弟思 祚載廿四 品子 | | 男思 奉載廿九 白丁 |
| | 孟羅開男庭玉載廿五 上柱國子 〔私往北庭〕 | | 男思 本載廿五 白丁 |
| | 李 崇 祖載卅二 上柱國 郡史 | | 張 思 雲載五十二 翊衛 渠頭 |
| | 弟大 忠載卅九 翊衛 | | 弟思 會載卅九 翊衛 知城勳官 |
| | 弟仙 舟載廿 中男 村正 | | |

允 魯作元

| | | | |
|----|-------------------|----|--------------------|
| 45 | 男元 一載廿七 品子 土鎮 | 40 | 弟神 通載五十二 上柱國 渠頭 |
| | 男元 暉載一十八 中男 侍丁 | | 吳玄敬男思暢載卅八 上柱國 前官 |
| | 張 大 壽載五十一 輕車都尉 納資 | | 男思 〔渾載廿八〕 白丁 土鎮 |
| | 翟 遷 零載卅四 衛士 | | 李 奉 翼載五十一 上輕車都尉 納資 |
| | | | 史 神 力載五十六 上柱國 堡主 |
| | | | 索 昭 允載卅九 上柱國子 遮收 |
| | | | 弟昭 惠載卅六 上柱國子 納資 |

宋、作朱

| | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------------|----------------------|---------------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|----------------------|----------------------|--------------------|------------------------|---------------------|
| 60 | 男賓 郎載卅四 白丁 土鎮 | 寶大智男思貞載卅 白丁 土鎮 | 男元 臻載卅二 白丁 土鎮 | 宋 思 明載五十五 衛士 | 索思諫男伏生載廿六 白丁 土鎮 | 王約子男庭暉載廿五 白丁 終服 | 男思 祚載卅五 上柱國子 | 翟忤郎思諫載卅一 翊衛 終服 | 男悉 郎載一十七 中男 村正 | 男思 本載廿六 白丁「那典獄」 | 公孫元遂男崇嗣載卅二 白丁 土鎮 | 男庭 秀載廿一 中男「太守執衣」 |
|----|---------------------|----------------------|---------------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|----------------------|----------------------|--------------------|------------------------|---------------------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------------|----------------------|----------------------|------------------|---------------------|----------------|----------------------|------------------------|-----------------|------------------------|-------------------|----------------------|---------------|
| 70 | 王 鐵 頭載卅九 白丁 土鎮 | 吳 明 暉載廿一 中男 終服 | 陰 思 楚載十九 中男 渠頭 | 陰 懷 儁載五十五 五品孫 | 弟思 明載廿九 白丁 侍丁 | 袁 守 貞載卅六 篤疾 | 孟 奉 元載卅二 翊衛 斗門 | 鄧 令 仙載五十 上柱國子 遮収 | 尹 嗣 璋載卅九 上柱國 | 索 元 慶載卅三 品子 停減納資 | 壹 伯 參 拾 伍 人 下 下 戶 | 寶 義 臣載卅一 白丁 土鎮 | 弟義 寶載廿八 癘疾 |
|----|----------------------|----------------------|----------------------|------------------|---------------------|----------------|----------------------|------------------------|-----------------|------------------------|-------------------|----------------------|---------------|

五、作五

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|-------------------|-----------------|--------------|---------------|-----------------|--------------|--------------|----|
| 85 | 翟思 德載廿 中男 侍丁 | 魏壽 昌載廿六 白丁 土鎮 | 弟思 果載卅二 白丁 土鎮 | 吳承 慶載卅六 騎都尉 郡上 | 男恩 有載卅一 白丁 土鎮 | 令狐大方男仁立載卅三 騎都尉 郡上 | 姪嗣 壁載廿四 上柱國子 斗門 | 陰庭 玉載卅九 上柱國子 | 男廻 廻載廿二 中男 村正 | 男仁 節載卅二 上柱國子 土鎮 | 令狐大 貞載六十 上柱國 | 男玉兒載十九 中男 渠頭 | 75 |
|----|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|-------------------|-----------------|--------------|---------------|-----------------|--------------|--------------|----|

忠、作須

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|--------------|-------------|---------------|---------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------|------------|--------------|----|----|
| 100 | 索有 才載五十二 衛士 武騎尉 | 男慶 芝載廿四 上柱國子 土鎮 | 張大 忠載五十六 上柱國 渠頭 | 男孝 卿載廿五 白丁 土鎮 | 男孝 忠載卅 白丁 土鎮 | 王神 通載五十二 衛士 | 男重 暉載廿三 品子 土鎮 | 男思 明載卅七 品子 斗門 | 張楚 威載五十九 隊副 | 男欽 欽載廿四 白丁 土鎮 | 翟阿 昌載五十九 衛士 | 張令 詮載卅八 白丁 土鎮 | 郝行滿男希顏載十九 中男 | 李光 暉載十九 中男 | 索阿蕃男令暉載十八 中男 | 95 | 90 |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|--------------|-------------|---------------|---------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------|------------|--------------|----|----|

鶴、鸞作鵬

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----|--|-----|-------|-----|----|
| | | | 110 | | 105 | | | |
| 弟義 | 立載冊三 | 白丁 | | | 弟加 | 慶載冊七 | 癡疾 | |
| | | 土鎮 | | | 弟有 | 德載冊五 | 白丁 | 土鎮 |
| | | | | | 張阿 | 忠載冊四 | 白丁 | 終服 |
| | | | | | 男新 | 附載十九 | 中男 | |
| | | | | | 賈思 | 亮載五十一 | 武騎尉 | 郡上 |
| | | | | | 汜頭 | 子載五十四 | 衛士 | |
| | | | | | 男仙 | 鶴載廿四 | 白丁 | 土鎮 |
| | | | | | 汜元 | 暢載十九 | 中男 | |
| | | | | | 王崇 | 嗣載五十六 | 衛士 | |
| | | | | | 男抱 | 玉載十九 | 中男 | |
| | | | | | 王嗣 | 龍載五十二 | 騎都尉 | 郡上 |
| | | | | | 王嗣 | 慶載五十一 | 衛士 | |
| | | | | | 弟崇 | 欽載冊 | 上柱國 | |

| | | | | | | | | |
|----|------|------|-----|--|-----|-------|------|----|
| | | | 125 | | 120 | | 115 | |
| 李伏 | 護載冊九 | 上柱國子 | | | 曹大信 | 男景崇載廿 | 中男 | 侍丁 |
| | | | | | 張楚 | 金載廿 | 中男 | 終服 |
| | | | | | 董思 | 忠載五十七 | 衛士 | |
| | | | | | 弟思 | 藝載五十二 | 武騎尉 | 土鎮 |
| | | | | | 藝男 | 温秀載廿四 | 白丁 | 土鎮 |
| | | | | | 馬遊 | 庭載冊三 | 騎都尉 | 郡上 |
| | | | | | 弟遊 | 祚載冊五 | 白丁 | 土鎮 |
| | | | | | 李仁 | 方載廿三 | 白丁 | 土鎮 |
| | | | | | 陰思言 | 弟思楚載冊 | 上柱國子 | 納資 |
| | | | | | 曹庭 | 陵載廿五 | 上柱國子 | |
| | | | | | 索懷 | 立載冊七 | 白丁 | 殘疾 |
| | | | | | 張太 | 忠載冊二 | 白丁 | 土鎮 |

米、那波・西村・
◎共作朱

君、
◎作思

| | | |
|-----------------|---|---|
| 140 | 135 | 130 |
| 姪羅 仙載廿 中男 侍丁 | 索君臣男元賓載十八 中男 曹思廉姪庭仁載廿九 癆疾 男大 方載卅一 輕車都尉 郡上 | 弟崇 賓載卅八 白丁 土鎮 張娥 子載卅七 上柱國子 米元礼男貞會載卅四 上柱國 斗門 令狐 貞會載五十 白丁殘疾 張光 鶴載卅二 上柱國子 里正 王神 力載卅四 輕車都尉 郡上 李光 德載五十六 篤疾 |
| 安大方亡兄男慈力載卅九 衛士 | | |
| 亡兄男慈義載卅七 白丁 土鎮 | | |
| 姪羅 漢載廿 中男 | | |

任、
◎作伍

| | |
|------------------|-----------------|
| 150 | 145 |
| 張遊 礼載卅五 篤疾 | 趙初 訓載五十二 上柱國 |
| 男景 陽載一十七 小男 渠頭 | 安忠 信載五十九 翊衛 渠頭 |
| 任大 義載五十二 上柱國 納資 | 安忠 敬載五十七 翊衛 |
| 男如 露載廿四 白丁 土鎮 | 男嗣 元載廿九 上柱國子 土鎮 |
| 尹玄 楚載五十六 衛士 | 陰山琮男庭暉載廿一 中男 終服 |
| 弟山 龍載五十 上柱國子 | |
| 泥沙 門載卅六 武騎尉 納資 | |
| 楊羅 束載五十六 輕車都尉 郡上 | |

| | | |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 165 | 160 | 155 |
| 王奉 〔仙載五十一〕 白丁 侍丁 | 弟令 賓載廿三 品子 土鎮 | 弟遊 祚載卅一 上柱國子 侍丁 |
| 汜嗣 宗載卅八 上柱國子 | 孟諫 子載五十一 騎都尉 納資 | 雷大 振載卅八 上柱國 |
| 弟俱 羅載廿三 白丁長患 | 趙惟 貞載廿六 白丁 侍丁 | 王思 言載卅三 騎都尉 郡上 |
| 鄭元 元載廿四 白丁 土鎮 | | 張令 暉載卅六 品子 土鎮 |

惠、那波・西村
共作忠

鶴、作虧

| | |
|------------------------|------------------------|
| 175 | 170 |
| 男羅 漢載廿 中男 | 男思 詡載廿八 白丁 土鎮 |
| 賀元 〔節載卅二〕 上柱國子 | 荊諫子男思暢載卅一 品子 土鎮 |
| 王敬 元載廿二 中男 渠頭 | 鄧嗣欽男梓鶴廿六 白丁 終服 |
| 石承 玉載卅三 白丁 終服 | 習思會男惠言載廿四 白丁 土鎮 |
| 弟小 漢載廿四 白丁 | 李彥贊男文惠載廿二 中男 終服 |
| 孟仁 立載卅七 白丁 土鎮 | |
| 男思 言載十八 中男 村正 | |

仕、
⊗作化

| | | | |
|-----|--------|-----|--------|
| 公孫元 | 慶載卅七 | 騎都尉 | |
| 姪龍 | 兒載廿 | 中男 | 渠頭 |
| 姪加 | 生載十八 | 中男 | |
| 安仕 | 德載廿 | 中男 | 村正 |
| 曹真瓘 | 男玉兒載十八 | 中男 | 終服 |
| 汜神慶 | 男難金載十八 | 中男 | 「太守執衣」 |
| 姪師 | 奴載廿九 | 白丁 | 土鎮 |
| 王大絢 | 男知金載卅 | 白丁 | 終服 |
| 孟承 | 鶴載卅五 | 武騎尉 | 納資 |
| 張楚 | 林載卅二 | 武騎尉 | 堡主 |
| 男庭 | 玉載十八 | 中男 | |

令、
⊗作今
尚、
⊗作向

| | | | |
|-----|----------|----|--------|
| 權懷古 | 男龍龍載十八 | 中男 | 「縣令執衣」 |
| 曹承恩 | 男光庭載廿 | 中男 | 斗門 |
| 張神 | 慶載十九 | 中男 | 村正 |
| 陰光 | 兒載廿 | 中男 | 村正 |
| 汜大賓 | 男近生載十七 | 中男 | |
| 王鐵 | 客載十八 | 中男 | |
| 王諫 | 子孫男元璋載十七 | 小男 | |
| 鄧令仙 | 男庭光載十八 | 中男 | 渠頭 |
| 董真尚 | 男馬思果載十八 | 中男 | 侍丁 |

了、
了、
作可
作安

壹
伯肆拾人
中下
戶見在

男、
作弟

曹大慶載卅九
上柱國
男安國載廿八
上柱國子

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------|---------|------|----------|-----|-----|---------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|
| 30 | 參 米忠信 | 何小胡 | 曹南達 | 參 安了延 | 辛也門 | 石承濟 | 李鶴子 | 史皮子 | 史可了 | 石畢娑 | 石突昏 | 石忿鼻 | 何得俊 | 雷无愁 |
| 25 | 羅思明 | 安烏蘇密 | 康莫論 | 石失忿 | 石裕娑 | 羅鐙娑 | 羅思明 | 安烏蘇密 | 康莫論 | 石失忿 | 石裕娑 | 羅鐙娑 | 羅鐙娑 | 羅鐙娑 |
| 20 | 參 羅磨娑 | 石伏願 | 康者羯 | 參 安能迦 | 米炎帝 | 郭小緊 | 癡疾 | 參 安能迦 | 米炎帝 | 郭小緊 | 癡疾 | 參 安能迦 | 米炎帝 | 郭小緊 |
| | 賀嗣琮 | 新城長上史万希 | 康之目延 | 康胡念 | 史了延 | 翟大奴 | 康者羯 | 康胡念 | 康胡念 | 康胡念 | 康胡念 | 康胡念 | 康胡念 | 康胡念 |
| | 石伏苟 | 夫蒙行琮 | 羅河訶 | 史了延 | 翟大奴 | 翟大奴 | 羅河訶 | 羅河訶 | 羅河訶 | 羅河訶 | 羅河訶 | 羅河訶 | 羅河訶 | 羅河訶 |
| | 康烏蘇密男不弄 | 索嗣賓 | 康伏特 | 康拂那 | 米思諾 | 米思諾 | 康烏蘇密男不弄 | 康烏蘇密男不弄 | 康烏蘇密男不弄 | 康烏蘇密男不弄 | 康烏蘇密男不弄 | 康烏蘇密男不弄 | 康烏蘇密男不弄 | 康烏蘇密男不弄 |
| | 參 人 | 虛 | 掛 | 單身 | 土鎮 | 兵 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 |
| | 參 人 | 虛 | 掛 | 單身 | 土鎮 | 兵 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 | 單身 |

ⓑ 原連貼

Ⓒ 從化鄉

Ⓒ

1 貳 伯 伍 拾 柒 從 化 鄉

壹 伯 壹 拾 柒 人 破 除

貳 拾 參 人 身 死

曹稍稍 康希一 康大祚 曹忠兒 曹屯屯 曹咄利支

安奴子 羅蟲子 曹思鸞 何元賓 何元岌 定薄鼻

康大俊 石稍稍 安也希 曹胡子 康令端 曹伏帝延

安庭秀 范嗣賓 王奉仙 安特進 曹胡子

參 拾 伍 人 逃 走

任、
ⓧ 作伍

石拂羅壇 何山海 何進朝 羅拂那 米任職 康薄鼻

10 安射勿盤陁 安加沙 康庭芝 辛大慶 辛利連 安將軍

康、
ⓧ 作盧

羅濕數延 康伏帝忿 康思賓 何神祇 何元嵩 何元璣

石普火遮 石俱羅 石磨娑 羅數延 弟阿了黑山 石忿特

黃奉仙 石阿祿山 曹悉加耽延 賀薄鼻 米褐阡 康縫靴

康羯師范 康胡子 李崇敏 王義琮 史拂那

15 貳 拾 柒 人 沒 落

羅勿沙 曹羅漢陁 安思明 裴奉宣 何紹 安思諫 石同兒

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------|---------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------|-------------|------------------|-------------------------------------|-----------------|---------------|
| 35 | 弟引吐迦寧載冊七 衛士 | 寧男海元載廿一 中男 | 弟米 氈載冊四 上柱國 <small>終服</small> | 弟大 明載冊 上柱國 <small>終服</small> | 安 沙 廷載冊九 上柱國 翊衛 | 弟守 德載冊六 上柱國 翊衛 | 弟守 札載冊五 上柱國 <small>子弟</small> | 安 邊 庭載冊二 四品孫 <small>子弟</small> | 弟伏帝廷載冊 四品孫 | 壹 拾 人 下 上 戶 | 石 元 方載五十五 上柱國 | 男太 岳載廿九 上柱國 <small>納資</small> | 男進 國載廿四 上柱國子 | 男進 岑載廿二 中男 |
|----|----------------|---------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------|-------------|------------------|-------------------------------------|-----------------|---------------|

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------|------------------|------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|-------------|----------------|
| 50 | 弟元 俊載冊四 上柱國 | 安 盤 陔載五十七 上柱國 | 康 逸 斤載五十六 上柱國 | 男伏 德載卅三 上柱國子 <small>子弟</small> | 男俊 兒載廿 中男 <small>侍丁</small> | 康伏帝番載卅二 五品子 | 弟太 岳載卅一 五品子 | 米 胡 子載卅五 白丁 | 弟離 失載廿九 白丁 <small>土鎮兵</small> | 弟庭 光載廿五 白丁 <small>侍丁</small> | 康 奴 子載六十六 老男 | 弟迦 那載廿九 白丁 <small>土鎮兵</small> | 貳 拾 人 下 中 戶 | 曹磨色多載六十五 老男 |
|----|----------------|------------------|------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|-------------|----------------|

屯、
⊗作長

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------|--------------|-----------------|--------------|----|---------------|----------------|-------------|------------------|----------------|-------------|-----------------|----|----------------|----------------|
| 75 | 曹 寧 力載六十四 上柱國 | 石 忿 鼻載卅一 上柱國 | 孫男好兒載卅一 白丁「縣典獄」 | 男嗣 賓載卅 品子 捉錢 | 70 | 賀吐屯男嗣珪載五十一 衛士 | 男嗣 障載卅九 上柱國 納資 | 男 崇 俊載十八 中男 | 弟 忠 兒載卅六 上柱國子 終服 | 曹 忠 子載五十 翊衛 終服 | 男 阿 了載十九 中男 | 康 令 賓載五十 上柱國 遮収 | 65 | 男大 賓載卅二 白丁 市壁師 | 男奴 子載廿六 白丁 土鎮兵 |
|----|---------------|--------------|-----------------|--------------|----|---------------|----------------|-------------|------------------|----------------|-------------|-----------------|----|----------------|----------------|

冊、卅之謫？

支、那波、西村
共作友
⊗作發

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------|----------------|-------------|-------------|-----------------|-------------|------------------|-------------|----|------------------|-----------------|---------------------|------------------|----------------------|-----------------|--------------------|
| 85 | 康 英 賢載卅三 翊衛 | 康 令 欽載卅 柱國子 里正 | 康 令 璋載卅八 翊衛 | 裴 延 壽載卅四 白丁 | 弟 元 賓載卅九 白丁 土鎮兵 | 壹 伯 人 下 下 戶 | 康 阿攬 延載六十六 老男上柱國 | 男 火 拔載卅七 翊衛 | 80 | 何 伏 稍載廿四 白丁 終服 卅 | 康 悉 迦 支載五十三 上柱國 | 康 阿攬 延載六十二 老男上柱國 納資 | 弟 敬 琮載五十三 上柱國 納資 | 羅 伏 帝 延載六十二 老男上柱國 納資 | 曹 元 慶載卅六 上柱國 納資 | 何 莫 賀 咄載卅五 上柱國子 納資 |
|----|-------------|----------------|-------------|-------------|-----------------|-------------|------------------|-------------|----|------------------|-----------------|---------------------|------------------|----------------------|-----------------|--------------------|

| | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 100 | 95 | 90 |
| 安阿 索載五十七 白丁 | 安奴 奴載廿 中男 侍丁 | 弟郎 將載廿八 白丁 土鎮兵 |
| 男胡 子載卅 白丁 土鎮兵 | 羅阿 鐺載卅五 武騎尉 | 石元 俊載卅五 騎都尉 郡上 |
| 姪令 賓載五十四 白丁「縣典獄」 | 羅仙 其載五十四 上輕車 | 弟延 陔載廿九 品子 土鎮兵 |
| 康伏吐 忿載五十九 衛士 | 安忽 娑載五十九 白丁 侍丁 | 石神 功載五十二 衛士 |

忿、作怒

| | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 115 | 110 | 105 |
| 羅達 數番載五十六 上柱國子 | 安也 那載六十六 老男 | 男達 漢載卅 白丁 土鎮兵 |
| 羅烏 濕載廿二 中男 侍丁 | 男突 昏載廿二 中男 村正 | 男數 延載廿九 白丁 土鎮兵 |
| 曹崇 諫載卅 白丁 侍丁 | 曹染 磨載六十七 老男 | 羅寧 寧忿載六十七 老男 |
| | 石羯 槎載六十五 老男 | 康伏 德載六十四 老男 |
| | 男元 貞載廿五 白丁 土鎮兵 | 羅奉 鸞載卅一 白丁 里正 |

安 大 慶載廿六 四品孫

安 如 山載五十 四品孫

弟 鄧 林載卅 四品孫

弟 烏悉多載卅八 四品孫

安 胡敷芬載卅一 上柱國 市壁師

弟 數 鼻載廿三 品子

何? 尼 尼載五十七 白丁

男 抱 金載十八 中男 村正

康 羯師忿載五十七 飛騎尉

何 神 祗載五十三 五品子

男 日 遷載十八 中男

石 峻 岑載廿七 白丁 土鎮兵

康 □ 支載卅 白丁 土鎮

「弟思計延載廿」 中男「太守執衣」

130 安 蘇 密載廿二 中男

安 勿 多載廿六 白丁 土鎮

弟 主 主載廿 中男

何 伏羅勒載五十四 白丁

弟 主 煞載五十二 白丁

康 主 磨載六十二 老男

男 海 元載十七 中男

唐 嗣 宗載卅一 衛士

男 懷 奉載十九 中男

張 珎 子載六十六 老男

男 重 暉載廿五 白丁

何 伏帝忿載卅二 白丁 侍丁

曹 遊 庭載卅 白丁 里正

弟 好 兒載卅六 白丁 土鎮

唐、
作彌

唐、
作康

峻、
作峻

寶、
◎作陀

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|--------------------------|----------------|-------------------------|--------------------|-----|--------------------|------------------|
| 155 | 弟寶 寶載廿九 白丁 土鎮 | 弟順 陀載卅 白丁 土鎮 | 羅特 懃載卅五 白丁 村正 | 弟雙 利載廿 中男 村正 | 羅雙 流載卅二 白丁 土鎮 | 石勃帝忿載卅七 上柱國 納資 | 安「兒 兒載廿三」 白丁 土鎮 | 安伏帝延載卅三 上柱國 | 弟裕 娑載五十二 白丁 土鎮 | 康伏 多載五十四 上柱國 | 145 | 康羯 槎載五十七 騎都尉 | 男火 奉載十九 中男 |
|-----|------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|--------------------------|----------------|-------------------------|--------------------|-----|--------------------|------------------|

崇、
◎作重

①燉煌鄉？

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------|-------------------------|-------------------|------------------|-------------------------|-------------------------|---|--------------------------|-----------------------|-------------------|------------------------|---|------------|------|-----|----|
| 10 | 弟仙 玉載廿五 柱國子 土鎮 | 弟仙 芝載卅五 上柱國 土鎮 | 張大 俊載五十七 翊衛 | 弟崇 暉載卅二 衛士 | 唐大 賓載卅八 武騎尉 郡上 | 唐神 楚載五十二 翊衛 渠頭 | 5 | 姪元 楚載廿九 上柱國子 土鎮 | 弟壽 元載卅五 白丁「郡典獄」 | 馬寄 裕載五十二 衛士 | 鄧嗣宗男奉忠載卅二 五品孫 前圍 | 1 | 「弟玄 襲載」 | ①（前） | （後） | 欠） |
|----|-------------------------|-------------------------|-------------------|------------------|-------------------------|-------------------------|---|--------------------------|-----------------------|-------------------|------------------------|---|------------|------|-----|----|

呂懷金男崇愛載廿四 白丁 終服

男崇 慶載十八 中男 終服

弟抱 玉載卅八 上柱國子 土鎮

抱、那波·西村、
◎共作崇

任、那波·西村
共作伍

15

任 桃 棒載卅七 白丁 土鎮

姪行 果載廿九 白丁 土鎮

梁 休 徵載五十五 五品子

護、◎作謹

常 伏 護載卅九 輕車

弟忠 直載廿七 白丁 土鎮

20

孟 庭 暉載卅二 柱國子 土鎮

弟庭 曜載廿九 柱國子 土鎮

弟庭 光載廿四 柱國子 土鎮

暉下、原衍載

張崇賓弟崇明載廿九 上柱國子 親侍丁

弟崇 札載十九 廢疾

25

郭元暹男延鶴載卅五 品子 終服

男弥 勒載廿一 中男 終服

董思太男漢、載廿五 騎都尉 郡上

索 懷 珍載卅二 衛士

弟崇 珍載廿五 白丁 親侍丁

30

董 慈 順載卅五 白丁 終服

弟慈 恭載十八 中男「主簿執衣」

令狐 明仙載廿四 柱國子 土鎮

陰玄表男廣暉載卅五 上柱國子 土鎮

男廣 明載廿九 上柱國子 土鎮

宣、
◎作算

35

索 思 絢載卅七 騎都尉 終服

汜 瓊 太載五十二 上柱國

男大 仙載廿六 上柱國子 土鎮

汜 崇 俊載五十六 翊衛

弟 崇 仙載五十一 翊衛侍丁

弟 崇 讓載廿九 上柱國子 納資

弟 大 雅載廿九 上柱國子 土鎮

弟 日 朝載廿三 上柱國子 土鎮

索 承 貞載五十八 輕車 郡史

弟 思 久載五十一 衛士

久男 秀瓊載廿八 白丁 土鎮

汜 履 遊載卅五 品子 里正

汜 瓊 愆載卅四 衛士

德、那波・西村・
◎共作庭

50

男 宣 德載十八 中男「縣令甄衣」

弟 大 慶載卅九 品子 府錄事

弟 楚 欽載卅二 騎都尉 侍丁

弟 大 忠載卅 騎都尉 郡上

四 團載卅四 騎都尉 終服

弟 四 載卅七 品子 終服

楊 運 弟庭振載十九 中男 侍丁

張 君 慈載卅五 上輕車 侍丁

李 元 暹 男 璆 光載十八 中男 村正

令 狐 伏 保 載 五十 品子 土鎮

姪 進 直載卅七 白丁「郡典獄」

55

陵1字、同右
七、那波・西村・
◎共作五

國下、[㊦]有子

汜 大 徵載五十七 騎都尉 郡上
男海 徵載十九 中男 侍丁

令狐 智明載五十二 上柱國 納資

令狐 思瓊載五十一 翊衛 醫學博士

儵、那波·西村·
[㊦]共作僧

姪瓊 鸞載廿六 上柱國子 充儵

令狐 崇瓊載卅七 衛士廢疾

鎮、那波·西村·
[㊦]共作護

弟崇 辟載廿四 品子 土鎮

張 神 光載卅二 上柱國子 郡史

弟重 暉載卅四 上柱國子 納資

汜 大 楚載五十二 衛士

弟大 祚載卅三 白丁

祚男仙仙載十八 中男

70

65

胡、[㊦]作朝
鼻、西村作單

鄧 希 莊載五十三 翊衛

弟守 諒載卅七 衛士

弟胡 子載廿二 中男

賀 懷 真載卅七 衛士

姪崇 欽載十九 中男 司馬鞞衣

汜 犢 子載五十 衛士

弟苟 相載卅三 品子 土鎮

陰 令 寶載卅九 上柱國子 郡史

張 光 順載廿六 白丁 終服

(後 欠)

順、[㊦]作賢、

75

80

(前 欠)

1 畢令愛 平思慈 李訓賓 魏元通 張守節

蘇思齊

玖 人 逃 走

胡黑仁 張令恭 安漸遠 閻元胤 索加會

5 張懷欽 董仙鶴 張崇節 李彥秀

壹 拾 貳 人 沒 落

尹楚客 青富利消 鍾奴子 趙思節 康思太

張思儼 平從郎 「李楚瓊」 曹抱珎 王守諒

張懷意 吳思儼

10 壹 拾 壹 人 癩 疾

閻庭瑤 張義祥 張義珪 閻師俊 袁守賓

陳惠滿 王思暢 范履霜 田万國 翟思奉

權懷景

參 拾 陸 人 單 身 土 鎮

懷、
仙、
作復
作化

庭、
思、
作延
作恩

15

袁承寂

丁行方

王義忠

張琮德

王守均

平惟一

李峻節

楊如瓊

趙連成

張意仙

張小禿

王奉璋

王思暢

李含生

平忠諫

闕承光

王嗣元

王懷礼

張懷述

平楚嶷

王小鐵

趙崇暉

闕履進

田守廉

杜俗德

蘇履冲

李會子

平履光

張琰子

杜楚珎

張崇穎

平懷愛

李阿慶

緜元慶

楊醜郎

王思隱

貳拾

參

人

單身

衛

士

閻處俊

索懷恪

閻玄燧

呂惠藏

張懷古

王思敬

平神旭

令狐歸亮

王懷安

平元貞

杜僧奴

王義堅

段思言

丁大興

袁東客

孫崇諫

段來歸

李君義

索懷琛

蘇知什

王元慶

杜慶子

賀元立

立、
作五

歸、
作奴

30

壹伯伍拾伍人見在
伍人
中下戶

閻知新弟知古載卅五上柱國子飛騎尉壽昌城主

金、^①作全

仁、^②作下

35

男 楚 實載五十一 上柱國 遮収
 孫男 懷英載卅一 上柱國子 納資
 孫男 懷俊載卅一 上柱國子 納資

弟 知 金載廿六 上柱國子 子弟
 壹 拾 玖 人 下 上 戶

閻靖立男仁權載五十六 上騎都尉 郡上
 袁仁立男承業載卅七 衛士

40

男承 加載廿九 白丁 侍丁
 張思臻男處實載卅五 輕車都尉 郡上
 弟仁 宗載五十六 衛士
 宗男處榮載廿 中男朱參軍執衣
 張 義 深載五十一 衛士

以下P.

3018

45

男奉 璋載卅一 白丁 土鎮
 男處 彥載卅四 白丁 土鎮
 弟義 節載五十 雲騎尉 終服

節男犢兒載廿四 白丁 土鎮

范 處 貞載五十三 上騎都尉 郡上

平 履 瑤載卅 上柱國子 里正

弟履 釗載卅五 上柱國子 納資

「弟无 惑載十八」 中男

平 懷 逸載五十九 上騎都尉 壽昌平水

男嗣 琰載卅二 品子 府史

王 孝 璋載卅五 上柱國 軍典

50

土、那波·西村
共作在

55

弟孝 祥載廿五 上柱國子

豆盧軍健兒

肆 拾 參 人 下 中 戶

平崇 鸞載卅九 白丁 終服

閻庭瑤男履休載廿五 白丁 土鎮

男思 果載廿四 白丁 侍丁

閻庭 琨載卅四 衛士

弟重 瑩載卅四 白丁 縣史

劉諫男大忠載卅七 上柱國

男大 慶載卅 騎都尉 郡上

男大 賓載十八 中男 郡史

張義忠男承嗣載卅四 上柱國子 縣史

男承 福載廿九 上柱國子 土鎮

65

60

70

男承 旦載廿一 中男 侍丁

平 思 敬載卅五 衛士

弟思 愨載卅八 品子 土鎮

弟思 忠載卅七 品子 土鎮

王仁瓚男守貞載卅一 上柱國 前官

閻元逸男加賓載卅九 品子 終服

男加 隱載卅八 品子 終服

男加 業載廿二 中男 終服

閻 元 超載五十二 翊衛

弟朝 隱載廿五 上柱國子 土鎮

弟朝 秀載十八 中男 侍丁

王義立弟義遊載卅七 衛士

75

80

男庭 秀載冊 白丁 里正
 男庭 玠載廿五 白丁
 男庭 芝載廿五 白丁
 閻思節男楚珪載卅四 白丁 終服

85

男楚 勗載廿九 白丁 終服
 閻懷亮男崇嗣載卅九 飛騎尉 終服

男崇 欽載卅五 癡疾
 男崇 峻載卅二 白丁 終服
 張義琛男承俊載廿六 品子 府史

90

閻懷義男履珪載廿九 白丁 土鎮
 平 楚 瓊載五十 衛士
 男思 愬載卅九 騎都尉 終服
 王 大 壽載五十九 衛士

開、那波・西村
 共作關
 作閻

95

男敬 玉載廿四 白丁「縣典獄」
 男敬 芝載廿一 中男
 王 弘 策載五十六 飛騎尉 壽昌平水

男敬 仙載廿六 白丁「縣典獄」
 呂 承 礼載卅七 衛士

男守 直載十九 中男

王 崇 德載卅九 白丁 土鎮

男庭 光載廿四 白丁「縣典獄」

100 捌 拾 捌 人 下 下 戶

平 元 憲載五十七 衛士

男守 賓載廿九 白丁 土鎮

男守 玉載廿五 白丁「縣典獄」

田開強男楚珪載五十 衛士

男楚 琛載卅六 白丁 土鎮

105 索 元 攬載五十四 衛士

瑀、
作瑀

| | | | |
|--------|------|-----|----|
| 115 | | 110 | |
| 王 大 | 寶載廿九 | 白丁 | 土鎮 |
| 楊 如 | 玠載十九 | 中男 | |
| 弟 承 | 明載卅七 | 白丁 | 土鎮 |
| 楊 加 | 慶載卅八 | 白丁 | 土鎮 |
| 弟 楚 | 琛載卅九 | 白丁 | 終服 |
| 平 楚 | 璋載卅四 | 白丁 | 終服 |
| 姪 崇 | 鳳載十九 | 中男 | |
| 平 楚 | 遂載卅四 | 衛士 | |
| 男 履 | 新載卅二 | 白丁 | 里正 |
| 范元瑀男承祖 | 載卅三 | 上柱國 | 遮収 |
| 男 承 | 宗載卅一 | 白丁 | 里正 |

⑤西村、中國經濟
史研究圖版17
(一部)

⑥那波 P. 74
69-74
77-116

| | | | | | | |
|-----|-------|------|----|-----|-------|-----|
| 130 | | 125 | | 120 | | |
| 弟 義 | 祚載卅六 | 白丁 | 土鎮 | 弟 諸 | 愛載廿 | 中男 |
| 張 義 | 謚載卅九 | 衛士 | | 閻 什 | 德載五十九 | 衛士 |
| 杜 武 | 舉載五十五 | 輕車都尉 | 郡上 | 男 履 | 嵩載廿 | 中男 |
| 男 履 | 遊載廿四 | 白丁 | 土鎮 | 令 狐 | 彥芝載廿九 | 上柱國 |
| 男 履 | 休載卅一 | 白丁 | 土鎮 | 楊 思 | 齊載五十一 | 衛士 |
| 張 昌 | 諫載五十六 | 衛士 | | 男 執 | 七載卅一 | 白丁 |
| 男 敬 | 仙載廿六 | 白丁 | 土鎮 | 男 執 | 七載卅一 | 白丁 |
| 男 履 | 休載卅一 | 白丁 | 土鎮 | 男 執 | 七載卅一 | 白丁 |
| 男 履 | 遊載廿四 | 白丁 | 土鎮 | 男 執 | 七載卅一 | 白丁 |
| 男 履 | 遊載廿四 | 白丁 | 土鎮 | 男 執 | 七載卅一 | 白丁 |
| 男 履 | 遊載廿四 | 白丁 | 土鎮 | 男 執 | 七載卅一 | 白丁 |
| 男 履 | 遊載廿四 | 白丁 | 土鎮 | 男 執 | 七載卅一 | 白丁 |

西村、中国経済史
研究 P. 485-90
492-527

資料 P. 153-97

○ B. N. P. 2803

| | | | |
|-----------------|--|---|---------------|
| 1 | 137 | 135 | |
| 男懷 本載卅一 品子 土鎮 | （前） 差 2 唐天寶年代 (750) 燉煌郡燉煌縣差科簿 （後） 載 衛士 欠 | 杜玄璣男楚芝載卅六 白丁 土鎮 弟光 先載廿五 白丁 土鎮 張重 暉載卅 上柱國 前官 弟楚 璆載卅 白丁 土鎮 | 杜楚 珪載卅三 白丁 土鎮 |
| 左進 賢載卅七 上柱國子 土鎮 | | | |
| 左崇 臻載六十三 老男 | | | |

縫背 署印
〔元〕

押捺朱印
（燉煌縣之印）

| | |
|------------------|-----------------|
| 10 | 5 |
| 馬含 璋載卅四 上柱國子 納資 | 左思 亮載卅九 上柱國子 納資 |
| 王庭 鶴載廿三 白丁 土鎮 | 梁居 任載卅七 衛士 |
| 賈楚 楚載卅六 白丁殘疾 村正 | 男思 德載十九 次男 太守執衣 |
| 張秦 太載廿七 上柱國子 納資 | |
| 梁元 諫載五十一 上柱國子 土鎮 | |
| 弟守 訥載卅九 上柱國子 逃走 | |
| 尹懷 爽載六十六 老男 | |
| 王增 增載卅七 騎都尉 郡上 | |

劉復、敦煌掇瑣
中 69 P. 273-5
那波 P. 75-7
西村、中國經濟史
研究 P. 490-2
資料 P. 150-2

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------------|-------------------|--------------------------------|------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------|--------------------|-------------------------|-------------------------|----|-------------------------|
| 25 | 宋 崇 男承 晏載五十二 翊衛 | 宋 崇 暉載廿六 癡疾 | 張 英 俊載五十四 翊衛 護軍 納資 | 張 奉 忠載卅 殘疾 | 張 奉 節載五十五 上柱國 | 趙 仙 璋載廿六 上柱國子 土鎮 | 弟 英 秀載廿九 上柱國子 土鎮 | 高 大 慶載六十七 老男 | 王 庭 蘭載廿九 上柱國 | 趙 小 臣載十九 次男 侍丁 | 趙 大 暉載卅一 白丁 侍丁 | 15 | 趙 祐 進載十九 次男 渠頭 |
|----|--------------------------|-------------------|--------------------------------|------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------|--------------------|-------------------------|-------------------------|----|-------------------------|


○ B. M. S. 543

仙、西村作何
崇、西村作憲

候、[◎]作侯、西村
作隻
玉、西村作玄

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|------------------|----------------------|-------------------|------------------|---|-----------|----|-------------------------|
| 10 | 孫 羅 候年廿七 白丁 | 張 崇 寶年七十七 老男 | 張 仙 進年十五 小男 | 張 奉 節年七十七 老男 | 梁 庭 蘭年卅四 白丁 | 男 漢 年卅三 白丁 | 令 狐 黑 奴年七十八 老男 | 男 忠 敬年廿九 癡疾 | 男 忠 臣年廿 中男 | 1 | (前) 欠 (後) | 28 | 趙 陀 兒載卅七 品子 土鎮 |
|----|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|------------------|----------------------|-------------------|------------------|---|-----------|----|-------------------------|

差 3 唐大曆年代(777) 沙州燉煌縣差科簿稿

彦、西村共作秀


遊、西村作莊

| | | |
|-------------------|--------------------|---------------------|
| 25 | 20 | 15 |
| 馬含 暉年廿 男光 | 張奉 寶年廿五 白丁 | 武大 慶年七十八 老男 |
| 畫明 光年五十一 別將 | 索庭 暉年卅八 別將 | 高英 彦年五十一 上柱國子 |
| 索阿 法年七十一 老男 | 索元 瓊年十九 中男 | 左思 亮年七十一 老男 |
| 裴六 年廿八 上柱國子 | 索遊 韶年卅八 上柱國子 | 張思 質年五十六 老男 |
| 趙光 子年卅一 白丁 | 弟遊 鸞年廿八 上柱國子 | 弟羅 寶年十六 小男 |

貞、西村作真

休、西村作才

國下、有子1字

張八、西村共作
須人

壁、作壁

| | | | |
|------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 45 | 40 | 35 | 30 |
| 男履 光年廿五 白丁 | 左進 賢年六十五 老男 | 孫智 壽年五十 上柱國子 | 張庭 暉年卅九 癱疾 |
| 汜奴 年六十七 老男 | 閻思 會年廿六 白丁 | 曹休 年廿二 中男 | 王思 貞年五十三 白丁 |
| 索洪 壁年卅 篤疾 | 汜張 八年廿五 上柱國子 | 弟諫 西年卅二 品子 | 汜大 福年八十四 老男 |
| 八十五 人不濟 戶 | 男善 年廿八 白丁 | 索諫 兒年五十 癱疾 | 索景 忠年卅七 癱疾 |

愛、西村作受

50

汜思 忠年五十二 上柱國

馬日 進年廿三 中男

馬慙 子年廿一 中男

索奉 忠年卅 白丁

馬仙 岳年五十八 老男

范元 俊年卅三 癡疾

汜令 愛年廿六 上柱國子

庭金、西村作庫全

55

張加 仙年五十二 白丁

張楚 慶年五十四 白丁

趙仙 章年卅九 癡疾

張元 臻年廿六 白丁

汜彭 祖年卅 白丁

汜日 晟年廿六 白丁

馬景 云年五十一 別將

陰嗣 忠年七十五 老男

馬加 遊年五十四 品子

云、◎作雲

60

英、西村作慈

愛、西村作受

65

男如 雲年廿八 白丁

男庭 瓊年廿七 白丁

張仙 光年卅二 癡疾

弟件 光年廿五 白丁

盧思 貞年六十一 老男

宋英 俊年卅五 上柱國子

張元 光年廿四 中男

70

宋日 愛年卅七 上柱國子

弟日 遷年廿六 上柱國子

趙大 忠年六十二 老男

男庭 金年廿二 中男

宋朝 舉年廿五 白丁

弟康 七年十八 中男

索崇 鶴年五十一 果毅

趙小 臣年卅四 白丁

孫太 真年五十一 上柱國子

索仁 札年卅五 輕車

鶴、西村作福

◎西村、中國經濟史研究圖版18

◎資料 P.198-203

西村、同前 P.683-9

75

60

○
B. M. S.
2703

縫背署印

仁、作石

押捺朱印

(燉煌縣之印)

 作興黃

无導、作元壽

附錄

唐天寶年代 (C.750) ? 燉煌縣名簿

80 索加 珍年卅七 白丁
81 張仙 光年五十 別將
(後) 欠

(a) (前) 欠 (後)

1 嗣 李玉苟

馬奉芝 唐思敬

孔 趙仁本

朱鐵山 安元寶

「効殺鄉張義崇」 張英憲

孫崇欽 汜

「馬貞礼」 李仁貞

黑加太 李思諫

汜義實 彭仁祚

賀拔妙真 无導

段阿爽

資料 P. 204 - 5

李、作宋
暉、作暉

漢 作漢

13
李玄其
(後) 欠

(b)

(前) 欠 (後)

1 安没帝失

宋光進 楊奉瓘

孔妙真 王漢、

賀力士 牢仙朝

張俗德 李客娘

郭定岳 宋暉 莊

「翟懷保」 令狐大娘

唐崇明

(後) 欠 (前)

唐（8世紀中期）河西支度營田使戶口給穀簿

（前 欠）

戶唐定興冊三 【伍】 妻張十九 計壹拾參碩 小麦肆碩 青麥參碩 豆參碩 粟壹碩
床壹碩 捌斗 麻子貳斗

戶安庭暉冊一 【伍】 妻間冊一 男元敬十四 男元振十一 男元興六 【肆】

男元德五 【參】 女德娘二 計參拾貳碩 小麦捌碩 青麥柒碩 豆柒碩 粟參碩
床陸碩 參斗 麻子柒斗

戶索文端年冊六 【捌】 妻康冊一 女大娘廿一 女乞德六 【參】

計貳拾壹碩 小麦陸碩 青麥參碩 豆伍碩 粟貳碩 床肆碩 陸斗
麻子肆斗

戶李光俊冊九 【捌】 妻劉冊一 男進通十六 男日進十二 男進賢十 【肆】

男進玉七 【肆】 男太平伍 女娥娘十一 女寵娘二 婢具足冊一 【貳】

婢香女五十八 【伍】 奴胡子四 奴來吉八 【肆】

計伍拾玖碩 【肆】 小麦壹拾陸碩 青麥壹拾壹碩 豆壹拾貳碩 粟陸碩 麻子壹碩
參斗 床壹拾貳碩 柒斗

押捺朱印

(河西支度)營田使印)

10 戶駱元俊冊一 妻張卅六 計壹拾參碩 小麦肆碩 青麥參碩 豆參碩 粟壹碩
床壹碩捌斗 麻子貳斗

戶陳崇之五十六 妻張卅一 女九娘九 女什娘六 女什一娘二

計貳拾壹碩 小麦陸碩 青麥肆碩 豆伍碩 粟壹碩 床肆碩伍斗 麻子伍斗

戶馬九娘卅八 男惟賢十四 男惟振十二 女就六 女莘三

計貳拾碩 小麦肆碩 青麥參碩 豆肆碩 粟參碩 床伍碩伍斗 麻子伍斗

15 戶曹進玉卅六 妻賀卅一 弟進成卅一 妻孟卅一 女娘子四

女足娘一 新 女妃娘一 新

戶王子進十五 妻畫十五 母徐卅六 妹嬌娘九 妹美娘五

婢細柳卅四 奴崑崙二 弟子玉一 新

計參拾參碩 小麦玖碩 青麥參碩 豆肆碩 粟伍碩 床玖碩貳斗 麻子捌斗

戶張元興七十八 妻吳卅六 男欽餘卅九 妻吳卅六 孫男庭言十九

肆、陸之譌？

男妻徐五十六 〔伍〕 孫男庭俊十四 〔伍〕 男買買二 〔參〕 男瞎子二 〔參〕

計肆拾捌碩 小麦壹拾肆碩 青麦玖碩 豆壹拾壹碩 粟伍碩 床捌碩壹斛
麻子玖斛

戶康敬仙卅六 〔捌〕 妻石卅三 〔伍〕 姉大娘五十六 〔肆〕 女什二娘十一 〔肆〕 女毛毛九 〔參〕

女妃娘十五 〔伍〕 男進興六 〔肆〕 女娘子四 〔貳〕 男進光一 〔參〕 男進光一 〔新〕

計參拾玖碩 小麦壹拾碩 青麦陸碩 豆玖碩 粟參碩 床壹拾碩壹斛
麻子玖斛

戶馮毛奴卅三 〔捌〕 妻趙卅六 〔伍〕 女底、十一 〔肆〕 男卿、八 〔肆〕 男太平五 〔參〕

男談誘二 〔參〕 男漢信一 〔參〕 男漢信一 〔新〕

計參拾碩 小麦玖碩 青麦伍碩 豆捌碩 粟壹碩 床陸碩參斛
麻子柒斛

戶曹典昌六十二 〔陸〕 妻毛卅一 〔伍〕 計壹碩壹碩 小麦參碩 青麦貳碩 豆貳碩 粟貳碩
床壹碩捌斛 麻子貳斛

戶姜忠勗卅一 〔捌〕 妻荆廿一 〔伍〕 母李六十一 〔伍〕 女性娘一 〔貳〕 女性娘一 〔新〕

戸梁昇云卅六 〔捌〕 妻齊廿一 〔伍〕 計壹拾參碩 〔參〕 小麦肆碩 青麦參碩 豆參碩 粟壹碩
 床壹碩捌斛 麻子貳斛
 戸宋光莘卅四 〔捌〕 妻程卅四 〔伍〕 男海逸十五 〔柒〕 妻曹十八 〔伍〕 男海十一 〔伍〕
〔肆〕 男海通七 〔參〕 男平三 〔伍〕 女賢娘十八 〔伍〕 婢妙相卅五 〔肆〕 奴繫子六

計貳拾碩 〔參〕 小麦伍碩 青麦肆碩 豆肆碩 粟貳碩 床肆碩陸斛 麻子肆斛
 戸徐遊巖卅六 〔捌〕 妻王卅六 〔伍〕 弟遊晟卅三 〔捌〕 妻李廿一 〔伍〕 男伏奴二 〔參〕
 計貳拾玖碩 〔參〕 小麦玖碩 青麦陸碩 豆柒碩 粟貳碩 床肆碩伍斛 麻子伍斛
 戸高加福卅六 〔捌〕 妻賀卅六 〔伍〕 男英岳四 〔參〕 女滿娘一 〔貳〕 〔新〕
 計壹拾捌碩 〔參〕 小麦伍碩 青麦肆碩 豆肆碩 粟壹碩 床參碩陸斛 麻子肆斛
 戸張欽□卅五 〔捌〕 妻翟卅四 〔伍〕 女醜三 〔參〕 男進業五 〔參〕 女相一 〔貳〕 〔新〕
 計貳拾壹碩 〔參〕 小麦陸碩 青麦肆碩 豆伍碩 粟壹碩 床肆碩伍斛
 麻子伍斛

婢花子四 〔貳〕
奴鶻子一 〔參〕
新 〔新〕

計伍拾陸碩 小麦壹拾伍碩 青麦玖碩 豆壹拾壹碩 粟柒碩
床壹拾貳碩捌斗 麻子壹碩貳斗

戶吳庭光卅九 〔捌〕
妻馮卅六 〔伍〕
男瓊滔廿六 〔捌〕
妻李廿一 〔伍〕
弟庭俊卅六 〔捌〕

妻李廿六 〔伍〕
母索七十六 〔伍〕
男不深十一 〔參〕
女性娘八 〔參〕
女性性十 〔參〕

男瓊岳五 〔參〕
男瓊英八 〔肆〕
女鹽娘四 〔貳〕
女贖娘三 〔貳〕
姪男瓊秀二 〔參〕

孫男明鸞二 〔參〕
婢善女卅一 〔伍〕
奴超超六 〔肆〕

計捌拾壹碩 小麦貳拾貳碩 青麦壹拾肆碩 豆壹拾玖碩 粟陸碩
床壹拾捌碩貳斗 麻子壹碩捌斗

戶曹春進卅一 〔捌〕
妻汜卅六 〔伍〕
計壹拾參碩 小麦肆碩 青麦參碩 豆參碩 粟壹碩
床壹碩捌斗 麻子貳斗

戶張奉章卅一 〔捌〕
妻唐卅九 〔伍〕
女洛九 〔參〕
男榮國四 〔參〕

計壹拾玖碩 小麦陸碩 青麦參碩 豆伍碩 粟壹碩 床參碩陸斛
麻子肆斛

戸石秀林卅一 妻曹卅四 弟秀玉卅一 妻曹十六 女什伍年十一

女莊嚴九 計參拾參碩 小麦壹拾碩 青麦柒碩 豆捌碩 粟貳碩 床伍碩肆斛

戸張漢妻孔卅一 母索六十一 男進興四 男進玉二

計壹拾陸碩 小麦肆碩 豆肆碩 粟貳碩 床伍碩陸斛 麻子肆斛

戸郭懷德卅四 妻安卅五 男承俊六 女美娘四 男君一

計貳拾貳碩 小麦陸碩 青麦伍碩 豆伍碩 粟壹碩 床肆碩伍斛
麻子伍斛

戸安庭玉卅六 妻韓卅一 女廬殿十一 男善奴一

計貳拾碩 小麦陸碩 青麦肆碩 豆伍碩 粟壹碩 床參碩陸斛 麻子肆斛

戸張令咬卅三 妻王卅三 女飯娘九 男嗣加四

60

計壹拾玖碩
小麦陸碩 青麥參碩 豆伍碩 粟壹碩 床參碩陸斗 麻子肆斗

戶石秀金卅一〔捌〕 妻史卅一〔伍〕 女美と三〔貳〕

計壹拾伍碩
小麦肆碩 青麥肆碩 豆參碩 粟壹碩 床貳碩柒斗 麻子參斗

63

戶令狐思忠卅二〔捌〕 妻郭卅一〔伍〕 父智伯八十二〔捌〕 弟思温卅一 阿李

(後 欠)

